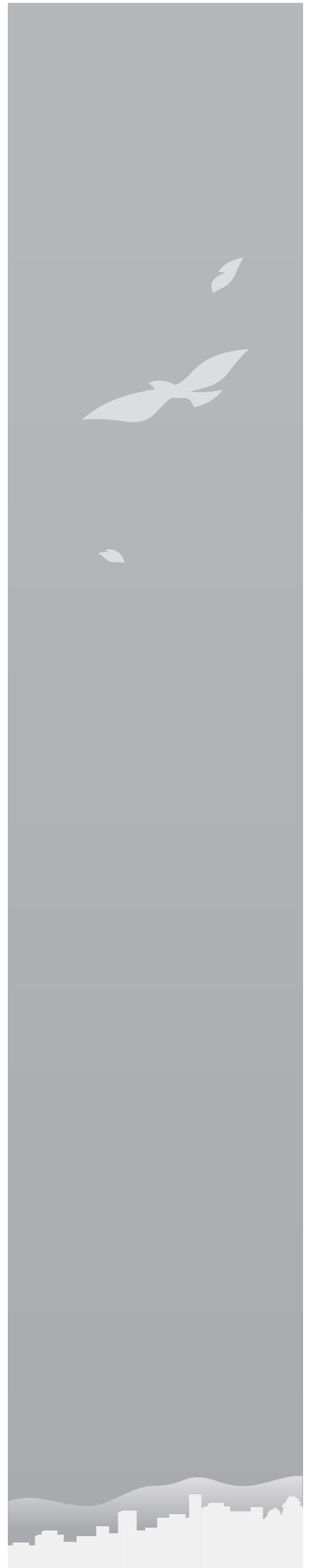


記錄編





第1章 全国都市緑化フェアの目的・基本理念

1 目的

全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的とする。(全国都市緑化フェア開催要綱(昭和60年1月30日建設省都緑対発第1号))

2 基本理念

全国都市緑化フェアは、われわれ一人ひとりが、緑の大切さを認識するとともに、緑を守り、増やし、育てるための知識を得る場として「緑ゆたかなまちづくり」～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～をテーマに開催するものであり、公共施設、一般住宅などの緑化を含めた総合的な都市緑化を、幅広くかつ積極的に推進するための契機にしようとするものである。

第2章 第40回全国都市緑化仙台フェアの概要

1 開催概要・開催意義

(1) 開催概要

- ①名称 第40回全国都市緑化仙台フェア(愛称:未来の杜^{ニハレノキ}せんだい2023～Feel green!～)
- ②主催者等 提唱:国土交通省
主催:仙台市・公益財団法人都市緑化機構
事業主体:第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会
- ③開催期間 令和5年4月26日(水)～6月18日(日)(54日間)
- ④開場時間 9時30分～17時(メイン会場)
※5月24日(水)(令和5年度全国都市緑化祭開催日)は青葉山公園追廻地区のみ13時開場、
6月4日(日)(仙台国際ハーフマラソン2023開催日)は12時開場
※東部エリア会場、連携会場は各施設に準ずる
- ⑤目標来場者数 100万人(メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場の合計)
- ⑥入場方式 メイン会場への入場は無料とし、一部有料のプログラムやコンテンツを実施
- ⑦事業費 概ね16億円

(2) 開催意義

仙台市が「杜の都」と呼ばれるようになった歴史は、古くは伊達政宗公による植樹の奨励にまで遡るが、これまでの歴史の中で戦災による焼失や急速な都市化によるみどりの喪失、そして震災といった困難に見舞われた際にも、仙台の地に暮らした人々が力をあわせ、みどりを大切に育み親しんできたことが、今ある豊かなみどりや自然と調和した都市環境の礎となっている。仙台フェアでは、これらの歴史や取組みを今一度振り返り、仙台市民の誇りとするとともに、さらなる発展への契機とできるよう、次のとおり開催意義を設定した。

●次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」

伊達政宗公が武家屋敷へ植樹を奨励したことに端を発する「杜の都」のみどりは、戦災復興の中で整備された街路樹や都市公園によりその骨格が形作られ、その後、「自然との調和ある環境の創造」を理念として掲げた「杜の都の環境をつくる条例」(1973年制定)および「広瀬川の清流を守る条例」(1974年制定)のもと、みどり豊かな自然環境と風格のある都市空間がともに形成されてきた。そして仙台フェアの開催される令和5年(2023年)には、「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年となる節目を迎える。

これまでのみどりを守り育んできた取組みを振り返るとともに、その多様な機能に着目したグリーンインフラ*の考えを市民・事業者と共有しながら、次世代へと続いていく新たな「百年の杜づくり」を推進する。

●みどりと親しむ生活と新たな交流の創出

仙台フェアのメイン会場となる、青葉山公園、西公園、広瀬川、そして青葉通や定禅寺通などに代表される美しい並木が連なる都心部の「緑の回廊」は、長い歴史の中で市民に育まれ親しまれてきた「杜の都・仙台」のシンボルである。人々が集い憩う景勝地を初めて「公園」と定めた太政官布達から150周年となる令和5年を、公園や街路樹をはじめとしたみどりの様々な機能や、暮らしの中でみどりに親しみ憩うことの価値を再認識する契機とする。

また、仙台フェアの開催にあわせ、本市の魅力を世界に誇れる杜の都ブランドとして発信するとともに、仙台の魅力に惹かれて国内外から来訪する人々との新たな交流を創出する。

●東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

東日本大震災は多面的かつ甚大な被害をもたらしたが、かさ上げ道路の整備とともに、海岸公園の復旧や海岸防災林などみどりの再生も進め、まさにグリーンインフラを取り入れた防災機能を高めてきた。

東日本大震災の発生から東北初となる緑化フェアの開催を通じて、被災時にいただいた支援への感謝とともに、みどりを活かしながら市民と一体となって取り組んできた復興のあゆみ、そして防災力の高いまちづくりを国内外へと発信する。

※グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組み。雨水の貯留・浸透による防災・減災、生物の生息・生育の場の提供、良好な環境・景観の形成、気温上昇の抑制などの機能のほか、コミュニティ形成の促進、レクリエーションや健康増進など多様な活動が行われる場となるなど、様々な効果が期待される

2 開催テーマ・基本理念・基本方針

「杜の都・仙台」の多様な機能を持つみどりが形作られてきた歴史のあゆみを辿り、その大切さを見つめなおすとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により引き起こされた社会的変革の先にある「新たな杜の都」の創造に向けて、以下のとおり開催テーマ・基本理念を掲げ、仙台フェアを開催することとした。

(1) 開催テーマ

「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」

「杜の都」と呼ばれる仙台市において、これまで大切に育まれてきたみどりを未来につなげていくことの重要性を表現した。

(2) 基本理念

●百年先の、みどり豊かな杜の都を育むために

市民と事業者、そして未来を担う子どもたちとともに、「自然との調和ある環境の創造」を目指してきたまちづくりを振り返り、これまで培ってきたみどりの大切さや素晴らしさについて学び、気づく機会を創出し、担い手の育成はもとより、次世代へと続く「百年の杜づくり」へとつなげる。

●杜の都のみどりと親しむライフスタイルの発見、そして人の交流があふれるまちへ

日常生活や余暇にみどりを積極的に取り入れた、仙台ならではのライフスタイルや働き方、みどりの活用のあり方などの発見を目指すとともに、長い歴史とともに育まれてきたみどりが人や企業を呼び込む力となるよう、「杜の都・仙台」の魅力国内外へ向けて発信し、新たな交流やさらなる都市活力を生み出す。

●復興からその先へ、みどりを未来へつなげる

震災からの復興にあわせ進めてきた防災・減災の取組みや、被災沿岸部のみどりの再生の取組みを発信・継承し、しなやかで強靱な都市、そして自然と調和した持続可能なまちづくりを進めるため、グリーンインフラの考えを取り入れ、ハード・ソフトの両面からみどりが持つ多様な機能に着目し、未来へ向けその可能性をさらに広げる機会とする。

(3) 基本方針

基本理念を実現し、未来へと継承していくため、次ページに示す基本方針のもと仙台フェアを開催することとした。また、持続可能な開発目標であるSDGsの達成にも貢献できるよう、温室効果ガスの排出削減や、ごみの減量・リサイクルの推進など十分に環境配慮の視点を取り入れることとした。



基本方針	内容
①杜の都のみどりの可能性を発信するフェア	<ul style="list-style-type: none"> 「杜の都」を育んできた歴史やみどりの復興のあゆみを共有し、その大切さを学び、レガシーへとつなげる機会の創出 防災・減災、気候変動適応、生活環境向上、生物多様性保全など多様な機能や効果を持つグリーンインフラの大切さの共有 新たな生活様式や働き方のもとでみどりが果たす役割についての取組みの試行
②杜の都のみどりを体感するフェア	<ul style="list-style-type: none"> 青葉山・広瀬川の自然環境や、定禅寺通などの美しい景観を活かした「杜の都らしさ」あふれる会場展開 豊かな自然や草花に触れ、憩い、遊び、楽しむ、みどりの素晴らしさを発見・実感できる場づくり
③次世代の担い手を育てるフェア	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちや若者も含めた幅広い世代の市民や事業者とともに実施するフェア フェア開催後の緑化推進活動等の担い手の育成や、グリーンインフラを市民との協働で支えるグリーンコミュニティの形成など、レガシーへとつなげる仕組みづくり 自然とのふれあいや環境学習、緑化保全の知識や技術の普及など未来へとつながる機会の提供
④みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア	<ul style="list-style-type: none"> 市民の暮らしの向上につながるみどりが身近にあるライフスタイルの提案 みどりに人が集い、賑わう、仙台ならではの空間利用のあり方の創出 みどりある空間の新しい楽しみ方のアイデアが湧き出るような機会の場づくり
⑤みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア	<ul style="list-style-type: none"> “訪れたい、暮らしたい、参加したい”を呼び起こすまちの魅力や仕組みづくり みどりが人々の周遊や消費を生み出し、地域経済の活性化へとつなげる取組み

3 会場構成

●メイン会場

青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区

●まちなかエリア会場

仙台駅ペDESTリアンデッキ、定禅寺通、青葉通、宮城野通

●東部エリア会場

せんだい農業園芸センター みどりの杜

せんだい3.11メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校

海岸公園、高砂中央公園（仙台うみの杜水族館）

●連携会場

東北大学 学術資源研究公開センター 植物園、七北田公園、仙台市野草園、八木山動物公園フジサキの杜



4 ロゴマーク

ロゴマークのデザインは、仙台市で活躍するデザイナー4名の作品から、外部有識者も加えて設置した審査委員会によるデザインコンペティションを実施して決定した。デザインの選定にあたっては、仙台フェアの魅力や魅力を強く発信できることや、広報ツールやノベルティなど幅広い用途で活用できる実用性、オリジナリティのあるデザイン性などといった観点を重視しながら審査を行い、千田瑞恵氏（株式会社WX Y所属）による提案が採択された。

●デザインコンセプト

現在までつながってきた豊かな仙台的な杜を、次世代の新たな杜へつないでいきたいという「想い」。自然を支え、成長を見守るために人々が手を取りあい、協力しあうという「アクション」。この二つのキーワードを「ハート」と「人の手」として表現し、「新たなみどりを舞台に輝く人」を未来の軸（幹）として「1本の大樹」に見立てることで、これから育てていく「未来の杜」の姿へとシンボライズしている。木々や花の色を思わせる鮮やかなグラデーションは、「成長」「復興」「発展」等の“変化”の象徴であり、潤いのあるまちづくりへの様々な取組みを表している。



未来の杜せんだい2023
～ Feel green! ～

5 マスコットキャラクター

(1) 制作の経緯

チラシ・ポスター、SNS等の各種広報ツールやPRキャンペーン等において、仙台フェアに係る効果的な情報発信を実施するため、市民などが親しみやすく分かりやすいマスコットキャラクターを制作することとした。

(2) デザイン投票の実施

キャラクターデザインについては、三つのデザイン案の中から市民投票によって決定することとして、この過程を通じて、マスコットキャラクターへの愛着やフェアの認知度の向上、フェア開幕に向けた機運醸成等を図った。

デザイン案は、統一感のある広報を展開するため、ロゴマークの作者である千田氏にキャラクターの成り立ちや性格、言動など細部にわたる設定も含めて制作を依頼した。三つの案はどれも花やみどりをモチーフとし、多くの人々に親しみを感じてもらえるようにという思いが込められたデザインとなった。

デザイン投票は令和4年6月28日（火）～7月31日（日）までの期間、インターネット、郵送およびファクスにより実施。小学校への呼びかけや各市民利用施設でのポスター掲示、仙台市ホームページや仙台市LINE公式アカウントでの広報なども行ったことで、子どもから大人まで幅広い世代の参加があり、投票総数6,693票のうち、2,653票を獲得した「フォレッピー」がマスコットキャラクターに決定した。



仙台市ホームページによる投票呼びかけ

キャラクター背景

「フォレッピー」は森の妖精です。仙台の豊かな自然の中で育った大きな木から、ある日ポトッと生まれました。生まれたときは、まんまるの小さなフォレッピーでしたが、毎日お日様の光を浴びながらのんびり過ごしていたら、だんだん大きく、モコモコの体になりました。

喋り方

語尾に「っぴ」がつきます。

（例）「お花がきれいっぴ」「楽しみだっぴ」「一緒に遊ぶっぴ」



フォレッピー プロフィール（一部抜粋）

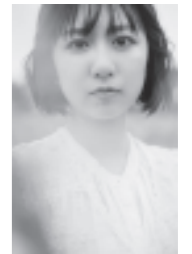
6 公式テーマ曲

公式テーマ曲は、仙台市出身の作編曲家・鍵盤奏者である秩父英里氏が仙台フェアのために書き下ろした「feel the green」。同曲はフェア期間中、メイン会場の青葉山公園追廻地区や仙台市地下鉄各駅構内、テレビCMのBGMとして放送され、仙台フェアを大いに盛り上げた。

また、秩父氏には、公式テーマ曲演奏動画および曲に込めた想いを語ったインタビュー動画（公式ホームページなどで公開）のほか、フェアPRのため地元紙やテレビ番組に出演いただいた。

●公式テーマ曲制作にあたっての秩父英里氏からのコメント

「feel the green」は、実際にフェア会場や公園などに足を運んでから書きはじめました。いろいろな表情を見せる花や緑の豊かな色彩、自然とともにある街。そこから空想したり、願ってみたり。どんな風景や世界が広がっているのか、生きていきたいのか、イメージを膨らませて聴いていただけたら嬉しいです。花や草木、森や川…豊かな緑を感じながら、人も動物も自然も、あたたかく広く輝く未来になったらいいなあ。





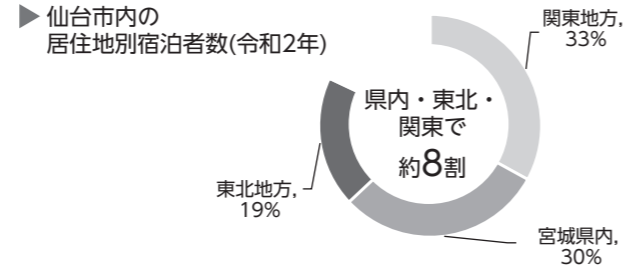
7 目標来場者数・ターゲット

仙台フェアでは目標来場者数を100万人（メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場の合計）とし、目標達成に向け、仙台市への旅行者の傾向や、近年の先催フェアの来場者の実績を踏まえ、それぞれの特性に即した広報・誘客戦略を展開するべく「居住地別」「属性別」の二つのターゲットを設定した。

(1) 居住地別ターゲット

令和2年の仙台市内への宿泊者数の内訳は「宮城県内」「東北地方」「関東地方」で約8割となっており、新型コロナウイルス感染症の発生前の統計でもほぼ同様の傾向が見られた。また、先催フェアの来場者においても、県内が約7割、隣県が約2割であったことから、以下のとおり居住地別ターゲットを設定した。

- 第1次ターゲット：宮城県内
- 第2次ターゲット：隣県（岩手県・山形県・福島県）
- 第3次ターゲット：その他東北地方、首都圏

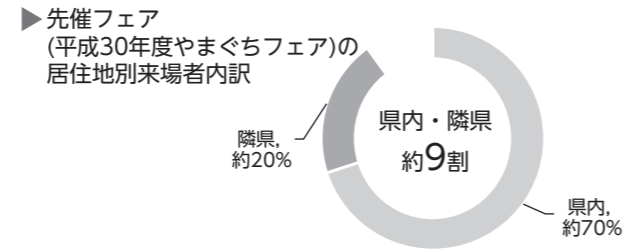


▶ 仙台市内の居住地別宿泊者数(令和2年)

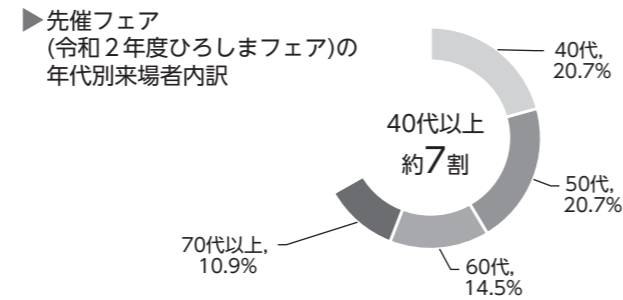
(2) 属性別ターゲット

先催フェアの来場者の属性別内訳では、40代以上が約7割、女性が約6割となっていたことから、「40代以上の女性」を基礎ターゲットとするとともに、幅広い来場者層の獲得を目指し、ファミリー層・若年層を戦略ターゲットとして設定した。

- 基礎ターゲット：40代以上の女性
- 戦略ターゲット：ファミリー層
若年層（学生・若手社会人）



▶ 先催フェア(平成30年度やまぐちフェア)の居住地別来場者内訳



▶ 先催フェア(令和2年度ひろしまフェア)の年代別来場者内訳

8 新型コロナウイルス感染症対策

国の定める「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき策定した「感染防止安全計画^{*}」を宮城県へ提出し、メイン会場では以下のとおり来場者への感染症対策を実施した。

区分	実施内容等
飛沫感染対策	・来場者間の適切な距離の確保に向けた混雑状況の把握、管理 ・誘導員の配置
エアロゾル感染対策	・屋内施設の換気
接触型感染対策	・客席、入退場口の消毒 ・トイレ等の共用部の消毒
飲食時の感染症対策	・飲食エリアでの飲食の推奨

^{*}医療非常事態宣言時の対応として、式典やイベント・飲食物の販売等の一部縮小も想定

また、令和5年3月13日(月)よりマスクの着用が基本的に個人の判断に委ねられたことから、スタッフ等のマスク着用については以下のとおりの運用とした。なお、感染症法上の位置づけが5類に移行した5月8日(月)以降は、熱中症予防の観点から一部要件を緩和した。

対象	方針
会場スタッフ	基本的にマスクを着用
ボランティア、場外警備員	基本的にマスクを着用、5/8(月)以降は個人の判断とする

9 開催に係る主な経過

令和2年(2020年)

- 1月14日(火) 仙台市長より開催誘致表明
- 4月1日(水) 仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課に担当課長配置
- 5月27日(水) 第1回全国都市緑化仙台フェア基本構想懇談会開催
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催)
- 7月28日(火) 第2回全国都市緑化仙台フェア基本構想懇談会開催
- 9月4日(金) 第3回全国都市緑化仙台フェア基本構想懇談会開催
- 11月13日(金) 第4回全国都市緑化仙台フェア基本構想懇談会開催
- 12月3日(木) 国土交通大臣へ開催協議の申出
- 12月17日(木) 国土交通大臣による開催同意

令和3年(2021年)

- 4月1日(木) 仙台市建設局百年の杜推進部全国都市緑化フェア推進室(課相当)新設
- 4月23日(金) 第1回全国都市緑化仙台フェア基本計画検討会開催
- 5月21日(金) 全国都市緑化仙台フェア植物調達協議会設立
- 7月12日(月) 第2回全国都市緑化仙台フェア基本計画検討会開催
- 9月2日(木) 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会設立会議および第1回総会開催
・第40回全国都市緑化仙台フェア基本計画の説明
・ロゴマーク発表
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにて開催)

令和4年(2022年)

- 2月18日(金) 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会第2回総会開催
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催)
- 4月1日(金) 仙台市建設局全国都市緑化フェア推進室(部相当)へ組織改正
- 4月26日(火) カウントダウンボードお披露目イベント実施
(JR仙台駅西口ペDESTリアンデッキに設置)
- 6月28日(火) マスコットキャラクターの市民投票開始(7月31日まで)
- 8月2日(火) 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会第3回総会開催
・第40回全国都市緑化仙台フェア実施計画の承認
- 8月31日(水) マスコットキャラクターがフォレツピに決定
- 10月3日(月) 作品出展・イベント出演団体等募集開始(11月15日まで)
- 10月17日(月) 会場ボランティア募集開始(令和5年2月28日まで)
- 10月18日(火) せんだい農業園芸センター みどりの杜でのイベント等実施に関する連携協定締結
- 10月18日(火)～21日(金) 「たねダンゴ花壇づくり」イベント実施
- 11月3日(祝) フォレツピがPRキャンペーンに初登場
- 11月15日(火) 高砂中央公園でのイベント等実施に関する連携協定締結
- 11月19日(土)～20日(日) 開幕150日前イベント「みんなで作る大花壇(秋植え)」実施

令和5年(2023年)

- 2月16日(木) 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会第4回総会開催
(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて開催)
- 4月1日(土) 開幕直前イベント「みんなで作る大花壇(春植え)」実施
- 4月19日(水) 庭園出展コンテスト審査会開催
- 4月20日(木) 内覧会開催
- 4月21日(金) 「未来の杜せんだい情報センター」開設(6月20日閉鎖)
- 4月26日(水) 第40回全国都市緑化仙台フェア開幕
- 5月17日(水) ハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト審査会開催
- 5月24日(水) 令和5年度全国都市緑化祭開催
- 5月28日(日) 大花壇「はなばた飾り」隣にフォレツピ像設置
- 6月18日(日) 第40回全国都市緑化仙台フェア閉幕
- 6月24日(土)～7月2日(日) 花苗譲渡会「はなばた飾りをまちへ！」実施

令和6年(2024年)

- 2月 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会第5回総会開催(予定)



第3章 公式行事等

1 内覧会

仙台フェア開幕に先立ち、認知度の向上および来場促進を目的として、令和5年4月20日(木)に、青葉山公園追廻地区において、周辺住民や仙台市議会議員、報道関係者を対象とした内覧会を開催した。当日は約80名が参加し、仙臺緑彩館や大花壇「はなばた飾り」などの見どころを紹介した。

2 ウェルカムセレモニー

4月26日(水)9時から、青葉山公園追廻地区内「仙臺緑彩館」前において、来場者を歓迎するウェルカムセレモニーを実施した。

当日はあいにくの雨模様となったが、開幕を心待ちにしていた来場者約60名がその様子を見守った。

聖ウルスラ学院英智高等学校吹奏楽部による演奏でセレモニーが開始。実行委員会会長の郡和子仙台市長の主催者挨拶に続いて、村井嘉浩宮城県知事より祝辞が述べられた。最後に奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊による口上を合図に、来賓・主催者6名によるテープカットが行われた。

セレモニー終了後は、軽快な吹奏楽の演奏の中、郡市長、伊達武将隊、マスコットキャラクターフォレッピーが来場者を賑やかに出迎えた。

3 開会式

4月26日(水)10時30分から、仙台国際センター会議棟大ホールにて、約300名の参加者を迎えて開会式を執り行った。オープニングアトラクションとして、仙台育英学園高等学校書道部による躍動的な書道パフォーマンス「纏(まとう)」が披露された。続いて、せんだい・杜の都親善大使の2名が登壇し、仙台フェアの魅力をスライド形式で紹介した。

実行委員会副会長である横張真公益財団法人都市緑化機構理事長による開会宣言に続き、郡和子仙台市長が主催者挨拶を行い、来賓の五十嵐康之国土交通省大臣官房審議官、池田敬之宮城県副知事、赤間次彦仙台市議会議長より祝辞が述べられた。

最後に、歓迎アトラクションとして秩父英里氏とスペシャルバンドの生演奏により、秩父氏が作曲した仙台フェア公式テーマ曲「feel the green」が初披露され、54日間にわたるフェアの幕開けを迎えた。

4 令和5年度全国都市緑化祭

5月24日(水)、仙台国際センター展示棟において、佳子内親王殿下の御臨席を賜り「令和5年度全国都市緑化祭」が執り行われた。

開会に先立ち、歓迎アトラクションとして、仙台すずめ踊りによる演舞が披露された。

9時45分より、関係者約200名の出席のもと記念式典が行われ、郡和子仙台市長による開会宣言の後、古川康国土交通大臣政務官、村井嘉浩宮城県知事が主催者挨拶を行い、続いて佳子内親王殿下からおことばを賜った。

次に庭園出展コンテストおよびみどりの社会貢献賞の受賞者表彰が行われた後、仙台市立上杉山通小学校6年生の児童6名が都市緑化宣言を行い、矢野龍公益財団法人都市緑化機構会長が閉会宣言を行った。

記念式典の後、佳子内親王殿下は、青葉山公園追廻地区へご移動になり、庭園出展コンテストの国土交通大臣賞受賞庭園、全国庭園デザインコンクール・緑化フェア「みどりの広場」プラン特別賞受賞庭園、宮城県農業高等学校の出展庭園、大花壇「はなばた飾り」をご覧になられた。

続いて、宮城県警察音楽隊の演奏の中、記念植樹会場にご到着され、主催者や来賓、各受賞者、地元小学生とともに、「ヤエベニシダレザクラ」をお手植えされた。

その後、仙臺緑彩館内で東北地方整備局の施策に関するパネル、仙台市の緑化行政に関するパネルをご覧になられた。

佳子内親王殿下のおことば

本日、「令和5年度全国都市緑化祭」が、「第40回全国都市緑化仙台フェア」の中心的行事として開催され、皆様とともに出席できますことを大変うれしく思います。

花と緑は、私たちに、安らぎや癒しをもたらしてくれます。また、地球温暖化の緩和、防災に大切な役割をはたすとともに、多様な生き物をはぐむ場となっています。このかけがえのない花や緑を、皆様が生み出し、守り育てていることは、誠に意義深いことと思います。

「杜の都」と呼ばれるここ仙台では、伊達政宗公が城下町を築く中で、植樹を奨励してできた屋敷林が、周辺のみどりと一体になり、まち全体にみどりが広がっていったと伺っております。昨日、仙台に到着し、空に梢を広げる木々の美しい新緑を眺めながら、「杜の都」と呼ばれるゆえんを実感しました。400年以上の時を経て、みどりを大切に心が脈々と受け継がれてきたことを感じております。

「第40回全国都市緑化仙台フェア」は、メイン会場である「青葉山公園追廻地区」、みどり豊かな「まちなかエリア」、東日本大震災の記憶とみどりの復興を伝える「東部エリア」、そのほか市内の各会場が連携し開催されています。

本フェアの基本理念の1つには、「復興からその先へ、みどりを未来へつなげる」が掲げられています。この催しに先立ち、東日本大震災当時の、そしてその後の、大変な出来事や経験、皆様の思い、復興の状況、これからへの願いなどについて伺いました。震災後、様々な困難の中、日々を重ねてこられたお一人お一人に、深く思いをいたしますとともに、復興のために力を尽くしてこられた皆様に心から敬意を表します。

今回のフェアでは、「杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く」をテーマとし、小さなお子様をはじめ、幅広い年代の方々が会場の花壇づくりなどに参加されたと伺っています。これからも、みどりがあふれる街で、あたたかな交流が続いていく姿を思い描いております。

終わりに、この催しに関係していらっしゃる方々や、このあと表彰を受けられる皆様をはじめ、全国各地で都市の緑化に力を尽くしてこられた方々に深く敬意を表しますとともに、このたびの全国都市緑化祭をひとつの契機として、ここ宮城県から、緑化推進の輪が、さらに大きく広がっていきますことを願い、式典に寄せる言葉といたします。

第4章 会場整備

1 基本的な考え方

会場を整備するにあたり、次の考え方にに基づき設計および施工を進めた。

- 「杜の都・仙台」の身近な自然環境やみどりの豊かさを体感・実感できる会場とする。
- 仙台のみどりの歴史やまちづくりを学び、その大切さや魅力を再認識できる会場とする。
- いつも身近に花やみどりのあるライフスタイル、仙台ならではのみどりの空間利用を提案する。
- 既存施設の効率的・効果的な活用を図る。

2 メイン会場整備

(1) メイン会場整備の基本的な考え方

都心部の新たなみどりのネットワーク拠点として、メイン会場を青葉山公園追廻地区、西公園南側地区、広瀬川地区（上記二つの公園の周辺）に設定した。

「杜の都・仙台」のシンボルである青葉山や広瀬川の自然豊かな“みどりの資源”の魅力をさらに引き上げ、自然や文化・歴史が織りなす既存の景観と調和のとれたランドスケープを展開した。こうした工夫により、来場者がまた訪れたい会場として、青葉山公園や西公園の利用がライフスタイルの一部となること、広瀬川をより身近に感じられるようになることを目指した。

また、まちなかエリア会場との連続性を創出する会場づくりにより回遊性の向上につなげ、都心部の新たなみどりのネットワーク拠点としての機能発揮を目指した。

仙台市地下鉄東西線国際センター駅から会場入口までの経路に案内サインとあわせて花による修景を行うことにより、わかりやすいだけでなく、会場へ向かう来場者の期待感が高まる演出を取り入れた。

(2) 各地区のエリアコンセプト

①青葉山公園追廻地区【杜の都のみどりある暮らしを楽しむ、にぎわいのエリア】

青葉山の豊かな自然や歴史文化に触れながら、「杜の都・仙台」から発信するみどりと暮らしのライフスタイルを通して、花やみどりの新たな楽しみ方や交流が生まれるにぎわいのエリアとした。

②西公園南側地区【杜の都の風景や自然に親しみ、みどりと遊ぶエリア】

青葉山、大橋、広瀬川の眺望を楽しみ、遊びをとおして自然とのふれあいを体感できるエリアとした。

③広瀬川地区【広瀬川の新たな魅力に会うエリア】

一面に広がる花畑や散策路など川に親しみ憩う空間を創出し、広瀬川の魅力を感じるエリアとした。

(3) メイン会場の整備区分

①青葉山公園追廻地区 エリア面積 約7ha

●ウェルカムゾーン 約5,000㎡

主な施設	メインエントランス、ウェルカムガーデン、仙臺緑彩館
整備内容	・メインエントランスを抜けた正面周辺に仙台七夕まつりを想起させる竹飾りや球体花壇があしらわれた「ウェルカムガーデン」を整備し、華やかな空間で来場者を出迎えた。 ・仙台フェアの総合案内所として位置づけた仙臺緑彩館の正面入口側壁面にハンギングバスケットなどを装飾し、「おもてなし」を演出した。

●グリーンスクエアゾーン 約8,200㎡

主な施設	フォトスポットガーデン、もりの市民広場、芝生のイベント広場、プロムナード
整備内容	・立体花壇とロゴマークのオブジェによるフォトスポットガーデンを設置し、「写真映えるポイント」を演出した。 ・もりの市民広場には市民花壇「もりと風のガーデン」（P136参照）が作られた。 ・もりの市民広場、芝生のイベント広場は青葉山の自然の中、広大な芝生広場で自由に憩い、子どもたちがのびのび遊ぶことができるものとした。 ・コンサートやお笑いライブなどのイベントを開催するための特設ステージ（15m×5m）を設置した。 ・広場沿いのプロムナードには樹木コンテナと杜の都の歴史の展示パネルを設置し、大花壇等へ向かう中で、杜の都の成り立ちからフェアの開催までの流れを感じてもらえるものとした。

都市緑化宣言

私たちは、仙台市立上杉山通小学校の6年生です。私たちの住むまち仙台市は「杜の都・仙台」と呼ばれるみどり豊かなまちです。市の中心部の通りにはケヤキの木が大きく枝を広げ、四季折々の表情を見せ、人々を和ませてくれています。また、まちの中心を流れる広瀬川は、仙台市のシンボルとして多くの市民に愛されています。

私たちが生まれる少し前、東日本大震災がおり、ここ仙台のまちも大きな被害を受けました。私たちが今こうして元気に楽しく過ごしているのも、復興に携わってくださった多くの方々のおかげだということを忘れてはいません。

私たちの上杉山通小学校は、その仙台市の中心部に位置し、今年で創立150周年を迎える歴史と伝統のある小学校です。私たちの学校は、校舎の前を彩る「かみすぎフラワーロード」の花壇と「元気なあいさつ」、「校庭の桜の木」を誇りに思っています。

フラワーロードには、緑化委員会を中心にみんなで選んだその季節ならではの花が咲き誇っています。昨年度は市の花壇コンクールで最優秀賞を受賞しみんなで喜び合いました。また、緑化フェアの開催に向けて「アートプランター」も作りました。何度も色を重ねて塗り、心を込めて作った作品は、今、フェア会場を彩っています。

児童会の活動では、「地域にも笑顔届けたい」という思いから、フラワーロードの前で朝のあいさつ運動をしています。今年も元気なあいさつと美しい花で地域に笑顔届けられる学校でいられるよう、私たち6年生を中心に頑張っています。

この元気と花があふれ、地域の方からも愛される私たちの学校の取組みを原点に、ふるさとである仙台がこれからもみどり豊かな笑顔あふれるまちであり続けることを願って、かけがえのないみどりを守り、育て、未来へつなげていくことを、ここ「杜の都・仙台」から宣言します。

5 閉会式・クロージングステージ・お見送り

6月18日(日)14時から、トークネットホール仙台(仙台市民会館)において、約200名の参加者を迎えて閉会式を執り行った。

オープニングアトラクションとして、長袋の田植踊保存会による秋保の田植踊が披露された後、公式テーマ曲をBGMに仙台フェアをダイジェスト映像で振り返った。

続いて、実行委員会会長の郡和子仙台市長が主催者挨拶を行い、来賓の五十嵐康之国土交通省大臣官房審議官、池田敬之宮城県副知事より祝辞が述べられた後、庭園出展コンテストおよびハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト受賞者に対し、表彰を行った。

次に、フェア旗が次期開催地である川崎市の福田紀彦市長に引き継がれ、次期開催地挨拶が行われた。最後に、横張真公益財団法人都市緑化機構理事長による閉会宣言をもって、閉会式が終了した。

閉会式終了後には、青葉山公園追廻地区にてクロージングステージを開催し、秩父英里氏とスペシャルバンドによる演奏に続き、郡市長が閉幕のあいさつを行った。

クロージングステージ終了後、仙臺緑彩館前にて、郡市長やボランティアスタッフ等が会場を後にする来場者を見送り、54日間にわたって「杜の都・仙台」を彩った第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023～Feel green!～が閉幕した。



●もりの庭園ゾーン 約 5,000㎡

主な施設	もりの庭園、茶室「残月亭」・茶庭
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・もりの庭園は藩政時代のまま残る青葉山の御裏林を想起させる「居場所となる森」であり、フェア期間中も仙台の歴史や文化に触れられる場所とした。また、雨水貯留機能を持つ「雨庭（あめにわ）」により、グリーンインフラの多様な機能や効果を発信した。 ・初代仙台区長が建造した茶室「残月亭」を仙台市博物館から曳家工法で移築し、茶会を催すことのできる新たな観光スポットとした。また茶庭を整備し、作庭の過程を若手造園技術者へ公開することにより、フェアを契機として次世代の担い手への伝統的技法や知恵の継承を図った。

●杜のリビングガーデンゾーン 約 5,700㎡

主な施設	テーマ庭園「杜のリビングガーデン」、休憩テント
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台に今も残る“居久根（イグネ）”が持つ「住」、「食」、「職」、「交流」など、人の暮らしと「みどり」を調和させ、豊かに暮らす知恵を新しいスタイルとして受け継ぎ、次の五つの庭園として表現することで、これからの時代の暮らしに活かしていく例として提案した。 ①ワーキングガーデン：子どもたちを見守りながらのリモートワークなど、家族がそれぞれの役割を果たしながらつながる庭園 ②ポタジェの庭：花や野菜、果樹を育てて家族で楽しむことができる庭園 ③リトルガーデン：自分だけの小さな空間をつくる楽しみがある庭園 ④コモンガーデン：花みどりの輪が広がる地域交流の庭園 ⑤こどもガーデン：未来を担う子どもたちが自然を楽しみながら学ぶ庭園 ・キッチンカーや飲食ブース、休憩テント（10m × 10m）を配置し、飲食エリアとしての機能をもたせた。

●アーバンフォレストゾーン 約 2,500㎡

主な施設	アーバンフォレスト、もりの案内所
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「杜の都・仙台」にふさわしい、みどりあふれるまちなかのパブリックスペースをイメージしたエリアとした。 ・大きなプランターに樹木や下草を植え、建物の壁面にカラーリーフをあしらうなどの工夫で、都心の舗装されたスペースでも洗練されたグリーン空間を生み出せることをモデルケースとして提案。新しい「まちなかのみどり」の中で、ゆっくりとくつろぎながら食事や読書を楽しむ時間を演出した。 ・ラティスクープを5基設置し、区切られた「自分だけの空間」を演出した。 ・東北大学大学院工学研究科および宮城県 CLT 普及推進協議会の協力のもと、薄い板を直交に積層して強度を増した CLT 材を活用して、会場の情報発信およびサービスの拠点となるもりの案内所を設置した。

●大花壇ゾーン 約 6,700㎡（植付け面積約 3,700㎡）

主な施設	大花壇「はなばた飾り」
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台七夕まつり」の吹き流し、伊達家の水玉模様陣羽織をモチーフとしたデザインや「たなばた」と「はなばたけ」を掛け合わせた名称により、「仙台らしさ」を感じられる大花壇とした。 ・グラス類やカラーリーフなどの宿根草を多く使用し、約 200 品種、12 万株の植物による流れるようにたなびく帯状花壇の彩りが、フェア期間中に日々移り変わっていく点を大きな見どころとした。

●人が輝くグリーンライフゾーン 約 6,000㎡

主な施設	せんだい Feel Garden、Trip Garden、せんだい Future Garden、ハンギングバスケット、コンテナガーデン、グリーンインフラガーデン
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマークを模した園路沿いには、企業・団体等庭園展「せんだい Feel Garden」49 作品をはじめ各出展者の力作を数多く並べることで、園路を歩く来場者が次々現れる出展作品を巡りながら様々な「みどりと暮らすライフスタイル」を体感できる出展エリアとした。 ・ハンギングバスケット用のフェンス 60 m を設置し、市民による出展作品のハンギングバスケット 49 作品を並べた。またロゴマークを模した中央の芝生には、市民による出展作品のコンテナガーデン 46 作品を並べた。

②西公園南側地区 エリア面積 約 3ha

●グリーンアクティビティゾーン 約 10,500㎡

主な施設	もりのアスレチック、ふれあい花壇、休憩テント
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・西公園の森の雰囲気を活かし、木陰を楽しむ空間や、子どもたちが自由に遊びながら自然を学ぶ空間を創出した。 ・樹上アスレチックやツリークライミング® など、樹林地を利用した自然共生型アクティビティを楽しむ場を演出した。 ・子どもたちに花壇に入ってもらい、手触りや香りなどで花やみどりを学んだり楽しんだりできる「ふれあい花壇」を設置した。 ・小さい子どもたちが遊べる空間として、木製の屋外遊具や、休憩テント（20m × 10m）内の屋内遊具を設置した。 ・会場内の修景施設の一つとして、流木等を活用したインパクトのあるオブジェを設置した。 ・親子で自然の大切さを学ぶことができる展示や、生き物の観察をテーマとしたワークショップなどができるように仙台市地下鉄東西線高架下のスペースを確保した。

●水辺のテラスゾーン 約 1,000㎡

主な施設	川見デッキ
整備内容	・広瀬川、大橋、仙台城跡のある青葉山を一望できる、花やみどりに囲まれたガーデンテラスを整備した。

③広瀬川地区 エリア面積 約 1ha

主な施設	水辺の広場、水辺の花畑、せせらぎ水路、水辺の散歩路
整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公園から河川敷にアプローチする散策路や広場を整備し、広瀬川の清流を感じられる親水性が高い空間づくりを行った。 ・一面に広がる菜の花により、広瀬川の新たな魅力を創出した。 ・川に入って生き物を観察するなど、広瀬川を身近に感じることができるせせらぎ水路を整備した。

3 まちなかエリア会場整備

(1) まちなかエリア会場整備の基本的な考え方

「けやきの新緑のなか、まちを彩る はな・みどりの風景を楽しもう」をテーマに、仙台のみどりを花とともに感じながら、くつろぎ・歩きたくなるまちなか空間を創出し、仙台フェアの盛り上がりが街全体に波及するよう、仙台駅ペDESTリアンデッキのほか、仙台市中心部の定禅寺通、青葉通、宮城野通の街路や公園・緑地を「まちなかエリア会場」に設定した。

(2) まちなかエリア会場の整備区分

エリア	主な施設名	整備内容
仙台駅ペDESTリアンデッキ	仙台駅西口 ・ウェルカムガーデン ・花のモニュメント ・ハンギングバスケット 仙台駅東口 ・プランターベンチ	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の小中学生や市民団体との協働で花植えが行われた「ウェルカムガーデン」を整備。また、プランターベンチや花のモニュメント（緑化パネル）の設置、ペDESTリアンデッキの手すりへのハンギングバスケット装飾を実施し、花々によりフェアをPRするとともに、仙台駅を訪れた人々を楽しませた。
定禅寺通	・ブロックサイン ・フラワーアーチ ・メディアテーク前花壇 ・リバーシブルベンチ ・プランター ・仮設花壇	<ul style="list-style-type: none"> ・東一番丁通との交差点には、ロゴマークと「SENDAI」の文字がシンボリックなブロックサインを設置し、新緑が美しいけやきのトンネルの背景と一体化したフォトスポットを設けることで、フェアの開催機運を醸成した。 ・中央緑道ではカラーリーフや宿根草による足元を彩る修景を行ったほか、フラワーアーチを設置し、イベント会場への誘導を行った。 ・せんだいメディアテーク前や歩道の一部には仮設花壇や芝生広場を整備し、建物に映える花とみどりの景色や緑道部へ設置したリバーシブルベンチにより憩いとくつろぎを演出した。



エリア	主な施設名	整備内容
青葉通	・仮設花壇 ・ベンチ ・ハンギングバスケット	・仙台駅西口の彫刻「青葉の風」の周辺および中央分離帯には花による修景を行った。 ・愛宕上杉通との交差点歩道には仮設花壇、東一番丁通との交差点歩道には仮設花壇と休憩施設を設置し、来訪者に憩いとくつろぎを提供した。 ・ガス灯やバス、タクシーシェルターには彩り豊かなハンギングバスケットを設置した。
宮城野通	・仮設花壇 ・ハンギングバスケット ・プランター	・歩道照明灯下部には、市民とともに作った仮設花壇を設置し、ハンギングバスケットを併設してフェアの開催機運を醸成した。 ・歩道内の水辺空間には、仮設花壇の整備やプランター設置による花の修景を行った。 ・地元の小学生や大学生、専門学校生などが花を植えたプランターを設置し、にぎわいを創出した。

4 植物調達・維持管理

(1) 植物修景演出のポイント

●仙台らしさ

東北最大の都市でありながら、都市が自然と調和する仙台。都会らしさと自然の恵みの両方を楽しめる仙台らしさを植栽で表現した。

●ナチュラルスティック

日本各地で注目されている「ナチュラルスティック」という植栽手法をポイント的に使用し、来場者に新しいガーデンングの楽しみ方を提案した。

●全国都市緑化フェアらしい華やかさ

春から初夏という植物が最も美しい季節に開催する利点を活かし、新緑のみどりと季節ごとの華やかな花々で会場を彩った。また、ゾーンの特色や、花壇の配置・視点を考慮した植物演出を行った。

(2) 植物生産調達

会場計画における設計の意図を尊重しながら、県内で栽培された品種を積極的に導入した。調達花苗等約 39 万株のうち、宮城県産は約 29 万株（全体の約 7 割）を占めた。また、搬入はおおむね下表の 3 期に分けて行った。

●植物調達区分別搬入時期・数量

植物調達区分	搬入時期	搬入数量
秋植え	令和 4 年 11 月 14 日(月)～ 12 月 15 日(休)	約 15 万株（球根類含む）
春植え	令和 5 年 3 月 9 日(休)～ 4 月 10 日(月)	約 16 万株
植替え	令和 5 年 5 月 18 日(休)～ 5 月 25 日(休)	約 8 万株

植物の生産調達は造園団体、花き卸売業者、花き生産者の 3 者（宮城県造園芸協同組合、一般社団法人宮城県造園建設業協会、一般社団法人日本造園建設業協会宮城県支部、株式会社仙花、仙台生花株式会社、宮城県鉢物生産組合）で構成される「全国都市緑化仙台フェア植物調達協議会」に作業を依頼することで、大量かつ多品種を花壇施工時期にあわせ計画的かつ安定的に調達することができた。宮城県内の生産者は次のとおり。

●宮城県鉢物生産組合 花き生産者一覧

アッシュ園芸（石巻市）	千田園芸（栗原市）	(株)宮城フラワーパートナーズ（加美町）
加藤園芸（亘理町）	手島園芸（大崎市）	宮城緑花（登米市）
(株)岸浪園（角田市）	遠山千樹園（大崎市）	若葉園芸（登米市）
櫻井園芸（大和町）	ドラゴンフラワーズ（岩沼市）	涌谷園芸ファーム（涌谷町）
佐藤 重喜（川崎町）	はゆな花壇（仙台市）	
高橋 敦司（栗原市）	flowerfarm 四季彩（多賀城市）	

（五十音順）

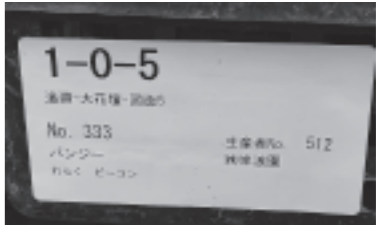
設計（図面）・生産調達・花壇施工までの作業を一貫して円滑に進めるため、品種ごとの植物番号「No.***」と植付け場所ごとの花壇番号「(エリア番号)-(花壇番号)-(図面番号)」を設定し共通の番号として管理した。植物搬入時はそれらを記載した出荷現品票シールをトレーごとに貼付することで識別や仕分けを容易にし、効率的な作業が可能となった。



生育状況調査（生産者圃場）



植物バックヤード



出荷現品票シール

(3) 花壇施工と維持管理

メイン会場の青葉山公園追廻地区に植物バックヤードを確保し、トラックによる植物の搬入や補植用植物のストックヤード、ハンギングバスケット等製作の作業ヤードとして利用した。

花壇の施工にあたっては各エリアや花壇の担当者を植物調達協議会メンバーに割り当て、複数作業チームが各所で同時施工する体制を取ることで、適期の限られた日数で大面積へ大量の花苗植付け作業を行うことができた。

また、フェア期間中の維持管理にあたっては、植物を良好な状態に保つために、花壇施工同様、各エリアや花壇の担当者を植物調達協議会メンバーに割り当て、巡視点検、灌水、花がら摘み、除草、芝刈り等の維持管理を行った。特に青葉山公園追廻地区の維持管理については毎日 4 名のスタッフが会場に常駐し、植物管理ボランティア（P144 参照）の引率を行いながら維持管理にあたった。



花苗仕分け作業（西公園南側地区）



花壇植付け作業（青葉山公園追廻地区）



灌水（青葉通）

(4) 植物情報の提供

各花壇の主な植物名については、植栽景観を壊さないよう写真付きの黒色看板を代表箇所に設置した。特に植物名の問合せが多い植物は、補助的に園芸用植物名ラベル（黒色）に白文字で名前を記載し株元に設置した。

また、公式ホームページ上に花壇使用花苗リストを公開したうえで、見頃を伝える「開花情報」ページを週に 1 回程度写真入りで更新し、同内容の要約版を各種 SNS で発信した。

(5) 閉幕後の植物利用

青葉山公園追廻地区などで一部の花壇をレガシーとして残したほか、「はなばた飾りをまちへ！」と題した譲渡会イベントを開催し、撤去する花壇の植物を有効活用した。これにより仙台フェアを彩った花が、市民の手で各家庭や地域の花壇、学校や市民センターといった公共施設などへ移植され、まちの彩りとして広がっていくこととなった。（詳細は P137 参照）

(6) 使用植物リスト

各会場の花壇整備で使用した植物は次ページ以降のとおりである。なお、テーマ庭園「社のリビングガーデン」や「もりと風のガーデン」および各出展者が作庭した庭園等で使用した植物は含まれない。



植物名	品種名・花色等	数量	単位
フロックス	ポップスター レッド	163	株
ペゴニア	ナイトライフ ピンク	505	株
ペゴニア	ナイトライフ ホワイト	685	株
ペチュニア	イージーウェーブ シルバー	1,552	株
ペチュニア	イージーウェーブ プラムベイン	1,539	株
ペチュニア	いちまつ	870	株
ペチュニア	ショックウェーブ デニム	1,248	株
ペチュニア	ピコベラ ホワイト	1,650	株
ヘデラ・ヘリックス	グレーシャ	2,128	株
ヘデラ・ヘリックス	ゴールドンチャイルド	1,480	株
ヘレボリス	オリエンタリス	1,900	株
ペロニカ	オックスフォードブルー	205	株
ペンステモン	スモーリー	240	株
ペンステモン	ダークタワーズ	477	株
ペンステモン	ハスカレッド	203	株
ホスタ	寒河江	1,110	株
ホスタ	スイートスーザン	450	株
ホスタ	ハルシオン	1,500	株
ホスタ	フライドバナナ	450	株
ボックスウッド		236	本
マーガレット	アンジェリック ジャイアントピンク	311	株
マーガレット	アンジェリック パーガンディー	120	株
マーガレット	サンダーリップル	1,104	株
マーガレット	チェルシーガール	1,053	株
マーガレット	モリンバ イエロー	1,034	株
マーガレット	モリンバ コンパクトホワイト	778	株
マサキ		167	本
マメツゲ		105	本
マリーゴールド	デュランゴ イエロー	170	株
マリーゴールド	デュランゴ オレンジ	278	株
マリーゴールド	デュランゴ ゴールド	890	株
マリーゴールド	デュランゴ タンジェリン	336	株
マリーゴールド	ホットパック イエロー	1,244	株
マリーゴールド	ホットパック オレンジ	690	株
マリーゴールド	ホットパック ゴールド	696	株
マリーゴールド	ホットパック フレーム	336	株
ミニコニファー	ブルーフェザー	13	本
ミニコニファー	ボールバード	18	本
ミニコニファー	ラインゴールド	32	本
ミヤコワスレ		125	株
メタセコイア		3	本
モクピヤッコウ		1,060	株
ヤツデ	袖絞り	2	本
ヤブソテツ		240	株
ヤマアジサイ	七段花	27	株
ヤマアジサイ	白甘茶	27	株
ヤマモモ		6	本
ユーフォルビア	シルバースワン	808	株
ユーフォルビア	ダイヤモンドフロスト	257	株
ユーフォルビア	ブラックバード	420	株
ユリ	クープレット	101	株
ユリ	クーリエ	74	株

植物名	品種名・花色等	数量	単位
ユリ	トレビアーノ	60	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ クリスタルピンク	551	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ディープブルー	370	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ブルーピコティ	477	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ホワイト	1,158	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ライラック	205	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ピンクシング	949	株
ラクスパー(チドリソウ)	カンヌ ブルースイング	1,769	株
ラグラス	パニー・テール	240	株
ランキュラス	スプリングス イエロー	1,760	株
ランキュラス	スプリングス オレンジ	806	株
ランキュラス	スプリングス パイオレット	1,891	株
ランキュラス	スプリングス パイオレットバイカラー	281	株
ランキュラス	スプリングス ピンク	1,131	株
ランキュラス	スプリングス ピンクバイカラー	474	株
ランキュラス	スプリングス ホワイト	1,891	株
ランキュラス	スプリングス ライトピンク	1,923	株
ランキュラス	スプリングス レッド	2,001	株
ランキュラス	マシェ クリーム	100	株
ランキュラス	ラックス アイオリア	32	株
ランキュラス	ラックス アウラ	123	株
ランキュラス	ラックス アリアドネ	139	株
ランキュラス	ラックス アルテミス	32	株
ランキュラス	ラックス ガラテア	32	株
ランキュラス	ラックス ティーバ	68	株
ランキュラス	ラックス テセウス	48	株
ランキュラス	ラックス ハデス	24	株
ランキュラス	ラックス ヘスティア	64	株
ランキュラス	ラックス リキュア	68	株
ラベンダー	イングリッシュラベンダー ほのか	547	株
ラミウム	ビーコンシルバー	2,639	株
ラムズイヤー		242	株
リグラリア	ブリットマリークローフォード	264	株
リグラリア	ミッドナイトレディ	119	株
リシマキア	アトロパープレア ポジョレー	269	株
リナリア プルプレア		1,886	株
リナリア プルプレア	キャノンジェイウエント(ピンク)	686	株
リナリア プルプレア	ホワイト	1,125	株
ルピナス	ギャラリー イエローシェード	1,338	株
ルピナス	ギャラリー ピンクシェード	1,154	株
ルピナス	ギャラリー ブルーシェード	1,458	株
ルピナス	ギャラリー ホワイトシェード	1,338	株
ルピナス	ギャラリー レッドシェード	347	株
ルメックス		299	株
ローダンセマム	エアル ピンク	563	株
ローダンセマム	エアル ホワイト	423	株
ローダンセマム	エアル ローズ	117	株
ワスレナグサ	モナミ ピンク	542	株
ワスレナグサ	モナミ ブルー	740	株

5 各種サイン

会場特性やサイン種別、また他会場との統一性を踏まえ、主に下表のような場所や用途で設置した。

●各種サイン一覧

サイン種別	設置場所	用途	現地写真
メイン会場 エントランス サイン	青葉山公園追廻地区 西公園南側地区	メイン会場の入口を示すサイン	 青葉山公園追廻地区  西公園南側地区
各会場統一 スポットサイン	メイン会場 東部エリア会場 連携会場	メイン会場のほか東部エリア会場や連携会場であることを示す統一デザインのサイン	 東部エリア会場  連携会場
総合案内サイン	青葉山公園追廻地区 西公園南側地区	メイン会場において現在地や目的地の位置を示すサイン	 青葉山公園追廻地区  西公園南側地区
オブジェ・ 立体サイン	青葉山公園追廻地区 まちなかエリア会場	フォトスポット用に制作したサイン	 青葉山公園追廻地区  定禅寺通
ゾーン説明 サイン	青葉山公園追廻地区 西公園南側地区	メイン会場のゾーンごとの説明サイン	 青葉山公園追廻地区

6 会場整備を通じて得られた知見など

(1) 先行工事および関係機関との調整

青葉山公園追廻地区の整備に着手するにあたり、先行している公園整備工事と仙台フェア会場整備が密接な関係性を有することから、先行工事の発注者である仙台市公園整備課および受注者である株式会社高工と調整を重ねた。毎月の定例打合せのほか、現場での細かい連携協力があったことで、円滑に施工することができた。

また、公園管理者である仙台市公園管理課および指定管理者の青葉山エリアマネジメントとも、フェア開催前から綿密な打合せを行い、公園としての利便性の確保に努めた。

(2) 「植物調達協議会」による整備

従来のフェアでは、花き卸売業者や花き生産者などが「植物調達協議会」を組織し植物の生産調達から納品までを担っていることが多かった。仙台フェアにおいては、造園団体も植物調達協議会の構成員であったことから、花壇施工および維持管理の業務も植物調達協議会へ委託し、植物調達～花壇施工～維持管理の一連の業務を継ぎ目無く実施することができた。これにより、花壇ごとの細かな施工スケジュールにあわせて納品日を微調整したり、生育不良等で急遽未納となった植物があった際に施工側で工夫するなど、細かな連携が可能となった。

花壇施工および維持管理は、植物調達協議会の代表である宮城県造園芸協同組合が現場代理人および調整担当となり、一般社団法人宮城県造園建設業協会、一般社団法人日本造園建設業協会宮城県支部と共同で進めた。協働体制として一般社団法人宮城県造園建設業協会の仙台支部各分会および県南支部で具体的な担当エリアが割り振りされ多くの造園企業が参加した。関係する人数が多くなることで連絡調整が複雑化したものの、令和4年12月から月例連絡会議を開催したほか、令和5年2月以降は毎週メールで全体進捗管理を行うなど、受注者と発注者で密に情報共有し、連絡体制を構築した。各会場内の花壇の花植えおよび維持管理に参加した造園企業は次のとおり。

●宮城県造園建設業協会 参加企業一覧

青葉造園(株)	鎌田造園	(株)誠香園	藤造園
赤間造園土木(株)	菅野造園(株)	誠新ランドテック(株)	北部造園土木(株)
(株)秋葉造園	(株)ガーデン二賀地	(株)仙台グリーンガーデン	星造園土木(株)
アサヒグリーン工業(株)	(株)グリーンテック松ノ木	(株)大松園	(株)本郷造園土木
(株)東園芸	(株)グリーンバンク	(株)高島泉樹園	(株)牧山
(株)荒造園工業	(株)高坂園建設工業	(株)高橋園樹	松原造園土木
飯田造園(株)	古積造園土木(株)	(株)高野造園	(株)ミドリ企画
泉作庭	(株)五葉園	宝の森ガーデン	(株)宮城県林業開発センター
(株)岩沼造園土木	(株)桜下造園	(株)千葉園芸	(株)みやぎ造景
(株)植耕	(株)さつき造園	(株)東北造園	(株)宮澤造園
(株)エスタ	(株)芝玄	東北緑化環境保全(株)	宮十造園土木(株)
(株)大久保庭園	(株)柴田造園	(株)東北ロンテック	(株)八幡園
(株)大友園芸	(株)清水園	東洋緑化(株)	(株)山藤造園
小島造園土木	(株)庄子造園	(株)和み庭	(株)横森造園
小山庭園設計室	(株)匠庭川村	(株)行方植物園	(株)竜門園
(株)鉤取造園	翠香苑	(株)NIWAYA	わかばランドスケープ(株)
桂造園(株)	(株)瑞鳳園	(株)針生造園	(株)ワタラグリーン
(株)加藤紅萩園	鈴木造園土木(株)	(株)繁樹園	

(五十音順)

多くの造園企業が主体的に関わったことで、宮城県内の造園業界の総力をあげた素晴らしい花壇を作ることができた。普段は花き園芸を扱わない造園企業もある中で、今回のフェアを通じて多くの企業が花植えや維持管理を経験したことで、造園業界としてのスキルアップや業務拡大につながる事が期待される。

(3) テーマ庭園の整備

社のリビングガーデンにおいては、実施設計の段階から宮城県造園芸協同組合の技術協力を受け、整備についても同組合が受注したことで、設計から施工、フェア期間中の維持管理まで一貫した整備を進めることができた。

また、仙台在住のガーデンデザイナー矢野 TEA 氏やオープンガーデンみやぎ、仙台ばら会などの市民団体からは、会場整備、植物展示への参画のみならず、来場者の花・みどりに関する相談への対応など運営面でも協力があり、それらの設計・施工、市民団体参画の調整等においては、協働事業に多くの実績を持つ株式会社泉緑化の鎌田秀夫氏が中心的な役割を担ったことで、テーマ庭園の展示を好評のうちに終えることができた。

(4) ハンギングバスケットによる修景

仙台市地下鉄東西線国際センター駅からメイン会場までの園路や仙臺緑彩館の入口には、一般社団法人日本ハンギングバスケット協会宮城支部の協力により全75基のハンギングバスケット類を設置した。同支部と協定を締結し、デザインや使用する花苗の選定から検討したことが質の高い作品制作へとつながり、ハンギングバスケットマスターの資格を持つ会員などが制作した華やかな作品は、来場者のフェアへの期待感を高める雰囲気づくりに貢献した。

(5) ストックしていた花苗の活用

補植用の花苗はストックヤードで管理していたが、天候等により使用する見込みがない花苗については、フェア期間中のイベント等で配布するなど廃棄せず活用した。

●会場整備の様子



会場整備前 (R4.4) の青葉山公園追廻地区



会場完成後 (R5.3) の青葉山公園追廻地区



整備中のフェア開催告知横断幕 (R4.9)



大花壇「はなばた飾り」の整地 (R4.10)



土壌改良用堆肥の搬入 (R4.10)



花壇の地植え (土壌改良材攪拌) (R4.11)



花壇内の見切板設置 (R4.11)



花壇の芝張り (ロール芝) (R4.12)



製作する施設の試作 (R5.3)



花苗植付け場所の位置出し (R5.3)



花苗の搬入と配植 (R5.4)



サイン等造形物の据え付け (R5.4)



せせらぎ水路のモニタリング調査 (R5.4)



大花壇「はなばた飾り」の航空写真掲示 (R5.5)



立体花壇の躯体搬入・設置 (R5.3)



舗装上仮設花壇の枠製作 (R5.4)



整備完了箇所の開幕前の規制 (R5.4)

第5章 行催事

1 基本的な考え方

- 仙台フェアの基本理念を踏まえつつ、“Green”をキーワードとした四つのテーマに基づき、ファミリー層や若年層の関心も喚起する多彩なコンテンツを展開する。
- 花やみどりへの関心が薄い層の来場を促進するため、魅力的かつ多種多様なイベントを提供することにより、幅広い来場者からのニーズに対応するとともに、公園での新たなライフスタイルを提案するイベントを実施する。
- 参加者はもとより、多様な企業・団体からの賛同の獲得を目指す。
- 持続可能な開発目標であるSDGsも意識してコンテンツを企画する。
- フェアの開催をまちの賑わい創出などにつなげるため、休日・休前日を中心として朝や夜間におけるイベントを実施する。
- 大学生をはじめとした若者の参画を促すなど、次世代の視点を取り入れたイベントを実施する。
- 「杜の都の環境をつくる条例制定50周年」や「都市公園制度制定150周年」を迎えることを記念して、公園の新たな活用方法などをテーマとしたシンポジウムを開催する。



花やみどりへの関心を高める参加型プログラム



花みどりとアートのコラボレーションによる新しいコンテンツ



みどりを取り入れた新しい空間の利活用



楽しみながらみどりについて学ぶ体験プログラム

2 メイン会場

(1) グリーンアクション

① フラワーカーペット

5月3日(祝)に青葉山公園追廻地区「もりの市民広場」において、花びらや茎、砂等を地面に敷き詰めて11m×11mの巨大な絵を描くフラワーカーペット制作体験を市民参加型イベントとして開催し、完成した作品はイベント当日から5月7日(日)まで展示した。

フラワーカーペットのデザインに関しては、「仙台七夕まつり」の吹き流しを背景に、「仙台・青葉まつり」や「定禅寺ストリートジャズフェスティバル」などの風景をあしらい、仙台らしいまちの賑わいや彩りを表現した。

フラワーカーペット展示期間の終了後には、使用した花びらや茎を原料としたリサイクルペーパーを製造し、後述する「ジャイアントフラワープロジェクト」において活用した。

●準備状況

制作体験の参加者については、仙台市政だより3月号や公式ホームページにおいて募集し、Webフォームからの応募を基本とした。また、フラワーカーペットに使用する花びらと茎の仕分け作業等については、仙台総合ビジネス公務員専門学校フラワー科に在籍する学生39名の協力を得た。

なお、フラワーカーペットの材料の一部については、ウェスティンホテル仙台から提供されたロスフラワーや、仙台フェア開会式の会場装飾に用いた花を使用するなど、資源の再利用に努めた。



フラワーカーペットのデザイン

●当日の様子

制作体験には抽選の結果約80名の方が参加し、約3時間におよぶ作業を経てフラワーカーペットが完成した。

フラワーカーペットを展示した「もりの市民広場」は、青葉山公園追廻地区のエントランス付近に位置していたこともあり、多くの来場者がフラワーカーペットの前で足を止め、巨大な絵が花びらや茎により作られていることに驚いている様子がうかがわれた。

また、展示期間中においては、公益社団法人仙台市シルバー人材センターの協力のもとフラワーカーペットのメンテナンス作業を行ったため、美しく整った状態を維持し、来場者の目を楽しませることができた。



花びらと茎の仕分け作業

(2) ジャイアントフラワープロジェクト

フラワーカーペットで使用した花びら等を原料とするリサイクルペーパーで作った約90輪の花や葉を用いて、ロゴマークを色鮮やかに表現したアートオブジェクトを制作する「ジャイアントフラワープロジェクト」を実施。オブジェクトは6月10日(土)～6月18日(日)までの間、仙臺緑彩館内情報ラウンジにて展示した。

●準備状況

6月7日(水)～6月9日(金)の3日間にわたり開催したワークショップにおいては、聖ドミニコ学院小学校5、6年生と八木山おおば保育園の園児総勢93名の参加によりアートオブジェクトに使用するペーパーフラワーを制作した。ペーパーフラワーの色やデザインについては子どもたちの自由な発想に委ねたところ、個性あふれる花々ができあがり、カラフルな作品が完成した。また、アートオブジェクトはフォトスポットとしても活用できるよう、幅3.8m×高さ3mと十分な大きさとして制作した。

●当日の様子

アートオブジェクトは仙臺緑彩館正面エントランス付近に展示されたこともあり、多くの来場者が足を止め、鑑賞や記念撮影を楽しむ様子が見受けられた。

(2) グリーンクリエーション

① 未来の杜せんだいナイトパーク

西公園南側地区全体を会場に、5月26日(金)～6月11日(日)までの3週末計9日間、仙台フェア唯一の夜間催事として「未来の杜せんだいナイトパーク」を開催した。開催時間は各日19～21時の2時間として、会場内の保存樹林等をイルミネーションやプロジェクションマッピングなどで幻想的に彩る「NAKED夜さんぽ™」を中心に、焚火とともに飲食を楽しむ「サンセットバー」、仙台市天文台の移動天文車「ベガ号」による星の観察会、星や月をモチーフとした雑貨等を販売する「星★マルシェ」など、多様なイベントを組み合わせ実施した。



移動天文車「ベガ号」

●準備状況

メイン会場の開場時間検討の過程において、ナイトタイムエコノミー創出等の観点から、夜間開催を要望する意見があった。最終的にメイン会場の開場時間は9時30分～17時で決定したが、こうした要望を踏まえ、期間限定での夜間催事の開催について検討することとなった。

会場は、来場者の入退場管理が比較的容易であり、夜間催事終了後、来場者の仙台市中心部への送客が期待できる西公園南側地区とした。開催日程に関しては、来場者の夜間外出に対する心理的障壁が小さいと想像される金～日曜日に開催することとした。

また、イベントの充実を図るだけでなく、ライトアップされた景観を楽しみながら憩うことができるハンモックやアウトドアチェアを配置するなど、来場者がゆっくりと滞在できる空間づくりに努めた。

●当日の様子

NAKED 夜さんぽ™ における使用区域の収容人数を踏まえて来場者数を予測していたが、最多客日には約 3,000 人の来場者を集めるなど、結果として想定を大幅に上回る事となった。このような状況のもと、NAKED 夜さんぽ™ の会場の一部である保存樹林内において相当な混雑が生じたことから、運営スタッフの増員等により来場者の安全確保に努めた。



保存樹林内の混雑状況

② KANAKO SASAKI LIVE PAINT ～ all around bloom ～

6月10日(土)、青葉山公園追廻地区にて、仙台市出身のアーティスト・佐々木香菜子氏によるライブペイントパフォーマンスを開催した。パフォーマンス終了後は、来場者が佐々木氏の作品の上に重ねて、思い思いに花を描く参加型ワークショップを実施。完成した作品は仙台フェア閉幕までの間、仙臺緑彩館にて展示した。

●準備状況

パフォーマンス、ワークショップ、展示については同一のキャンバスボードを使用するため、一連のプロセスが円滑に進むよう、会場や運営方法の検討、他のイベントとのスケジュール調整に努めた。

●当日の様子

音楽にあわせて披露された約 50 分間のパフォーマンスでは、真っ白な大型のキャンバスボードに大輪の花模様が力強く描かれた。下書きも台本も無く、その場で出来上がっていくアートに来場者の視線が釘付けとなった。

参加型ワークショップはフォトスポットガーデン付近で開催したが、絵具が飛び散らないように芝生を養生したうえ、参加者には衣服の汚れ防止のため合羽を配布した。なお、ワークショップにはパフォーマンスを観覧していた学生や子ども連れなどが多数参加し、大変な盛況であった。

(3) グリーンフィールド

① フォレストアドベンチャー

西公園南側地区のエリアコンセプト「杜の都の風景や自然に親しみ、みどりと遊ぶエリア」を踏まえ、園内に生育するヒマラヤスギの保存樹林を活用した自然共生型のアクティビティ「フォレストアドベンチャー」を設置した。フォレストアドベンチャーは、樹林の樹上約 5m に設置した 11 のアクティビティからなり、最後には約 80m のジップラインを楽しめるコース設定のもとフェア期間中通期で実施した。なお、1 日あたりの参加者数上限は 210 名、利用料金は 1,000 円と設定した。

158	1	ミラーズステアーズ Miller's Stairs	地上から樹上のアクティビティへ向かう階段。	110	2	ネットブリッジ Net Bridge	細かい網目状のネットを足場にしたアクティビティ。
104	2	グランパブリッジ Granpa's Bridge	コース最初に設置するラダー型のアクティビティ。	185	2	チックタックブリッジ Tic Tac Toe	丸とバツ印をかたどった足場を進んでいくアクティビティ。
182	2	ミニ・フライングカーペット Small Flying Carpet	空飛ぶ絨毯をイメージした足場が、大きく揺れるアクティビティ。	107	2	ボースンズチェア Bosun's Chair	足場は無く、ロープを手繰り寄せて進むアクティビティ。
202	1	ネットトンネル+ブランク Net Tunnel	上と左右がネットで覆われたトンネル状のブリッジで、四つん這いで進んでいくアクティビティ。	192	2	スモールユー Small U	粗い網目状のネットを渡っていくアクティビティ。
203	2	ウォーターリリー Water Lily	小さな丸形の足場がジグザグに配置されたアクティビティ。	111	3	スパイダーウェブ Spider's Web	格子状のネットを蜘蛛のようにわたっていくアクティビティ。
114	2	ログスイング Log Swing	ロープでつづられた丸太の上を歩くアクティビティ。	115	1	ジップスライド Zip Slide	コース最後に設置するアクティビティで、約80mの長さのジップライン。

アクティビティ一覧

●準備状況

コースの設計・設置・撤去、運営については、有限会社パシフィックネットワークへの業務委託により実施した。フォレストアドベンチャーは仙台市が指定する保存樹林に設置したことから、アクティビティの設置前・撤去後において、樹木医による樹勢診断等を行った。また、設置の支障となる枝の剪定にあたっては、仙台市の担当部署の立ち合いのもと、事前確認を行った。なお、参加申込方法として、インターネットによる事前予約と当日受付の 2 パターンを用意した。

●当日の様子

フォレストアドベンチャーが東北地方に設置されるのは仙台フェアが初めてという話題性もあり、メディアへの露出も特に多く、休日を中心に多くの来場者がスリル溢れるアクティビティを体験した。最終的には 4,492 名もの参加者を集めるなど、仙台フェアを象徴するコンテンツの一つとなった。

フェア期間中通期で実施していたことから、学校帰りに来場する子どもたちや会場の近隣に住む方を中心にリピーターも多くあった。

また、大人も楽しめる難易度のコース設定としたため、幅広い層の来場があった。一方、体験中に恐怖を感じてしまい、リタイアする子どもたちの姿も散見された。

なお、当日受付を希望される方が非常に多かったため、5月からは先着順で整理券を配布することで対応したが、ほとんどの休日において午前中で配布終了となった。

業務受託者に対しては、日々のコースの点検をはじめとして、参加者の安全確保の徹底を求めた結果、事故や負傷者の発生もなく、無事に閉幕を迎えることができた。

② ツリークライミング® 体験会

楽しみながら自然を体感できるコンテンツとして、西公園南側地区の保存樹林内を会場に、ハーネス等の安全器具を装着して専用のロープを枝にかけて樹木に登るアクティビティ「ツリークライミング® 体験会」を実施した。樹木に登るだけでなく、準備運動「木のものまねストレッチ」や、会場内の樹木の説明など、体験時間約 90 分の中で参加者がより自然を身近に感じられるようなプログラムも用意した。ツリークライミング® 体験会は、5月20日(土)以降の土日に開催することとして、1 日あたりの参加者数の上限は原則として 36 名、利用料金は大人 2,000 円、子ども 1,000 円と設定した。

●準備状況

樹木に登るアクティビティは様々な団体が実施しているが、仙台フェアにおいては、TCI*から公認を受けている国内唯一の企業である株式会社ツリークライミングワールドに実施運営業務を委託した。

* Tree Climbers International の略。世界で初めてツリークライミングをアクティビティ化し、安全対策や指導者のトレーニング方法等を確立した組織

●当日の様子

体験会はすべての開催日程においてほぼ満員であり、最終的な参加者数は 334 名だった。なお、開催予定だった 10 日間のうち、6月11日(日)のみ雨天中止となった。開催中の事故や負傷者の発生もなく、無事に終了することができた。

(4) グリーンスタディ

① にしひろパートナーズ

地域に密着して活動する市民団体等が主体となり、西公園南側地区・広瀬川地区を会場に、木の実を使った自然遊び、植替え予定の花を活用したブーケづくり、広瀬川の生き物観察など、様々な体験型コンテンツを展開した。

また、西公園南側地区内の仙台市地下鉄東西線の高架下では、「シゼンに“出会う”体験」をテーマに、広瀬川に生息する生き物の水槽やミツバチの巣箱の展示など、生態系のしくみや生命の尊さを学ぶことができる機会を提供したほか、木の絵画・水の写真の展示や、遊び道具の貸し出しを行った。「自然とは何か」を考えたり、心の赴くままに遊びを発想したり、自発性を生み出すしかりに工夫を凝らした。



にしひろパートナーズのメンバー

●準備状況

特定非営利活動法人都市デザインワークスに企画のコーディネートに依頼し、コンテンツの提供団体として、「西公園を遊ぼうプロジェクト」、「西公園プレーパークの会」、「カワラバン」、「建築ダウンナーズ」の参画のもと、定期的にイベント企画に関する意見交換の場を設け、開幕に向けて準備・検討を進めた。コンテンツ内容の方向性として、「自然・公園・家族・環境」と四つのキーワードを設定。各団体の活動理念や得意なフィールドを活かしながら、子どもたちの「やりたい！」が生まれるプログラムを実施することとした。

●当日の様子

各団体が主体的にイベント運営を行い、実行委員会と都市デザインワークスは設営・撤収等のサポートに徹した。土日祝日計15日間様々なコンテンツを実施。参加者のほとんどが子ども連れであり、自然との触れ合いを存分に楽しんでいた。また、リピーターも多く見受けられた。

団体名	主なコンテンツ	実施場所
西公園を遊ぼうプロジェクト	○摘んで・束ねて ミニブーケをつくろう！ ○キラキラ七タオーナメントをつくろう！ ○「シゼンに“出会う”体験」ミツバチの生態展示	西公園南側地区
西公園プレーパークの会	○みんなで作るカラフルアート ○竹スロープ・松ぼっくり釣り ○みんなのベンチ〜フォレピカラーのベンチをつくろう〜 ○「やりたい！」を見つけてみよう ○「シゼンに“出会う”体験」あそび七つ道具貸し出し	西公園南側地区
カワラバン	○広瀬川せせらぎ水路モニタリング ○生き物観察 & 工作ワークショップ ○「シゼンに“出会う”体験」生き物水槽展示	西公園南側地区 広瀬川地区
建築ダウンナーズ	○「シゼンに“出会う”体験」展示什器製作 ○「シゼンに“出会う”体験」林業紹介展示	西公園南側地区



ミツバチの生態展示



あそび七つ道具貸し出し



生き物水槽展示

②花やみどりにちなんだ作品展やワークショップ

仙臺緑彩館において、市民活動団体や個人による花やみどりにちなんだ写真や絵画、生け花などの作品展をフェア期間中通期で実施した。あわせて、主催者展示として仙台市の関係部局が市の歴史や文化、東日本大震災からの復旧・復興のあゆみ、防災環境都市の取り組みなどを紹介したパネル展示を行った。

また、仙臺緑彩館内交流体験ホールや活動スペースに設けたワークショップ会場および「もりの市民広場」、「グリッド広場」に設置したテントでは、ハンギングバスケットや苔玉、木工製品づくりなど、花やみどりを暮らしに取り入れるヒントを楽しみながら学ぶことができる多彩なワークショップを開催した。

●準備状況

市民活動団体等による花緑関連作品の出展は、仙臺緑彩館内の面積約300㎡の交流体験ホールを16㎡または33㎡の出展スペースとして区切り、可能な限り多くの作品を効率的に展示できるようなレイアウト設定に努めた。また、1団体あたりの出展期間を1週間単位としたことで、来場するたびに異なる作品が楽しめるような出展スケジュールを組んだ。

ワークショップについては、多くの来場者が見込まれる土日祝日のみ開催することとした。また、実施スペース内に限り、ワークショップの内容にちなんだ物販を許可した。

●当日の様子

花緑関連の作品出展者の多くは出展スペース内に説明員を配置しており、訪れた来場者からの質問に答えるとともに、団体の活動内容を紹介する様子が見られた。

ワークショップについては、若者からご年配の方まで、幅広い年齢層の来場者が参加できる多種多様な企画のもと開催され、好評につき満員となったプログラムも散見された。

●主催者展示概要

担当部局	概要
まちづくり政策局 防災環境都市推進室	○東日本大震災からの復興状況や東部エリア会場の紹介 ○「防災環境都市・仙台」の取り組みやステークホルダーの活動紹介
環境局	○仙台らしいエコなこと「杜の都スタイル」、プラスチック資源循環、生物多様性、食品ロス削減、せんだいE-Action、地球温暖化対策等に関する取り組み紹介
文化観光局交流企画課	○「仙台・青葉山エリア文化観光交流ビジョン」の紹介
文化観光局観光課	○伊達政宗公復顔像、狩野安信筆伊達政宗画像（肖像画）および解説パネル
都市整備局市街地整備課	○東部沿岸部の集団移転跡地地活用事業の紹介
建設局百年の杜推進課	○「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト」の活動紹介 ○「杜の都・仙台 令和版 わがまち緑の名所100選」で選定されたスポットの紹介
教育局文化財課	○青葉山の歴史や仙台北城跡の発掘調査で発見された遺物等の紹介
水道局	○給水開始100周年を記念した仙台市水道のあゆみと水源涵養林保全の取り組み紹介

(5) 集客イベント
①熱気球体験

仙台フェア期間中の土日祝日計9日間、青葉山公園追廻地区「もりの市民広場」において、6時～8時30分頃まで係留型熱気球体験イベントを実施した。

1日あたりの参加者数の上限を80名と定めていたが、仙台市中心部で熱気球に乗ることができる希少性等から多くの関心を集め、各回の受付開始後はおおむね5分以内で定員に達する状況が続いた。



上空からの様子（車両に係留資材として利用）

●準備状況

実施・運営については「仙台旅先体験コレクション」に参画する有限会社風の丘に依頼。

熱気球体験の実施時間帯は、参加者の安全確保の観点から、現地における気流が比較的穏やかな早朝とすることとした。なお、車両に係留資材として使用し、実施日ごとに搬出入した。

令和5年2月28日（火）には現地で試験飛行を行い、運営面の安全性や設営・撤収にかかる時間、来場者導線等を確認した。

中止判断基準*や運営スキーム等については、他地域での事例を参考にしながら、運営事業者と開幕直前まで検討を重ねた。

*実施前日の18時時点で雨天あるいは風速3.1m/s以上の予報で中止

*当日は2地点にて定時計測し、地表で風速3.1m/s以上を計測した場合は一時中断、雨天時は中止

●当日の様子

熱気球が上がる時間帯は早朝にも関わらず、見学のため会場周辺を訪れる人たちの姿も見受けられた。

実施日数9日間のうち、天候不良により3日間中止となったが、延べ473名の方が参加し、無事故で終了した。



②みちのくプロレス

5月13日(土)・14日(日)の2日間、青葉山公園追廻地区芝生のイベント広場にリングを設置し、両日ともシングルマッチ2試合、タッグマッチ1試合を実施したほか、プロレス教室や物販・サイン会を開催した。

●準備状況

みちのくプロレスとの調整は一般社団法人まちくる仙台に依頼。開催前日にはスタッフや選手自らリングの設営にあたり、リングの四方を囲むように200席程度の観覧席を設けた。

●当日の様子

試合前には小学生以下を対象としたプロレス教室が開催され、各日5名程度がロープアクションやマット運動等を体験した。

試合開始後も、公園内で繰り広げられる熱気溢れる試合やレスラーのパフォーマンスに多くの来場者が歓声を上げながら観戦。ピーク時には400名を超える観衆が試合を楽しんだ。



プロレス教室

③東北のまつり

5月20日(土)・21日(日)に開催された仙台・青葉まつりにあわせ、「青森ねぶた囃子」、「秋田竿燈まつり」、「盛岡さんさ踊り」、「山形花笠踊り」、「仙台すずめ踊り」、「福島わらじまつり」をメイン会場に招聘した。

●準備状況

仙台・青葉まつり協賛会の協力のもと、青葉山公園追廻地区を仙台・青葉まつりのサテライトステージとして位置づけ、多くの祭連(まつら)がイベントステージにて仙台すずめ踊りを披露した。なお、仙台・青葉まつりの会場である勾当台公園周辺からメイン会場への祭連の移動を補助するため、実行委員会の手配により仙台市役所と仙台国際センターを往復するシャトルバスを3台運行した。東北のまつりは来場者の関心も高く、フェア期間前半に開催されたイベントとしては、情報センターへの問合せが最も多かった。なお、メイン会場内における出演者の待機場所が不足していたため、仙台国際センターの会議室等を借用し、控室とした。

●当日の様子

東北を代表するまつりが一堂に会するという話題性から、会場は両日とも大きな賑わいを見せた。秋田竿燈まつりの演技中は、風の影響による竿燈の転倒を考慮し、演技エリアを囲むようにスタッフを多数配置したが、天候にも恵まれ、無事故で終了することができた。

④著名人等によるステージイベント

5月4日(祝)、6日(土)に「よしもと芸人お笑いライブ」、5日(祝)に「ドラえもんショー」、6月11日(日)に「MONKEY MAJIK(メイナード、プレイズ)」によるライブを実施した。

●準備状況

第39回全国都市緑化北海道フェアの実績から、キャラクターショーは混雑が予想されたため、「ドラえもんショー」では、観覧席用の整理券を当日会場にて事前配布することとした。

また、ステージ周辺にはカラーコーンおよびパーを設置し、観覧エリアと来場者導線を明確に区分けした。

●当日の様子

5月4日(祝)のお笑いライブには「くまだまさし」、「バイク川崎バイク」、「いぬ」の3組が、5月6日(土)には「パンサー(尾形・菅)」、「レイザーラモン」、「フルーツポンチ」、「おばたのお兄さん」の4組が出演。即興で行われたじゃんけん大会では、出演者のサイン等がプレゼントされた。

6月11日(日)のMONKEY MAJIKのステージは、雨天にも関わらず、観覧者が仙臺緑彩館の軒下まで溢れるほどの盛況を見せた。いずれも観覧無料ということもあり、300～400名程度の観覧者を集めた。

⑤仙台すずめ踊り総流し(グランドフィナーレ)

6月18日(日)に青葉山公園追廻地区において仙台すずめ踊り総流しを実施。フォトスポットガーデンから大花壇「はなばた飾り」に至るプロムナードの260mを約2時間かけて総勢160名を超える踊り手・お囃子が練り歩いた。

●準備状況

プロムナード上の東側約6.5mを総流しコース、西側約3.5mを来場者導線とした。また、グリーンスクエアゾーン内の一部を一般観覧エリアとして開放し、障害者等駐車場付近には車椅子利用者専用の観覧エリアを設け、各エリアをカラーコーンおよびパーで区分けした。

スタッフ数や規制の範囲等については、来場者数や出演者数等を考慮して決定し、最も人員を要する来場者誘導には、仙台中部郵便局長会から15名に協力いただいた。

●当日の様子

実行委員会事務局職員のほか、仙臺すずめ踊り連盟等にも協力を仰ぎ、総勢約40名のスタッフで運営した。総流し実施中は、来場者がスムーズに会場内を往来できるよう、コース上に横断ポイントを3カ所設けたほか、気温30度を超える真夏日だったため、出演者の熱中症対策として折り返し地点に給水ポイントを設置した。仙臺緑彩館やもりの庭園周辺、グリーンスクエアゾーン周辺に多数の観覧者を集め、事故なく終了した。



伊達の一本締めで総流しを締めくくる

⑥公募イベント

宮城県内に活動の拠点を持つ団体や個人であることを応募資格として、「花緑関連作品等出展者」、「ステージイベント出演者」、「ワークショップ・講座企画・運営者」、「芝生イベント企画・運営団体」の4区分に分けて公募を実施した。

募集期間は令和4年10月3日(月)～11月15日(火)まで(芝生イベントのみ11月30日(水)まで)とした。

●準備状況

公募の周知にあたっては市民センターや図書館などの市民利用施設に募集要項を設置したほか、「学都仙台コンソーシアム」の協力を仰いだ。

各区分に応じて公募上限枠数を定めて募集を行った結果、ステージイベントについては申込多数となったことから、出演枠の再調整を行ったうえで抽選により出演団体等を決定した。

●公募結果

各区分における申込数と決定数については以下のとおりとなった。

また、決定した団体等にはヒアリングシートを送付し、当日必要となる資機材や実施スペースなどの情報を集約するなど、実施日直前まで綿密に調整を重ねた。

募集区分	想定上限数	申込数	決定数
花緑関連作品等出展者	25程度	19	19
ステージイベント出演者	40程度	67	50
ワークショップ・講座企画・運営者	20程度	9	9
芝生イベント企画・運営団体	10程度	7	7



募集要項各種



(6) イベント一覧

●青葉山公園追廻地区：屋外イベント

実施日	イベント名(実施団体名)
4/26(※)	突撃！ナマイキTV公開生放送(※東日本放送)
4/29(祝)	熱気球体験(南風の丘)、「みどり」につながる「土」と「微生物」[地球冷却微生物を探せ] in 仙台(市民参加型研究プロジェクト「地球冷却微生物を探せ」)
4/30(日)	熱気球体験(南風の丘 ※中止)、マイナビ仙台レディース ボールで遊ぼう！(マイナビ仙台レディースホームタウン協議会)、ノルディックウォーキング(みちのくノルディックウォーキングネットワーク)
5/2(※)	フラワーカーペット制作(※インフィオラータ・アソシエイツ)、踊ってみよう、ラテンダンス！(ダンスアトリエ Barrio Latino)、疲れた体のリフレッシュ 操体法で体のケア(温古堂)
5/3(祝)~4(祝)	フラワーカーペット展示(※インフィオラータ・アソシエイツ)、IZUMI PEAKBASE アウトドア体験イベント(泉ピークベース)
5/5(祝)	フラワーカーペット展示(※インフィオラータ・アソシエイツ)、曳き馬・エサやり体験(※乗馬クラブクレイン)
5/6(出)	フラワーカーペット展示(※インフィオラータ・アソシエイツ)、無印良品つながる市(※良品計画)、HUGEL 展示イベント(アイリスオーヤマ(株))、曳き馬・エサやり体験(※乗馬クラブクレイン)、水道局100周年PR・給水車展示(仙台市水道局)
5/7(日)	フラワーカーペット展示(※インフィオラータ・アソシエイツ)、HUGEL 展示イベント(アイリスオーヤマ(株)) ※中止)、曳き馬・エサやり体験(※乗馬クラブクレイン ※中止)、水道局100周年PR・給水車展示(仙台市水道局)
5/8(月)	旅で役立つミニフランス語講座(フランス語サロン・カルチャータン)
5/9(※)	踊ってみよう、ラテンダンス！(ダンスアトリエ Barrio Latino ※中止)、疲れた体のリフレッシュ 操体法で体のケア(温古堂 ※中止)
5/10(※)	「みどり」につながる「土」と「微生物」[地球冷却微生物を探せ] in 仙台(市民参加型研究プロジェクト「地球冷却微生物を探せ」)
5/12(金)	ラフターヨガの集い(東北 WAHHAHA の会)
5/13(出)	熱気球体験(南風の丘)、プロレスシングルマッチ・タッグマッチ・体験教室(みちのくプロレス)、モバイルアロマラボ 蒸留デモンストレーション(アットアロマ(株))、ピクニックパーク(宮城学院女子大学 生活文化デザイン学科 都市デザインゼミ)
5/14(日)	熱気球体験(南風の丘 ※中止)、プロレスシングルマッチ・タッグマッチ・体験教室(みちのくプロレス)、ベガルタ仙台 kids エリア(※ベガルタ仙台)
5/17(※)~18(休)	ピクニックパーク(宮城学院女子大学 生活文化デザイン学科 都市デザインゼミ)
5/20(出)	熱気球体験(南風の丘 ※中止)、ミヤガクかけっこ & 食育カフェ(宮城学院女子大学 スポーツサイエンスラボ)
5/21(日)	熱気球体験(南風の丘)、ミヤガクかけっこ & 食育カフェ(宮城学院女子大学 スポーツサイエンスラボ)、「みどり」につながる「土」と「微生物」[地球冷却微生物を探せ] in 仙台(市民参加型研究プロジェクト「地球冷却微生物を探せ」)
5/27(出)	熱気球体験(南風の丘)、面白庵野点茶会(Sendai 多目的茶室「面白庵」)
5/28(日)	熱気球体験(南風の丘)、パルクール体験(パルクール練習施設 JUMP & LEAP ※中止)
5/29(月)	奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊 片倉十郎景綱の街歩きツアー「全国都市緑化仙台フェアの会場をともに歩こうぞ！」(奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊)
5/31(※)~6/1(休)	ピクニックパーク(宮城学院女子大学 生活文化デザイン学科 都市デザインゼミ)、オープンガーデンマルシェ(オープンガーデンみやぎ)
6/2(金)	伊達なクラブ仙台 らくらくフレイル予防タイム((公社) 仙台市老人クラブ連合会 ※中止)
6/3(出)	熱気球体験(南風の丘)、ノルディックウォーキング(みちのくノルディックウォーキングネットワーク)、障害福祉事業所マルシェ 福の市(福の市実行委員会・きょうされん宮城支部)
6/4(日)	障害福祉事業所マルシェ 福の市(福の市実行委員会・きょうされん宮城支部 ※中止)
6/8(休)	飲食イベント「Green WINE Garden」(※ユーメディア)
6/9(金)	飲食イベント「Green WINE Garden」(※ユーメディア)、伊達なクラブ仙台 らくらくフレイル予防タイム((公社) 仙台市老人クラブ連合会 ※中止)
6/10(出)~11(日)	飲食イベント「Green WINE Garden」(※ユーメディア)、A&F カントリー防災アウトドアイベント(※エイアンドエフ、伊澤直人)、リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)、ストリートピアノ展示((一社) 仙台ストリートピアノ協会)
6/12(月)~14(※)	リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)
6/15(休)	飲食イベント「Green BEER Garden」(※ユーメディア)、リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)
6/16(金)	飲食イベント「Green BEER Garden」(※ユーメディア ※中止)、リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)、IZUMI PEAKBASE アウトドア体験イベント(泉ピークベース)、伊達なクラブ仙台 らくらくフレイル予防タイム((公社) 仙台市老人クラブ連合会 ※中止)
6/17(出)	飲食イベント「Green BEER Garden」(※ユーメディア)、IZUMI PEAKBASE アウトドア体験イベント(泉ピークベース)、リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)、ストリートピアノ展示((一社) 仙台ストリートピアノ協会)、ニュースポーツ(仙台リゾート&スポーツ専門学校)
6/18(日)	飲食イベント「Green BEER Garden」(※ユーメディア)、仙台すずめ踊り総流し(仙臺すずめ踊り連盟)、リサイクルアート展 アンブレラスカイ(宮城野区中央市民センター)、ストリートピアノ展示((一社) 仙台ストリートピアノ協会)

●青葉山公園追廻地区：ステージイベント

実施日	イベント名(実施団体名等)
4/26(※)	突撃！ナマイキTVトークショー(※東日本放送)、伊達武将隊演武ステージ(奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊)、ハーモニカ演奏(Take Five)、協賛ステージ(東日本高速道路(株))
4/29(祝)	令和5年度新緑祭(主催：仙台市、(一社)宮城県造園建設業協会、社の都づくり植木市協賛会、(一社)日本造園建設業協会宮城県支部、(公財)仙台市公園緑地協会)
4/30(日)	プロスポーツチア(東北ゴールデンエンジェルズ・球団マスコット「スイッチ」)、花アートパフォーマンス(From here)、よさこい演舞(蒼天爛華)、長唄三味線(綾音の会)、チアダンス&よさこい(Smile for Japan Project)、自治体ステージ(宮城県、利府町)
5/3(祝)	歌唱(アユム)、よさこい演舞(鳳翔乱舞)、タヒチアンダンス(FENUAHERE)、ジャズダンス&ヒップホップダンス(ジャズダンススタジオグアテマラ)、ラテンダンス(ダンスアトリエ Barrio Latino)、オカリナ演奏(Le Dita&かのん)、吹奏楽(ゴル10プラス)
5/4(祝)	よしもと芸人お笑いライブ(くまだまさし、バイク川崎バイク、いぬ)、アーティスト音楽ライブ(first selection、Tan.san.sui、島山有希)、生け花パフォーマンス(丹野園園)、K-POP ダンス(Gaja-Go Dancer)、ギター弾き語り(Rino)、協賛ステージ(※藤崎)
5/5(祝)	ドラえもんショー、チアダンス(Pop Smile)、ダンス(Dance Mix-e)、マジックショー(エンターテイナーまなみん)
5/6(出)	よしもと芸人お笑いライブ(パンサー尾形・菅、レーザーラモン、フルーツボンチ、おばたのお兄さん)、ケルト音楽演奏(あいらっしゅ)、民族音楽(エル アルマ)、パトントワリング(M's one fresh Batonschool)、自治体ステージ(石巻市、東松島市)
5/7(日)	吹奏楽(仙台南高等学校吹奏楽部)、合唱(NHK 仙台少年少女合唱隊)、ジャズ演奏(社 Lemonnote Band)、日本舞踊(千歳流 千歳扇舞会)、チアダンス(チアダンスサークル チェリーズ ※中止)、ペリーダンス(ペリーダンスチーム Mysha)、阿波踊り(阿波おどり やっと連仙台)、琴・三味線(Sakura Blooms)、自治体ステージ(塩竈市)
5/13(出)	南米民俗音楽(コンフント トラピチェ)、ジャズダンス(MOMIE DANCE STUDIO)、チアダンス(YS Dance Factory)、ヒップホップダンス(Golden.JB'z)、自治体ステージ(さいたま市)
5/14(日)	仙台・青葉まつりPRステージ(仙台すずめ踊り：松陵組、松陵組すずめつ子、舞すずめ、ネットヨタ紅雀ゆかいな合同祭連、聖和学園 雀組、仙臺粹人「国見雀」縁、風羽里、天晴！赤鞘組、紺袖雲、OH 囃子来's おかわり、伊達衆「一ノ座」、まつり宝山、まつりめぐひめ)、プロスポーツチア(ベガルタチアリーダーズ)、チアダンス(COLORFUL POP)
5/20(出)	東北のまつり(秋田竿燈まつり：秋田市竿燈会、福島わらじまつり：福島わらじまつり実行委員会)、仙台・青葉まつりサテライトステージ(仙台すずめ踊り：表小路10、猩猩絆連 花道、荒町すずめっこ、祭り向日葵・笑雀、◆朱雀、五六八祭連、OH 囃子来's おかわり、姐組、天晴！赤鞘組、葉季系すずめ組 ミミリーナ、葉季系すずめ組、さあさ！錦、紺袖雲、伊達衆「一ノ座」、自治体ステージ(秋田市))
5/21(日)	東北のまつりステージ(青森ねぶた囃子：日立囃子方 青森ねぶた凱立会、盛岡さんさ踊り：ミスさんさ連、山形花笠踊り：山形大学花笠サークル 四面楚歌)、仙台・青葉まつりサテライトステージ(仙台すずめ踊り：伊達衆「一ノ座」、紺袖雲、仙千代わっこ、仙千代祭連、祭り向日葵・笑雀、「結」、天晴！赤鞘組、仙台メイドカフェにゃんぼんたん、みやぎの雀、尻舞、猩猩絆連、柳生祭連、葉季系すずめ組 ミミリーナ、葉季系すずめ組)、自治体ステージ(大郷町)
5/27(出)	アーティスト音楽ライブ(さよならレインードロップ、荒井友梨乃、佐藤史帆、moco)、フォレッピーとじゃんけん大会、仙台すずめ踊り(片平つき雀)、長唄三味線(三味仙座)、フラダンス(hale aloha)
5/28(日)	伊達武将隊演武ステージ(奥州・仙台おもてなし集団伊達武将隊)、ジャズ演奏(g.s.b)、吹奏楽(仙台市立吉成小学校吹奏楽部)、演歌(米山愛子)、沖縄唄三線(うちなーの風)、キッズダンス(DANCESTUDIO UP'S)、英語落語(RAKUGO 会)、長唄三味線(三味仙座)、クラシックバレエ(Development Of Arts)、自治体ステージ(栗原市)
6/3(出)	仙台ストリート音楽祭ネットワークステージ(けやきコカリナ青葉の風、千葉貴利、笙 YUU、R's Groove、ピンテージ倶楽部バンド、small butter、mishmash、Bloom、SMG)
6/4(日)	仙台ストリート音楽祭ネットワークステージ(ひー・ふーみ、SOUTH'N HARMONY、あいらっしゅ、Close2U、Love never fails、Delighted Groovers)、自治体ステージ(平泉町 ※中止)
6/10(出)	KANAKO SASAKI LIVE PAINT(佐々木香葉子)、アーティスト音楽ライブ(YUCA、TATE & MARKIE)、フォレッピーとじゃんけん大会、フラダンス(ルワナ ホオハウオリ フラ)、バンド演奏(Respectfull)、バリ舞踊(バリ舞踊「フアック」)、ジャズ演奏(Saxobongo)
6/11(日)	アーティスト音楽ライブ(MONKEY MAJIK：メイナード、ブレイズ)、みちのく YOSAKOI ステージ(柴田よさこい美翔連、祭・WAKUYOSA 舞桜、舞綺理、月詠、角田いなせ組、おどっちゃ矢→もっど、よさこい走乱白石城、神威、鳳翔乱舞、羽跳天、踊る YOSAKOI 愛日本)、オーケストラ演奏(スウィング・ハード・オーケストラ)、ハワイアンダンス(Ka Lehua Ulu I Ka Noe)、モダンバレエ(モダンバレエサークル ティンクル)、自治体ステージ(大和町)
6/17(出)	アーティスト音楽ライブ(Coralians)、サクソ演奏(Saxophone quartet Rosso)、和太鼓演奏(幸南復興太鼓)、ラインダンス(NPO 法人 J-PAL)、タヒチアンダンス(HIVAORacompany)、太極柔力球演舞(柔力球クラス)、よさこい演舞(宮城学院女子大学よさこい部 Possoballare?MG)、自治体ステージ(色麻町、加美町、熊本市)
6/18(日)	アーティスト音楽ライブ(さよならレインードロップ、伊東洋平、島山有希)、仙台すずめ踊り(宮城大学仙台すずめ踊りサークル 娘すずめ。)、クロージング音楽ライブ(秩父英里とスペシャルバンド)、協賛ステージ(※ユーメディア)



●青葉山公園追廻地区：屋内出展・展示

実施日	イベント名(実施団体名等)
常設	パネル展示(国土交通省東北地方整備局)、プランターラック((一社)日本植木協会)、壁面緑化展示((公財)都市緑化機構)、バラ・絵画・パネル等展示(仙台ばら会)、羽生結弦氏写真パネル、主催者展示(仙台市※P109参照)
4/26(水)~29(土)	パネル等展示(花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ・雄勝ローズファクトリーガーデン、くよみ郷土研究会、水の森公園運営協議会、水の森里の会)
4/30(日)	パネル等展示(緑を守り育てる宮城県連絡会議)
5/1(月)~7(日)	写真展示(番山21の会)、パネル展示(権現森自然研究会、みやぎ里山応援団)、パネル・エリア模型展示(NPO法人都市デザインワークス)、パネル・木製品等展示(宮城県森林組合連合会・宮城県木材協同組合・(公社)宮城県緑化推進委員会)、パネル・写真展示(日本ビオトープ協会、仙台市百年の杜推進課)
5/8(月)~14(日)	企画展「Four-leaf clover」～緑と人をつなぐ～((公財)仙台市公園緑地協会)
5/22(月)~28(日)	大型リース展示(学校法人菅原学園仙台総合ビジネス公務員専門学校フラワー科)、クレマチス鉢展示(クレマチスを楽しむ会)、エビネ鉢展示(エビネ愛好会)、生け花展示(小原流)、盆栽展示(平井照夫)、パネル展示((公財)都市緑化機構、宮城県)
5/29(月)~6/4(日)	ちぎり絵展示(全国和紙ちぎり絵仙台サークル)、パネル・写真展示(オープンガーデンみやぎ)、フラワーオブジェ展示(花モリタ 森田嘉夫)、写真展示(湯田今日男)、生け花展示(岡田茂吉美術文化財団宮城支部)、パネル展示((一社)日本造園建設業協会、宮城県)
6/5(月)~10(土)	生け花展示(宮城県華道連盟)、盆栽展示(仙台小品盆栽会)、絵画展示(Atelier meme)、写真展示(小松原秀樹)、パネル展示(仙台市公園愛護協力会)
6/10(土)、11(日)	ジャイアントフラワーアート展示(PETAL Design)
6/12(月)~18(日)	ジャイアントフラワーアート展示(PETAL Design)、フラワーアレンジメント展示((公社)日本フラワーデザイナー協会宮城県支部、堀澤由美子)、チョークアート展示(チョークアートスタジオプリランテ)、絵画展示(みやぎ絵の会、早川道子)、花と異素材を合わせたアート展示(ambitious)、アーティフィシャルフラワー展示(花工咲処)、コケリウム展示(島々や)、写真・絵画等展示(パピルスアートカルチャー)、植物・パネル展示(東北復興宇宙ミッション2021実行委員会)、写真・パネル展示(宮城県花と緑普及促進協議会)、フラワーアレンジメント・パネル展示(いわて花と緑の普及協議会)、プラスチックリサイクル作品展示(佐久間浩)

●青葉山公園追廻地区：ワークショップ・講座、屋内イベント

実施日	イベント名(実施団体名)
4/29(水)	ハンギングバスケットづくり((一社)日本ハンギングバスケット協会宮城支部)、オリジナルスプーン・フォークづくり(南三陸森林管理協議会)
4/30(日)	公開講演会:天然記念物「青葉山」の自然と歴史(東北大学植物園)、茶会体験(表千家宮城県青年部)、葉っぱスタンプサコッシュづくり(南三陸森林管理協議会)
5/3(水)	プリザーブドフラワー・サンキャッチャーづくり(オープンガーデンみやぎ)、銅でつくる薔薇製作(㈱タゼン)、七夕和紙を使った御朱印帳づくり(布創作おが和)、プレートガーデンづくり(宮造協LG委員会)
5/4(木)	オリジナルアロマオイル・ミストづくり(アットアロマ㈱・宮城学院女子大学宮原ゼミ)、銅でつくる薔薇製作(㈱タゼン)、押し花を使った小物づくり(華房一輪)、箱庭制作(宮城県柴田農林高等学校造園専攻)
5/5(金)	ハンギングバスケットづくり((一社)日本ハンギングバスケット協会宮城支部)、茶会体験(城下町せんだい日本伝統文化未来プロジェクト)、銅でつくる薔薇製作(㈱タゼン)、七夕和紙を使った御朱印帳づくり(布創作おが和)
5/6(土)	山葡萄樹皮を使ったキーホルダー・ネックレスづくり(山葡萄工房 楽)、苔玉づくり(浦戸諸島「海と花の物語」)、樹木医による緑化相談((一社)みやぎ樹木医会)
5/7(日)	ミニ盆栽ワークショップ(仙台小品盆栽会)、フラワーボックスアレンジメント(Rustic Bouquet)、茶会体験(城下町せんだい日本伝統文化未来プロジェクト)、プレートガーデンづくり(宮造協LG委員会)、樹木医による緑化相談((一社)みやぎ樹木医会)
5/13(土)	押し花マグネットづくり(仙台花と緑の会)
5/14(日)	バラのフロスティンクフラワー教室(㈱ZUCI)
5/15(月)~21(日)	アトラクション型演武ショー「伊達ロマネスク」(仙台市観光課、白A(企画制作))
5/21(日)	プレートガーデンづくり(宮造協LG委員会)、ハンギングバスケットづくり((一社)日本ハンギングバスケット協会宮城支部)
5/22(月)	百年の杜担い手育成事業:仙台市野草園における探究学習発表会(宮城県仙台三枝高等学校)、花壇づくりの取組みに関する講演((一社)花降る街、仙台)
5/27(土)	ヨモギを使った草木染(結工房)、苔テラリウム・苔玉づくり(栗駒高原森林組合)、ウェルカムボードづくり(チョークアートスタジオプリランテ)、香りの薔薇講習会・薔薇スワッグづくり(仙台ばら会)、茶会体験(城下町せんだい日本伝統文化未来プロジェクト)、たまごの殻へのペイント(たまごの学校)、仙臺さすり給付け(民芸工房たかはし)、苔玉づくり(オーエンス泉岳自然ふれあい館)、一閑張りづくり(アトリエ 千日紅 ※中止)
5/28(日)	防災士・阿部清人氏による「緑化と防災・おもしろ科学実験」(㈱MCラボ)、香りの薔薇講習会・薔薇スワッグづくり(仙台ばら会)、茶会体験・ミニ畳×からくり丁番づくり(城下町せんだい日本伝統文化未来プロジェクト)、銅でつくる薔薇製作(㈱タゼン)、七夕和紙を使った小物づくり(はすのはねスクール)、七夕和紙を使った御朱印帳づくり(布創作おが和)、苔玉づくり(オーエンス泉岳自然ふれあい館)
6/3(土)	廃土のリサイクル、緑茶の淹れ方講座、リボベジ・コンポスト(仙台市環境局)、葉っぱキーホルダー・バスフィズづくり(社の工房の仲間達)、七夕和紙を使った御朱印帳づくり(布創作おが和)、ハンギングバスケットづくり((一社)日本ハンギングバスケット協会宮城支部)
6/4(日)	プリザーブドフラワー・サンキャッチャーづくり(オープンガーデンみやぎ)、プレートガーデンづくり(宮造協LG委員会)、葉っぱキーホルダー・バスフィズづくり(社の工房の仲間達)、七夕和紙を使った御朱印帳づくり(布創作おが和)
6/10(土)	丸を描いてお花を咲かせよう!!! (佐々木香葉子)、ハンギングバスケットづくり((一社)日本ハンギングバスケット協会宮城支部)、ポタニカルアート(Atelier meme)
6/11(日)	百年の杜づくりフォーラム:トークセッション「知って活かそう、日々の暮らしの緑の効果」・パネルディスカッション「市民協働による百年の杜づくりの進化・伝承に向けて」(仙台市百年の杜推進課)、ベジタブルフラワーブーケづくり(㈱Magenta)
6/17(土)	木工品づくり体験(栗駒高原森林組合)
6/18(日)	ハーブや花を使った雑貨づくり(Green heart)

●西公園南側地区・広瀬川地区：イベント、ワークショップ、展示

実施日	イベント名(実施団体名)
常設	フォレストアドベンチャー(㈱パシフィックネットワーク)、シゼンに“出会う”体験展示(にしひろパートナーズ)
4/29(水)	フォレピベンチ工作・竹スロープ(西公園プレーパークの会)、広瀬川せせらぎ水路モニタリング(カワラバン)、木工ワークショップ(宮城県木材同友会)
4/30(日)	みんなで作るカラフルアート・竹スロープ(西公園プレーパークの会)、生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)、木工ワークショップ(宮城県木材同友会)
5/3(水)	公園の遊び方クイズラリー((一社)日本公園施設業協会 東北支部)、宇宙ものづくりワークショップ(東北大学 FROM THE EARTH)
5/4(木)~5/5(金)	おやこフェス with 未来の社せんだい2023 ~ Feel green! ~((一社)SC.FIELD)、生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)
5/6(土)	ふれあい移動動物園(仙台 ECO 動物海洋専門学校)、広瀬川せせらぎ水路モニタリング(カワラバン)
5/7(日)	生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)
5/13(土)	あおぞら ari アート・ワクワク ari わたあめ・手づくりルームフレグランス(学生団体 ari)
5/14(日)	光るオーナメントづくり(西公園を遊ぼうプロジェクト)、あおぞら ari アート・ワクワク ari わたあめ・手づくりルームフレグランス(学生団体 ari)、生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)、ミズベフェスタ2023(ミズベフェスタ実行委員会)
5/20(土)~6/18(日)(土日のみ計10日間)	ツリークライミング®(㈱ツリークライミングワールド ※11日(日)は中止)
5/20(土)	ふれあい移動動物園(仙台 ECO 動物海洋専門学校)
5/21(日)	花摘みブーケづくり(西公園を遊ぼうプロジェクト)、生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)
5/26(金)~28(日)	未来の社せんだいナイトパーク(NAKED・仙台市天文台・天文ボランティアうちゅうせん・都市デザインワークス・仙台たき火ティール・office_e)
5/27(土)~6/18(日)(土日のみ計8日間)	エサやり体験(㈱乗馬クラブクレイン)
5/27(土)	WOOD STREET(都市デザインワークス)
5/27(日)	広瀬川せせらぎ水路モニタリング(カワラバン)
5/28(日)	生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)
6/3(土)	BMX 試乗会(㈱早坂サイクル商会)
6/4(日)	「やりたい!」を見つけてみよう・竹スロープ・松ぼっくり釣り(西公園プレーパークの会)、BMX 試乗会(㈱早坂サイクル商会)
6/10(土)	エサやり体験(㈱乗馬クラブクレイン)、広瀬川せせらぎ水路モニタリング(カワラバン)、電動アシスト自転車 試乗・体験! フェア(㈱早坂サイクル商会)
6/11(日)	生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)、電動アシスト自転車 試乗・体験! フェア(㈱早坂サイクル商会)
6/17(土)	ふれあい移動動物園(仙台 ECO 動物海洋専門学校)、広瀬川せせらぎ水路モニタリング(カワラバン ※中止)
6/18(日)	もりのさんぽ市((一社)SC.FIELD)、生き物観察 & 工作ワークショップ(カワラバン)

●西公園南側地区・広瀬川地区イベント



おやこフェス (ハイハイレース)

あおぞら ari アート

BMX 試乗会

●仙臺緑彩館交流体験ホール展示



フラワーオブジェ

ちぎり絵

生け花

3 まちなかエリア会場

(1) JOZENJI Feel green Fair ～花と緑の新しい楽しみ方を感じるウィーク～

5月3日(祝)～7日(日)の5日間、新緑のケヤキ並木が美しく輝く定禅寺通緑地において、仙台フェア序盤を飾るイベント「JOZENJI Feel green Fair」を開催した。コンテンツの一つ「巨大黒板アートプロジェクト」では、チョークアーティストが子どもたちと一緒に定禅寺通の四季の移り変わりを描くライブパフォーマンスを披露した。また、5月4日(祝)からの4日間は幅4.5m×高さ1.8mの巨大なボードに各日約200本の花を設置し、来場者が自由に持ち帰ることができるようにした。このほか、子どもの日にあわせて、こいのぼりの下絵に色を自由に塗ってもらう「アウトドアチョークアート」や、小さな黒板に花を描き持ち帰ることができる、母の日に向けたワークショップなども開催した。

(2) SENDAI COFFEE FES

6月10日(土)・11日(日)、定禅寺通緑地を会場に、コーヒーや焼き菓子、雑貨等を販売する人気イベント「SEDAI COFFEE FES」を開催した。このイベントは市内で例年開催されているが、仙台フェアにおける定禅寺通の賑わいづくりを図るため、当該イベントの主催者との連携のもと、通常開催に加えてフェア期間中の6月にも実施することとした。会場には市内のみならず全国から38店舗が出店。来場者はコーヒーの飲み比べチケットを購入し、多種多様なコーヒーを堪能することができた。

(3) まちなかエリアイベント開催支援制度

①概要

まちの賑わい創出および市民の都市緑化意識の高揚を図ることを目的として、仙台フェア期間中に市中心部の公園や街路で開催されるイベントについて、必要経費の一部を補助する「まちなかエリアイベント開催支援制度」を令和4年9月に新設し、イベントの主催者となるまちづくり団体等を支援した。なお、補助対象団体は公募により選定した。

(ア) 公募対象団体：

まちづくり協議会や商店街など、まちの賑わい創出を目的とする団体であって、仙台フェアのテーマや基本理念、基本方針に賛同し、フェア期間中に市中心部の公園や街路においてイベント等を実施する団体

(イ) 補助金額：1事業につき上限200万円(補助対象経費の10/10。概算払を可能とした)

(ウ) 公募スケジュール：

令和4年9月9日(金)	募集開始
令和4年11月7日(月)	募集締め切り
令和4年11月30日(水)	審査委員会開催、補助対象団体決定
令和4年12月9日(金)	補助金交付決定通知

(エ) 応募団体数・採択団体数：いずれも7団体

②準備状況

制度新設にあたり、関係部署やまちづくり協議会等へヒアリングを行い、応募条件や補助金額等を検討した。また、実行委員会より各団体に対し、公園や街路でイベントを実施するために必要な行政関連の許認可手続きについて、助言を行った。

③補助対象団体および補助対象事業

(ア) 本町商店街振興組合「本町フラワーフェスティバル」

実施日	4/28(金)～6/18(日)	会場	本町商店街周辺
交付決定額	2,000千円	来場者数	約5,200名
事業概要	ハンギングフラワーバスケットをワークショップで制作し、フェア期間中、商店街の街路灯に展示した。また、4/28(金)に開催したナイトマルシェでは、花緑で装飾された「本町スクエア」を会場として、飲食ブースの出店や音楽ステージ、映画上映会などを開催した。		

(イ) 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会「花とコーヒーとペット」

実施日	5/4(祝)～5/5(祝)	会場	肴町公園
交付決定額	1,984千円	来場者数	約2,000名
事業概要	コーヒーや洋菓子等のマルシェ、子どもたちによる花壇づくりやお花屋さん体験を行ったほか、ペットの障害物競走や撮影会など、公園の新たな活用方法を体験できるイベントを開催した。		

(ウ) 仙台駅東まちづくり協議会「仙台 榴岡公園 サンクスグリーンフェア」

実施日	5/13(土)～5/14(日)	会場	榴岡公園
交付決定額	2,000千円	来場者数	約2,000名
事業概要	音楽・ダンス等のステージイベント、飲食ブース出店、母の日にあわせたフラワーアレンジメントづくりや寄せ植えのワークショップ、花壇づくり体験、木々をテーマにしたクイズラリー等を実施した。		

(エ) 定禅寺通街づくり協議会「定禅寺通ナイトガーデン」

実施日	5/26(金)～6/18(日)	会場	定禅寺通緑地
交付決定額	2,000千円	来場者数	約13,500名
事業概要	ケヤキ並木やフェアの修景物を中心に会場をライトアップする「街灯り」を設置し、夜に散策しなくなる空間を演出した。また、5/27(土)・5/28(日)は、ガーデニング雑貨やドライフラワー等、花緑に関するマルシェを開催した。開催期間中には、近隣の店舗や同日開催のイベント会場等を周遊するスタンプラリーも実施した。		

(オ) 一般社団法人まちくる仙台「～青葉通り～花とアートで彩るストリート」

実施日	5/26(金)～5/27(土)	会場	サンモール一番町商店街
交付決定額	2,000千円	来場者数	約10,000名
事業概要	フロアリストマイスター齋藤子(いつき・あやこ)氏によるアート作品の展示や、来場者が思い思いに生けた花々を齋氏が仕上げたアート作品とする「花生けライブ」を実施。作品は夜間にライトアップし、フォトスポットとして多くの方の注目を集めた。また、多肉植物の寄せ植えや稲わらのオーナメントづくり等、八つのワークショップを開催した。		

(カ) 青葉通まちづくり協議会「青葉通『秘密の庭』」

実施日	6/3(土)～6/11(日)	会場	青葉通地下道および周辺
交付決定額	2,000千円	来場者数	約1,900名
事業概要	薄暗いイメージがある地下道を、花や緑で修景することで明るい雰囲気に変化させ、歩きたくなる空間の創出を図った。椅子やテーブル、本棚の配置に加え、音楽による演出を行うことで、通行者の滞在を促した。なお、修景で用いた花は地元の町内会に譲渡し、フェア閉幕後も活用された。		

(キ) Anego「華社 Avenue」

実施日	6/17(土)～6/18(日)	会場	定禅寺通緑地
交付決定額	1,460千円	来場者数	約3,000名
事業概要	花緑の衣装を身にまとったドラッグクイーンのパフォーマンスと撮影会を開催。また、フラワーアレンジメントや観葉植物でのジオラマづくり体験会、生花販売等を行ったほか、飲食ブースの出店などによりケヤキ並木の中で賑わいを創出した。		

都市公園制度制定150周年記念事業

4 未来の杜せんだい2023 シンポジウム「未来につなぐ新しい杜の都の姿」

杜の都の環境をつくる条例制定50周年、都市公園制度制定150周年を記念して、自然豊かな「杜の都・仙台」の魅力を再発見し、今日のみどりを守り育ててきた取り組みや、暮らしの中にみどりを取り入れる素晴らしさや大切さ、公園をはじめとした屋外空間での新たなライフスタイルなどを来場者に発信することを目的としたシンポジウムを開催した。

第一部では、自然環境に恵まれた「仙台」のまちの特色や、みどりとの共生のあり方について、仙台フェア基本構想懇談会および基本計画検討会の座長である東京都市大学特別教授・涌井史郎氏から講演いただいた。第二部のトークセッションでは、仙台ならではのみどりの空間の魅力や、これらを利活用したエリアの価値向上の取り組みなどについて登壇者のクロストークにより発信した。

日時	6月10日(土) 14時～16時30分		
場所	トークネットホール仙台(仙台市民会館)大ホール		
内容	第一部	基調講演「未来につなぐ新しい杜の都の姿」 講師 東京都市大学特別教授 涌井 史郎 氏	
	第二部	トークセッション「杜の都・仙台のみどりの恵みと魅力」 モデレーター 園芸デザイナー・タレント 三上 真史 氏 パネリスト シンガーソングライター さとう 宗幸 氏 NPO birth 事務局長 佐藤 留美 氏 肴町公園周辺エリアまちづくり協議会理事長 氏家 正裕 氏 コメンテーター 東京都市大学特別教授 涌井 史郎 氏	
	第三部	ガーデンツーリズム登録証交付式・登録団体による事例紹介	
参加人数	175名		



シンポジウムのチラシ



第6章 営業参加

1 基本的な考え方

- メイン会場の周辺には飲食店が少ないことから、来場者に安定的な飲食サービスを提供できるよう、会場内における飲食事業者の出店を促す。
- 地元人気飲食店の出店や、東北の地場産品を活用した飲食メニューの提供などを通じて、主に県外からの来場者に対して仙台・東北の魅力を発信する。
- 「全国都市緑化フェア」というイベントの特性を踏まえ、植木や生花等を販売するほか、エディブルフラワー（食べられる花）を活用した飲食メニュー等を提供する。
- 宮城県内の自治体や仙台市との関わりが深い自治体等による観光物産ブースを出展することにより、来場者に対する各地の魅力を訴求と送客の実現を図る。
- 仙台フェアの開催を地域経済活性化につなげるため、地元事業者の積極的な参画を促す。

2 出店形態等に関する方針

(1) 飲食ブース

機動的な対応が可能なキッチンカーによる出店を基軸として、ゴールデンウィーク期間中等の多客日においては仮設テントによるブース出店を充実させることとした。また、来場者に対して平日も含め安定的に飲食を提供することを目的として、フェア期間中54日間を通して営業する常設のキッチンコンテナを設置することとした。

出店エリアは、青葉山公園追廻地区においては休憩用の大型テントやカウンターなどを設置する杜のリビングガーデンゾーンおよびアーバンフォレスト、西公園南側地区においては利用者の滞在スペースを確保でき、かつ平坦なグリーンアクティビティゾーンとした。また、まちなかエリア会場においては一定の歩行者の通行量が期待できる定禅寺通・晩翠通交差点とした。

(2) 花緑・雑貨販売ブース

鉢植えなど、大きな商材も陳列できる販売スペースを確保できる仮設テントによる出店とすることとした。また、フェア期間中54日間を通して営業する花緑店舗用に10m×10m程度のエリアを設定し、修景物等を自由に配置できる販売スペースとして貸し出した。

出店エリアは、花緑関連商品の購入意欲が高い来場者層の滞が見込まれる青葉山公園追廻地区杜のリビングガーデンゾーンおよびアーバンフォレストとした。

(3) 自治体 PR ブース・協賛ブース

飲食提供から地場産品の販売、観光 PR、商品やサービスのプロモーションなど、幅広い用途に使用できる仮設テントによる出店とすることとした。

出店エリアは、集客イベントの会場として多くの来場者の滞が見込まれる青葉山公園追廻地区芝生のイベント広場とした。

- 春の植木市（主催：仙台市・杜の都づくり植木市協賛会）
「豊かな緑を未来へ～新たな杜の都の創生～」をテーマに、杜の都の春の風物詩となっている「春の植木市」を開催。フェア期間中通期で植木や草花などの販売を行ったほか、各種園芸講習会や緑の相談会などを行った。
なお、同協賛会員のうち9社が企業・団体等庭園出展にも参加した。（P131「3(1)庭園出展コンテスト」を参照）

【実施場所】青葉山公園追廻地区アーバンフォレスト 仮設テント

【実施内容】展示販売（通期）：庭園樹、苗木、草花、種子、球根、山野草、植木鉢、盆栽、観葉植物、鉢花等の販売
園芸講習会等（計7回）：「苔の栽培と楽しみ方」、「気軽に親子で草花を楽しもう!」、「庭木の剪定実演講習会」
「土づくりと肥料の使い方」、「野点を楽しむ」(2回)、「チャリティーオークション」
緑の相談会（計27回）：「みどりのなんでも相談会」（実施団体：杜の都づくり植木市協賛会）
「緑の移動相談」（実施団体：(公財)仙台市公園緑地協会）

3 出店・出展数の設定

(1) 飲食ブース

来場者への飲食提供が不足しないよう、仙台フェアと開催日数の近い先催フェアを参考に、最低限必要な1日当たり平均営業店舗数を「6.3店舗」と仮定し、全体の飲食店舗数を計画した。

結果、平日に出店したキッチンカー事業者が想定よりも多かったこともあり、メイン会場の1日当たり平均営業店舗数は「7.4店舗」と十分な店舗数を確保できた。

開催地	開催日数	1日当たり平均来場者数(A) ^{※1}	1日当たり平均営業店舗数(B) ^{※1}	1店舗当たり来場者数(A)/(B)
仙台(計画)	54日	約11,000人	6.3店舗	1,746人
仙台(結果)	54日	11,303人	7.4店舗 ^{※2}	1,527人
山口	52日	26,316人	7.6店舗	3,462人
信州	53日	9,288人	5.4店舗	1,720人

※1 メイン会場の来場者数および営業店舗数を元に算出

※2 まちなかエリア会場の店舗数を除く

(2) 花緑・雑貨販売ブース、自治体 PR ブース、協賛ブース

先催フェアの事例等を踏まえ、花緑・雑貨販売は2～4ブース、自治体 PR は最大5ブース、協賛は最大3ブースとすることとした。

4 出店事業者・出展自治体等の募集

(1) 公募

飲食・物販事業者について、先催フェアを参考に、開幕の約半年前となる令和4年9月9日(金)～10月31日(月)の間に実施。飲食のうちキッチンカー事業者の申込状況が芳しくなく、令和5年1月10日(火)～2月28日(火)の間にキッチンカー事業者に限定して追加公募を実施した。

公募の結果、一部空き枠が生じたものの、事業者への勧奨を実施し、予定した出店者数を充足した。

キッチンカー事業者の確保に苦慮した要因は、仙台フェアの広報宣伝が本格化する前に公募を開始したこと、フェアの開催期間が行楽シーズンや市内大型イベントの開催時期と重なり、事業者にとって出店場所の選択肢が多様だったためと思料される。

(2) 出店・出展勧奨

①仮設テント(飲食)

市内の人気飲食店に出店勧奨したほか、東北の6次産業化に取り組む「一般社団法人東北食の力プロジェクト」の関連事業者や「全国餃子まつり in 仙台実行委員会」の出店者の参加により、仙台・宮城の魅力あふれる「食」を提供した。

②キッチンコンテナ・花緑販売スペース(常設店舗)

出店条件をフェア期間中通期と設定したため、出店可能な事業者が限定されると考え、事前に関係団体等へのヒアリングを実施し、出店可能性が高いと思われる事業者に対して個別に出店勧奨を行った。

③自治体

宮城県内の全自治体、仙台市の国内姉妹都市や観光施策において連携する自治体等を対象として、令和4年5月に出席意向調査を実施した。

この結果をもとに、出席意向有または未定の自治体をピックアップし、令和4年8月から出席条件や日程の調整等のため個別に協議を重ね、令和5年1月に出席スケジュールの仮決定を行った。

④協賛社等

シルバースポンサー(P126参照)以上の協賛社等を対象に、令和5年3月から出席勧奨を行った。

第7章 東部エリア会場

5 出店・出展実績

(1) 飲食ブース

①キッチンコンテナ

地元の飲食事業者である株式会社クロールアップが「フードスタンドセンダイ」をフェア期間中通期で出店し、来場者への飲食提供の中心を担った。提供メニューは、エディブルフラワーをトッピングしたジェラートのほか、おにぎり・団子・カツサンド・カレー・唐揚げなど地場産品を使用した軽食を中心に、様々な年齢層の方が楽しめる仙台フェアならではの内容とした。

②仮設テント

3日間または1週間ごとに計17の飲食事業者が入れ替わりで出店し、牛タン、蒸し牡蠣、クラフトビール、日本酒などを提供した。

③キッチンカー

5日間または1週間ごとに計53のキッチンカー事業者が入れ替わりで出店し、バラエティ豊かなメニューを提供した。また、エリアや出店日によって複数の出店区分を設け、特に平日の出店を必須とする区分を設定することで平日の飲食店舗数を確保した。



フードスタンドセンダイ
メニューボード

ジャンル	出店形態	エリア	店舗数			1日当たり 平均店舗数	出店 事業者数	延べ営業店舗数 (店舗数×日)
			平日*1	土日	GW*2			
飲食	キッチンコンテナ	青葉山公園追廻地区	1	1	1	1.0	1	53
飲食	仮設テント	青葉山公園追廻地区	0~1	1	6	1.3	17	72
飲食	キッチンカー	青葉山公園追廻地区	1~5	5~7	2~4	3.9	26	210
飲食	キッチンカー	西公園南側地区	0~1	2~4	1~3	1.2	22	64
飲食	キッチンカー	まちなかエリア会場	0~2	0~1	1~2	0.6	5	31
飲食計			2~10	9~14	11~16	8.0	71	430

*1 5月24日(水)は令和5年度全国都市緑化祭開催日により飲食店全店舗営業なし

*2 GWは4月29日(祝)~5月7日(日)までの9日間

(2) 花緑・雑貨販売ブース

花緑販売ブースについて、杜のリビングガーデンゾーンの販売スペースでは地元造園業者2社がフェア期間中通期で出店し、鉢植えや花苗等を販売した。また、アーバンフォレストの仮設テントでは4事業者が出店した。

雑貨販売ブースは7事業者が出店し、手づくりの雑貨やインテリア商品などを販売した。

ジャンル	出店形態	エリア	店舗数			1日当たり 平均店舗数	出店 事業者数	延べ営業店舗数 (店舗数×日)
			平日*1	土日	GW*2			
物販(花緑)	販売スペース	青葉山公園追廻地区	1~2	2	2	1.9	2	101
物販(花緑)	仮設テント	青葉山公園追廻地区	0~1	1	1	0.7	4	38
物販(雑貨)	仮設テント	青葉山公園追廻地区	0~1	1	1	0.9	7	49
物販(花緑・雑貨)計			1~4	4	4	3.5	13	188

*1 5月24日(水)は令和5年度全国都市緑化祭開催日により物販(花緑)仮設テントのみ営業

*2 GWは4月29日(祝)~5月7日(日)までの9日間

(3) 自治体PRブース・協賛ブース

土日祝日を中心に、自治体PRブース計35・協賛ブース計9の出展者がPRや物販等を行った。

- 自治体PRブース出展者(五十音順)
秋田市、石巻市、一関市、宇和島市、恵庭市、大河原町、大崎市、大郷町、女川町、加美町、川崎市、熊本市、栗原市、気仙沼市、(公財)国際花と緑の博覧会記念協会、さいたま市、蔵王町、塩竈市、色麻町、柴田町、白石市、大和町、登米市、新潟県、新潟市、東松島市、平泉町、福島市、松島町、丸森町、美里町、南三陸町、宮城県、利府町、涌谷町
- 協賛ブース出展者(五十音順)
(株)安藤・間、イオングループ(イオン東北・イオンモール)、(株)NTTドコモ 東北支社、(株)河北新報社、仙台CATV(株)、日本生命 保険相互会社、(株)早坂サイクル商会、宮城交通(株)、(株)ミヤコーバス、(株)ユーメディア

1 概要

- 東部エリア会場は、東日本大震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業展開を図るエリアとして位置づけ、多彩なイベント等を実施した。
- 全庁的な取組みとして、宮城野区では高砂中央公園から沿岸部への周遊促進を目的としたシェアサイクル事業等を実施したほか、若林区ではボートに乗って自然豊かな貞山運河を巡るイベントが実施されるなど、東部エリアの賑わい創出に向けた事業が展開された。

2 具体的な事業内容

(1) せんだい農業園芸センター みどりの杜

施設の運営事業者である「日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体」および「仙台ターミナルビル株式会社」と協働事業の実施に係る連携協定を令和4年10月18日(火)に締結した。

フェア期間中においては、連携協定に基づき「農業とみどりによる沿岸部の再生、自然と調和した新たな生活の実現を目指して!」をテーマに花みどりや震災復興等に関するイベントなどを実施した。



連携協定締結式

●イベント内容

実施日・実施期間	イベント名	内容
通期	せんだいいわらアート展示	大学生ボランティア団体「(一社)ReRoots」が、わらで制作したアート作品の展示
	デイリーワークショップ	押し花をデザインにしたオリジナル缶バッジづくりや、ドライフラワーを瓶に詰めて制作するマイリウムづくり等のワークショップを実施
4/26(水)~4/30(日)	チューリップフェア	人気品種の楊貴妃やマンゴーチャームなど、26種類・約2万球のチューリップが楽しめるイベント
4/26(水)~5/20(土)	パネル展示	「震災復興のあゆみ」をテーマにしたパネルの展示
4/26(水)~6/11(日)	トマト狩り体験	園内のビニールハウスで育ったトマトの摘み取り体験
4/29(祝)	仙台海手スプリングフェスティバル	鉢花や観葉植物販売等のブース出店、ステージイベント等を実施
5/3(祝)~5/7(日)	フラワー&ピクニックフェス	花に囲まれた園内において、手軽にピクニックができるイベント
5/6(土)	特別講演会 「もう一つの森の花~きのこは森の妖精~」	宮城大学事業構想学群 教授 小沢晴司氏による菌種の特異な成育過程等に関する講演会
5/20(土)	特別講演会 「仙台白菜と地域連携」	仙台大学附属明成高等学校 食文化創志科 学科長 高橋信社氏による伝統野菜「仙台白菜」の歴史と「育種」に関する講演会
5/20(土)~6/11(日)	バラ祭り2023	約200種・1200株以上のバラが楽しめるイベント。期間中は野菜や花き販売などの出店も実施
5/21(日)	特別講演会 「農のある暮らし」	東京農業大学 名誉教授 進士五十八氏による「農」の多目的価値と人々の「暮らし」とのかかわり等に関する講演会
5/25(水)~5/28(日)	おはようバラさんぽ	園内アーリーオープンにより、バラが最も香りを放つ早朝にバラ園を楽しむイベント
5/25(水)~6/18(日)	パネル展示	「よみがえる自然環境」をテーマにしたパネル展
6/10(土)	夏の生き物観察会	水辺の生き物や野鳥の姿を観察し、生物多様性に関する理解を深めるイベント
6/17(土)	田植え体験会	手軽に田植え体験ができるイベント
6/17(土)~6/18(日)	ハーブフェス2023	ハーブ苗の販売や花束づくりなど、ハーブを楽しむイベント



トマト狩り体験



田植え体験会

(2) せんだい3.11メモリアル交流館

東日本大震災で大きな被害を受けた仙台市東部沿岸地域のみどりの再生をテーマとした企画展やイベントを実施した。

●イベント内容

実施日・実施期間	イベント名	内容	参加者数
3/25(土)～7/17(木)	企画展「ここに根をはる一津波のあとの植物たちとその環境」	津波浸水域に芽生えた植物を描く倉科光子氏の水彩画「tsunami plants」と東北学院大学 教授 平吹喜彦氏の監修による仙台市東部沿岸地域の植生の再生に関する展示	期間中来場者数 11,837名
5/27(土)	倉科さんと行く、荒浜と新浜のバスツアー	水彩画の題材地を作者である倉科光子氏とともに散策	18名

(3) 震災遺構仙台市立荒浜小学校

令和5年1月に展示等のリニューアルを行った同施設では、校舎屋上から市民協働で再生に取り組む海岸防災林を一望できるスポットとして、東日本大震災からのみどりの復旧・復興のあゆみを発信した。また、フェア期間中は「仙台市東部エリアの復興と賑わいに触れる旅」での立ち寄り先とした。

(4) 海岸公園(センターハウス、冒険広場、馬術場)

東日本大震災により甚大な被害を受けた後、復興のシンボルとして整備された海岸公園と連携し、地域の特性を活かした自然観察イベントや震災からの復旧・復興に関するパネル展示を実施した。

●イベント内容

(ア) 海岸公園センターハウス

施設の指定管理者である「公益財団法人仙台市公園緑地協会」と協働事業の実施に係る連携協定を令和5年3月31日(金)に締結した。

実施日・実施期間	イベント名	内容	参加者数
4/30(日) 5/21(日) 6/4(日)	初夏の荒浜を歩こう	深沼海岸の自然や海岸林の復興状況について学ぶガイドツアー	8名 9名 8名
6/17(土)	夜のスナガニ観察会	深沼海岸にて夜行性のスナガニの観察	16名
4/26(水)～ 6/18(日)	3.11震災の記憶と記録展「荒浜のいまむかし」	地元写真家が撮影した震災前後の写真で、震災の記憶や復興の記録を辿るパネル展	期間中来場者数 2,879名

(イ) 海岸公園冒険広場

施設の指定管理者である「冒険あそび場せんだいみやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体」と協働事業の実施に係る連携協定を令和5年3月24日(金)に締結した。

実施日	イベント名	内容	参加者数
フェア期間中 土日祝日	藍の種配布	津波を生き延びた井土地区の藍の種の配布	約400名
5/14(日)	藍の苗植えつけ	津波を生き延びた井土地区の藍の苗の植付け体験	5名
5/20(土) 6/17(土)	UMAをさがせ!	生物の専門家と一緒に冒険広場周辺の生き物を探索	2名 27名

(ウ) 海岸公園馬術場

施設の指定管理者である「株式会社乗馬クラブクレイン」と協働事業の実施に係る連携協定を令和5年3月31日(金)に締結した。

実施期間	イベント名	内容	参加者数
4/26(水)～ 6/18(日)	曳き馬体験	馬に乗って多目的広場を1周	285名
	エサやり体験	馬とふれあいながらエサやり体験	1,505名

(5) 高砂中央公園

仙台商みの杜水族館の設置事業者である「仙台商水族館開発株式会社」と協働事業の実施に係る連携協定を令和4年11月15日(火)に締結した。

令和5年4月1日(土)より一部供用開始となった高砂中央公園を「うみともりセントラルパーク」と呼称し、仙台商エリアの新たな共生を生み出す公園として「海・人・杜がつながる、新しい中心」をコンセプトに、家族で楽しみ学べる場として、以下の三つの方針のもとイベントを実施した。



連携協定締結式

方針	内容
教育・体験プログラムの提供	・「命・自然の大切さ」を発信する体験プログラムの実施 ・仙台商みの杜水族館と連携したイベントの実施
高砂中央公園の特徴の活用	・みどりをライフスタイルに取り入れたコンテンツの提案 ・公園での多様な過ごし方の提案
SDGsの体现	・環境に配慮した設営や会場運営の実施 ・協賛企業等による持続可能な取組みに関する情報発信 ・食育・地産地消の発信

このほか、若者が新たな屋外空間の利活用のあり方について積極的に考える機会を創出することを目的として、東北学院大学の講義「地域の課題」の中で、フェア期間中に高砂中央公園で開催したいイベント企画を学生から募り、優れた企画については仙台商フェアにおけるイベントとして実際に開催した。

●イベント内容

会場を四つのエリアに区分けし、様々なイベントを実施した。

エリア	内容
アウトドアエリア	アウトドアテント(自由利用)、カラフルスイッチ(音と光で遊ぶキューブボックス)、パルクール、花みどり・木工・お絵描き等ワークショップ、絵本読み聞かせ、芝生道場、大道芸、カーブーツ(車のトランクを使ったパズル)、リアル蒸気機関車 マティさんのミニSL、アフリカの杜(物販・ワークショップ等)、街中キャンプ(学生による企画)、水族館の裏側をのぞいてみよう!(学生による企画)
スポーツアクティビティエリア	アクティビティ用具の貸出(mopps、ディスクゴルフ等)、めざせ!しのびポケモン ゲッコウガ! 走り方教室、89ERS チアーズとチアダンス体験&89ERS チアーズステージパフォーマンス、親子サッカー教室、クリケット体験、カラダうごかすフェス-みんなで運動会-、少林寺拳法体験教室、リガーレ仙台バレーボール教室、パークヨガ、楽天イーグルスアカデミー野球体験教室、ラグビー教室&スペシャルトークショー、ラクロス体験会、フライングディスク体験会、障害者スポーツ体験会、ペガルト仙台サッカー教室、オリンピックと楽しむスポフェス
グリーンマルシェエリア	そもそも市(地産地消型マルシェ)
協賛ブース・フードトラックエリア	フードトラック出店、タッチプール(仙台商みの杜水族館の生き物との触れ合いプール)、交通安全はたらくるまで集合!(パトカー、消防車等の展示)、EV車両展示
その他	仙台商エリアの復興のあゆみパネル展(管理棟)、うみともりなぞときたんけん(会場全体)、植樹(協賛企業)、牛乳パック回収・備蓄ロール啓発イベント、八重ひまわりの苗配布、仙台商みの杜水族館連携イベント「Colorful Life」(生き物たちの睡眠をテーマにした企画展)

開催期間: 4月29日(祝)～6月18日(日)までの土日祝日および5月1日(月)、5月2日(火)の計21日間



ミニSL



フードトラック



パネル展



第8章 連携会場

1 概要

仙台フェアの開催意義や基本理念に賛同いただいた自然や生き物に関連する施設を「連携会場」として位置づけ、各会場内に仙台フェアの看板・のぼり等の統一した広報ツールやプランターを設置し、開催機運の醸成を図ったほか、フェア期間中において、一体的にイベントを開催した。

●連携会場のフェア期間中來場者数

名称	フェア期間中來場者数
東北大学 学術資源研究公開センター 植物園	1,595 人
七北田公園	12,974 人
仙台市野草園	7,536 人
八木山動物公園フジサキの杜	99,093 人

※七北田公園の來場者数は「'89グリーンフェアせんだい回顧展」のみ集計

※仙台フェアの來場者数 (P156 参照) は連携会場の來場者数を含まない

2 具体的な事業内容

(1) 東北大学 学術資源研究公開センター 植物園

1958年に東北大学が研究・教育のために設立した自然植物園で、仙台城跡背後の御裏林(青葉山)と呼ばれる丘陵地は自然植生であるモミの美林が残されており、自然豊かな地域となっている。

メイン会場からほど近いことに加え、天然記念物に指定されている青葉山の動植物について学ぶことができる施設である。

フェア期間中は青葉山をテーマとした公開講演会やウォーキングツアーなど、同施設ならではのイベントを開催した。



東北大学植物園本館

●フェア関連イベント

実施日	イベント名	会場
4/30(日)	公開講演会 天然記念物「青葉山」の自然と歴史	仙臺緑彩館内交流体験ホール
5/4(祝)	ウォーキングツアー 天然記念物「青葉山」の新緑を楽しむ	東北大学 学術資源研究公開センター 植物園

(2) 七北田公園

仙台市泉区の七北田川沿いに整備された、多くの市民が憩う自然豊かな総合公園で、平成元年に開催された「第7回全国都市緑化せんだいフェア '89グリーンフェアせんだい」では、主会場として約138万人の來場者を集めた。

仙台フェアにおいては、仙台市立七北田小学校の児童と緑の活動団体「仙台花と緑の会」がスケートリンクをイメージしてネモフィラを播種した「アイスガーデン」や、仙台市立市名坂小学校の児童がペチュニアを植栽した「杜のウォールガーデン」など、市民協働による会場づくりを行った。



杜のウォールガーデン制作

●フェア関連イベント

実施期間	イベント名
4月中旬～5月下旬(花の見頃)	アイスガーデンプロジェクト
4/8(土)～6/18(日)	'89グリーンフェアせんだい回顧展
4/27(木)～6/18(日)	杜のウォールガーデンプロジェクト

(3) 仙台市野草園

仙台市太白区の大年寺山公園内に位置する植物園で、植物知識の普及やレクリエーションの場の提供などを目的として整備された。東北地方の代表的な野生植物を植栽展示している。

フェア期間中は、野草園の歴史を振り返る写真や収蔵物の展示、宮城県ゆかりの植物の紹介など特色ある展示やイベントを開催した。



野草園の歴史展～70年のキセキ～

●フェア関連イベント

実施日・実施期間	イベント名
4/23(日)～5/7(日)	さくらそう展
4/26(水)～6/25(日)	野草園の歴史展～70年のキセキ～
4/28(金)～5/31(水)	「草花賛歌」仙台植物画の会展示会
4/29(祝)	講習会「さくらそうの育て方」
4/30(日)	大年寺山公園バードウォッチング
5/1(月)～5/14(日)	仙台冠植物園展
5/5(祝)	野草園こどもの日
6/3(土)～6/11(日)	仙台さつき同好会花季展示会
6/17(土)	野草みちくさ喫茶～身近にある野草をお茶で楽しむ～
4/29(祝)、5/6(土)、5/13(土)、5/20(土)、5/27(土)、6/3(土)、6/10(土)、6/17(土)	土曜日の園内ガイド

(4) 八木山動物公園フジサキの杜

1965年に開園した東北最大級の動物園で、117種約580頭以上の動物を飼育展示する。

フェア期間中は普段体験することのできない企画を園内各所で開催したほか、SDGs パネルを展示し自然環境の保全等の意識啓発にも取り組んだ。

●フェア関連イベント

実施日	イベント名
5/3(祝)～5/5(祝)	GW 特別イベント
4/29(祝)、5/6(土)、5/13(土)、5/20(土)、5/27(土)、6/10(土)、6/17(土)	飼育員による動物のおはなし
5/14(日)、5/21(日)	ラクダのクールビズ
5/28(日)	「カメの日」イベント
6/3(土)	ドリームナイト・アット・ザ・ズー
6/18(日)	オウムインコデー



SDGs 展示



飼育員による動物のおはなし



第9章 協賛

1 基本的な考え方

仙台フェアでは、企業・団体・市民などに幅広く参画いただくことを目的として、多様な協賛メニューや協賛特典等を設定することとした。

2 企業等協賛

様々な業種・規模の企業等に協力いただくため、資金協賛をはじめとした五つの一般協賛メニューを設定するとともに、仙台フェアならではの取組みとして、フェア会場を企業・団体等の実証実験等の場として活用いただく「新事業協賛」を設定した。また、金額に応じた七つの協賛ランクを設定し、様々な協賛特典を提供した。

●協賛メニュー

協賛メニュー	内容
資金協賛	フェアの開催意義にご賛同いただき、協賛金をご提供いただくもの
物品・資材・施設等協賛	フェアの運営に必要な物品、資材、施設および設備等をご提供または無償貸与いただくもの
広報宣伝協賛	企業等が所有する広報媒体や広告物掲示場所等をご提供いただくもの
催事協賛	フェアの集客に寄与する催事や修景物・造作物等をご提供いただくもの
役務協賛	会場設営や運営等の一部における役務をご提供いただくもの
新事業協賛	一般協賛に加えて50万円を協賛いただく対価として、フェア会場を協賛社等が取扱う商品やサービスに関する実証実験等の場として活用いただくもの。

●協賛ランク・特典

協賛ランク名称	ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー	ブロンズ	パートナー	サポーター
協賛金額(税別)	1,000万円以上	500万円以上	300万円以上	100万円以上	50万円以上	10万円以上	1口3万円
会場内エリアへの提供社名表示	○	○	—	—	—	—	—
イベントステージへの社名掲出	○ ロゴ大	○ ロゴ中	○ ロゴ小	—	—	—	—
協賛社一覧ボードへの社名掲出	○ ロゴ特大	○ ロゴ大	○ ロゴ中	○ ロゴ小	統一テキスト	統一テキスト	—
ガイドブックへの広告掲載	○ 枠大	○ 枠中	○ 枠小	—	—	—	—
ガイドブックへの社名掲載	○ ロゴ大	○ ロゴ中	○ ロゴ小	統一テキスト	統一テキスト	—	—
チラシ・ポスターへの社名掲載	○ ロゴ大	○ ロゴ中	○ ロゴ小	—	—	—	—
仙台フェア公式HPへの社名掲載	○ リンクバナー特大	○ リンクバナー大	○ リンクバナー中	○ リンクバナー小	統一テキスト	統一テキスト	統一テキスト
仙台フェア公式記録誌への社名掲載	○ ロゴ大	○ ロゴ中	○ ロゴ小	統一テキスト	統一テキスト	統一テキスト	統一テキスト
仙台フェア公式記録誌の贈呈	○	○	○	○	○	○	○
イベントステージへの出演権利	○	○	○	—	—	—	—
出展(店)ブースの提供	○	○	○	○	—	—	—
スポンサー呼称権	○	○	○	○	○	○	○
マスコットキャラクター使用権	○	○	○	○	—	—	—
開・閉会式への招待	○	○	○	○	—	—	—

※物品・資材・施設等協賛、広報宣伝協賛、催事協賛、役務協賛(以下「現物協賛」)については、協賛社等からの情報提供(カタログ・仕様書・見積書・提案書等)に基づき、実行委員会において金額換算し、その上限を300万円とした

※現物協賛の金額換算と資金協賛の協賛額を合算し、協賛ランクを決定した

(1) 準備状況

協賛ランクや特典等について、先催フェアの事例を参考に令和4年4月頃より検討に着手した。また、「会場内エリアへの提供社名表示」や1口3万円の小口協賛ランク「サポーター」の設定など、仙台フェア独自の協賛特典等を造成した。「会場内エリアへの提供社名表示」は、フェアの見どころであるウェルカムガーデンや大花壇「はなばた飾り」等に社名を表示でき、会場案内マップにも掲載されたため、協賛社等より大変好評であった。

(2) 実績等

フェア開幕約8カ月前となる令和4年8月初旬より協賛獲得活動を開始。以降、令和5年2月頃までに200社を超える企業等にアプローチした結果、79の企業・団体から協賛をいただくことができた。

3 公式グッズ協賛

マスコットキャラクターフォレッピーやロゴマークを使用した「仙台フェア公式グッズ」の製造・販売を独占的に行っていただく代わりに、製造・販売にかかる一切の経費を負担いただく「公式グッズ協賛」の枠組みを設定。協賛社には、一般協賛におけるゴールドスポンサーと同等の協賛特典を提供した。

(1) 準備状況

公式グッズの製造・販売にあたっては、マンパワーやノウハウといった面から実行委員会が主体となっていくことは困難であると考え、流通や商取引に精通する民間企業に協力いただくための手法を検討した結果、「公式グッズ協賛」という枠組みを設けることとした。

類似商品の乱立防止やフェア会場内での販売方法等の観点から、製造から販売まで一体的に対応できる企業に協力いただくこととし、地元小売業者である株式会社藤崎に「公式グッズスポンサー」として製造・販売を打診した。

協賛決定後は、公式グッズ協賛にかかる覚書を締結し、グッズの種類や数量、販売場所等について協議を重ねた。



仙台緑彩館 緑彩ショップ

(2) 実績等

公式グッズとして以下の品目を製造し、主に青葉山公園追廻地区芝生のイベント広場内公式グッズブースや仙臺緑彩館内で販売。フェア最終日にはフォレッピーのぬいぐるみキーホルダーやアクリルスタンドキーホルダーなどが完売した。

●販売品目

雑貨	エコバッグ(2種)、タンブラー、ぬいぐるみキーホルダー、アクリルスタンドキーホルダー、ハーフタオルハンカチ(5種)、巾着、マスクingtテープ(2種)、アクリルキーホルダー(5種)、ロゴ入りストラップ(10種)
食品	笹かまぼこ、焼印どら焼き、銘菓、プリントクッキー、コーヒー、ばらドロップ缶、チョコクランチ

4 市民協賛(クラウドファンディング)

市民が主役となるフェアを目指し、市民協働による会場づくりを進めてきた「未来の杜さんだい2023」の開催の記憶を後世に伝え、新たな「百年の杜づくり」を次世代へとつなげていくシンボルとして、マスコットキャラクターフォレッピーの像を製作することとし、その経費をクラウドファンディングにより募った。

(1) 準備状況

プロジェクトの目標金額を250万円とし、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」によりALL-IN方式*にて募集を行った。支援金額ごとに1千円、5千円、1万円、2万円、3万円のコースを設け、クラウドファンディング限定の「シークレットフォレッピーグッズ」や仙台市の地場産品などを返礼品とすることとした。また、3万円コースにはフォレッピー像の台座に設置する銘板への支援者名の記載を特典として設定した。

*目標金額を達成せずに終了した場合でも集まった分だけ支援金を受け取り、プロジェクトを完遂する方式

(2) 実績等

令和5年4月24日(月)～5月21日(日)の募集期間中に、延べ109名の方より152万円のご支援をいただいた。目標金額には到達しなかったものの、募集期間後半には徐々に支援者数も増え、最終的には20～60代の幅広い年齢層から支援をいただくことができた。

フォレッピー像は5月28日(日)に大花壇「はなばた飾り」隣に設置され、新たなフォトスポットとして賑わいを見せた。また、関係機関との協議を経て、フェアの閉幕後も継続的に仙臺緑彩館に設置することとした。



第10章 庭園出展等

1 基本的な考え方

- 企業、団体、学校、自治体などに幅広く出展・参加を呼びかけ、花やみどりに関する成果を表現する機会とともに、作品を通して日常生活や余暇にみどりを積極的に取り入れてきた「杜の都・仙台」から暮らしを豊かにする花やみどりの魅力を発信する。
- 出展作品の顕彰や活動紹介、緑化技術等の情報発信を通して、造園や園芸等の技術の向上や継承を図るとともに、来場者の花やみどりへの関心を高め、担い手の育成はもとより次世代へと続く「百年の杜づくり」へとつなげる。

2 庭園出展等

(1) 企業・団体等庭園出展「せんだい Feel Garden」

「Feel green, Feel flower, Feel future ～みどりと花の生命力を感じて、未来へとつなぐ庭のチカラを感じて～」をテーマに、以下の三つのタイプにより、造園関係の企業や団体等が計49の庭園作品を出展した。杜の都・仙台ならではの「みどりと親しむライフスタイル」をイメージした見ごたえのある作品が勢ぞろいし、伝統的な匠の技や多彩なアイデアが光る庭園が来場者の目を楽しませた。また、出展者による作品説明や庭の相談会、茶会を実施したほか、作品の中に子どもが入って遊べるようなしつけを設えた。

出展タイプ	作品イメージ	規模(形状)・作品数
庭園・ガーデンタイプ	商業スペースや事業所などにふさわしい鑑賞型の庭園やガーデン	30㎡(6m×5m)・31作品 20㎡(5m×4m)・10作品
小規模空間タイプ	戸建て住宅や、まちなかの小空間などの花やみどりの提案型の庭園やガーデン	12㎡(4m×3m)・6作品
ベランダタイプ	ビルやマンションのベランダでの花やみどりのあり方を提案するガーデンや緑化空間	6㎡(3m×2m)・2作品

※出展作品名および出展者については、P132「④出展作品一覧および審査結果」を参照

(2) 自治体花壇出展「Trip Garden」

「Trip Garden ～日本の花風景を巡るフォトジェニックガーデン～」をテーマに、来場者が作品の中に入り込み、全国各地の花やみどりの美しさ、素晴らしさを感じながら日本の花風景を小旅行している気分を巡る出展を実施。令和3年12月より各都道府県や政令指定都市等に参加を呼びかけ、自主施工方式により3自治体等、負担金方式により18自治体(16区画)が出展した。負担金方式の出展花壇では、各自治体が考案したデザインをもとに、それぞれの自治体の特徴づけるミニチュアオブジェの設置などにより、各地の観光名所等を再現した花壇を制作するとともに、駅名板を模したPRサインやプラットホームを模したベンチの設置、各花壇を線路でつなぐ演出を行った。

出展方式	作品タイトル	出展者名
自主施工	Peace spirit is poured out from Yokohama	横浜市・(公社)2027年国際園芸博覧会協会
	笑顔の先にあるしばたの風景	宮城県柴田町
	花に「おもい」を込めて	国営みちのく杜の湖畔公園
負担金	美しいまちで暮らそう。	北海道・恵庭市
	さわやか～エルムの森のキャンパス	札幌市
	祭りで咲き誇る盛岡の風景	盛岡市
	Hibiya park 120th anniversary	東京都
	文化と伝統を重んじる清流の国ぎふへ	岐阜県
	霊峰富士と富士山本宮浅間大社	静岡県
	プラモデルの聖地 静岡市	静岡市
	“音楽の都”に向けて!	浜松市
	Attractive KOBE	神戸市
	新岡山城 リニューアル OPEN!!	岡山市
	「平和への願い」を世界中に	広島市
	お堀に映える小倉城と桜	北九州市
	福博ワイワイの庭 多様な文化と交流が息づく福岡・博多のまち	福岡市
	熊本の文化を継承する肥後六花	熊本市
	わっぜよかとこ、かごんまへおじゃったもんせ～!!	鹿児島県・鹿児島市
都市の音 - 第41回全国都市緑化かわさきフェア 令和6年度 開催! -	川崎市	

(3) 学校等庭園出展「せんだい Future Garden」

「若者たちによる、未来の百年の杜づくりを表現する庭園や花壇づくり」をテーマに、宮城県内の農業系高等学校等の生徒や学生が、日頃学んでいる農業や造園の知識を活かし、地元造園団体等の協力のもと制作した庭園や花壇の出展を実施。仙台フェア開催の1年前より宮城県内の各学校に参加を呼びかけ、農業系高等学校3校、農業大学校、造園科が設置されている高等技術専門校の計5校が出展した。宮城県柴田農林高等学校は、庭園作品の出展にあわせ、約2㎡の坪庭5作品や庭に使われる樹木の標本20鉢の展示も行った。

施工にあたっては、一般社団法人宮城県造園建設業協会(担い手づくり・社会貢献委員会)が農業系高等学校3校と高等技術専門校を、花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会が宮城県農業大学校をそれぞれ支援し、材料調達や技術指導などのサポートを行った。また、各校の生徒や学生による箱庭やミニ盆栽づくり、農業クイズ、花のポット苗づくり体験などのワークショップも開催され、子どもも楽しめる企画で会場を盛り上げた。

作品タイトル	出展者名
Minecraft × 加美農	宮城県加美農業高等学校
「伊達な庭」	宮城県農業高等学校 園芸科造園専攻
「継ぎたい技 つながる心」	宮城県柴田農林高等学校 造園専攻
三味一体(花・果樹・野菜)	宮城県農業大学校 園芸学部
家庭でくつろぐ「ベリー」のあるお庭	宮城県立仙台高等技術専門校



宮城県加美農業高等学校



宮城県農業高等学校



宮城県柴田農林高等学校



宮城県農業大学校



宮城県立仙台高等技術専門校

(4) 全国造園デザインコンクール 緑化フェア「みどりの広場」プラン特別賞受賞作品出展

一般社団法人日本造園建設業協会が主催する「全国造園デザインコンクール」のうち高校1・2年生を対象とした「緑化フェア『みどりの広場』プラン」部門の特別賞受賞作品の出展を実施。仙台フェア開催の2年前より同協会に作品出展の協力を依頼し、会場での施工は同協会宮城県支部が行った。ブルー系の草花で表現された松川だるまなど工夫を凝らした作品は多くの来場者の人気を集めた。

作品タイトル	出展者名(敬称略)	規模(形状)・作品数
杜の都と松川だるま	デザイン: 滋賀県立湖南農業高等学校 木内 幸智 施工: 一般社団法人日本造園建設業協会 宮城県支部	20㎡(5m×4m)・1作品

(5) ハンギングバスケット・コンテナガーデン

「杜の都の花かざり～きらめく花・みどり・ひと～」をテーマに、日頃より花やみどりに親しむ市民が制作したハンギングバスケット49作品、コンテナガーデン46作品が市内外から寄せられ、5月18日(木)～5月28日(日)まで出展を実施。草花による華やかな作品の数々が並ぶ様子は多くの来場者を魅了するとともに、花やみどりへの関心を高める機会となった。また、出展作品が好評を博したことから、ハンギングバスケット国土交通大臣賞受賞作品とコンテナガーデン金賞受賞作品等を6月18日(日)まで期間を延長して展示した。

出展にあたっては、一般社団法人日本ハンギングバスケット協会宮城支部より作品の設置・撤去や灌水などの維持管理への協力を得た。

作品の種類	作品サイズ	作品数
ハンギングバスケット(壁掛けタイプ)	幅80cm以内・上下100cm以内・重さ15kg以内(背景含む)	49作品
コンテナガーデン(直置きタイプ)	100cm四方以内	46作品

※出展作品名については、P133～134「④出展作品一覧および審査結果」を参照

(6) 緑化技術等出展「グリーンインフラガーデン」

公益財団法人都市緑化機構との協働により、防災・減災、気候変動への適応などグリーンインフラが持つ多様な機能や効果を発信することを目的に、暮らしに役立つみどりの技術や最新の緑化資材などの出展を実施。同機構が所管する環境緑化技術共同研究会、防災公園とまちづくり共同研究会、グリーンビジネスマネジメント共同研究会の会員から25企業・団体が参加した。

出展では、雨庭をはじめ各種の透水性舗装や壁面緑化、緑と一体となり親しみながら利用できるベンチなどの製品を組み合わせたガーデンを設けるとともに、宮城県 CLT 等普及推進協議会から寄付を受け設置した CLT コンテナ内でグリーンインフラを紹介するパネル展示や出展製品のサンプル展示を実施した。中には、グリーンインフラの知識や技術の普及に加え、フォトスポットとして来場者の人気を集めた製品もあった。

この出展にあたり、藤田茂氏（環境緑化技術共同研究会運営委員長・有限会社緑花技研）が全体の調整を行い、豊田幸夫氏（同研究会副運営委員長・エコ&ヒーリングランドスケープコンサル）がガーデンの設計を担当、古積造園土木株式会社より雨庭をはじめとした施工に際して協力を得た。

また、仙臺緑彩館では、壁面緑化などの最新の緑化システムを展示し、室内緑化の技術やバイオフィリックデザインの効能について紹介した。あわせて、一般社団法人日本植木協会宮城支部の協力のもと、鉢植え30点による新樹種の紹介やプランタータワーの展示を行い、みどりの魅力を発信するとともに室内緑化による空間演出を行った。

出展場所	出展製品名等	企業団体名
グリーンインフラガーデン (屋外)	みどりスタック太陽光パネル付雨水循環型壁面緑化システム	(株) プラネット
	砂利キーパー	(株) キタイ製作所
	エコユニットマット	日本地工(株)
	壁面緑化マジカルグリーン	(株) トーシンコーポレーション
	GRC プランターベンチ	小松マテール(株)
	TLC パパットベンチ	交通インフラ緑化分科会
	グリーンビズグラウンド	(株) 中村製作所
	グリーンシェードベンチH型	(株) ラスコジャパン
	かまどスツール	太陽工業(株)
	トイレスツール	日本興業(株)
	シビックアートファニチャーバえるモニュメント	(株) トーテツ
	マククイックシェルター	四国化成建材(株)
	雨水貯留インターロッキング	(株) フジタ
	パネル式布団籠	レイ・ソーラデザイン(株)
雨水タンク「レインキーパーP1型」	レイ・ソーラデザイン(株)	
グリーンインフラガーデン (CLT コンテナ内)	ベクソイル	ガラス発泡資材事業協同組合
	コブラケープリングシステム	レイ・ソーラデザイン(株)
	スーパーソル	レイ・ソーラデザイン(株)
	スクエアターフ	共同カイトック(株)
	くるくるストップ透水管	南出(株)
	アーバンスケイプグリーンロール	
	リプラfボード	環境緑化技術共同研究会
	防災緑化型立体駐車場(パネル)	ダイトウテクノグリーン(株)
	ツルパワーパネル	田島ルーフィング(株)
	FD ドレインLN	(公社) 雨水貯留浸透技術協会
	ルートガードD	GIを考える勉強会
	雨水貯留浸透技術協会・GI技術(パネル)	城東リブロン(株)
	プラスチック製貯留構造体(ミニチュア模型)*	積水化学工業(株)
		日東商事(株)
仙臺緑彩館	みどりスタック壁面緑化(両面用ラック)	(株) プラネット
	壁面緑化トラスシステム	東鉄工業(株)
	新樹種の鉢植え	(一社) 日本植木協会宮城支部
	プランタータワー	

※出展協力：物林(株)

(7) ジャパンガーデンツーリズムタペストリー出展

公益財団法人都市緑化機構によるジャパンガーデンツーリズムを紹介するタペストリーの出展を、4月26日(水)～5月15日(月)、5月29日(月)～6月18日(日)の期間で実施した。タペストリーでは、国土交通省が創設した庭園間交流連携促進計画登録制度(ガーデンツーリズム登録制度)に令和5年6月までに登録された国内15地域の計画の紹介を行った。

(8) 仙台市の緑化行政に関する展示

仙臺緑彩館にて、仙台市のみどりの歴史や百年の杜づくりによる取組みを紹介するパネル展示を常設で実施した。3本の六角柱にそれぞれ「杜の都のみどりのあゆみ」「市民とともに育む杜の都のみどり」「百年先に届けたい杜の都のみどり」と題し、計15枚のパネルを設置。「杜の都・仙台」のみどりが育まれてきた歴史を辿り、市民とともに培ってきたみどりの大切さや素晴らしさについて広く周知する機会となった。



3 コンテスト

企業・団体等から出展された庭園、市民から出展されたハンギングバスケット・コンテナガーデンの技術やデザイン等の評価を行うことにより、出展者の緑化技術の向上を図り、また、今後の活動の励みにするとともに、来場者が楽しみながら花とみどりに関する知識や工夫を学べる場を提供することを目的にコンテストを実施した。

(1) 庭園出展コンテスト

①実施概要

企業・団体等庭園出展「せんだい Feel Garden」に出展された49作品を対象に、令和5年4月19日(水)に審査を行った。造園関係の学識経験者や専門家および主催者からなる8人の審査員により、採点審査および協議審査を実施し、実行委員会表彰の金賞7作品、銀賞19作品、銅賞23作品を決定するとともに、金賞作品の中から関連表彰7作品を決定した。

なお、実行委員会表彰受賞者には賞状^{*1}を授与し、関連表彰受賞者には令和5年度全国都市緑化祭において賞状および副賞^{*2}を授与した。また、金賞受賞者には閉会式において賞状を授与した。

※1 賞状用紙に仙台七夕吹き流し再生紙「仙臺七夕祈織」を使用

※2 仙台単筒をモチーフにデザインされた時計

②対象・表彰数

審査対象	実行委員会表彰	関連表彰
せんだい Feel Garden の全49作品	金賞7、銀賞19、銅賞23	7

③審査員

審査員(敬称略)	所属・役職(令和5年4月19日時点)
渡部 桂	東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授
湯澤 将憲	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長 (代理：国土交通省東北地方整備局 東北国営公園事務所長 澤田 大介)
中嶋 吉則	宮城県土木部都市計画課 課長 (代理：宮城県土木部都市計画課 技術副参事兼総括課長補佐 佐々木 健志)
伊藤 幸男	(一社) 日本造園建設業協会 業務執行理事
高木 生一	(一社) 日本造園組合連合会 副理事長
板垣 清美	(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会 理事・東北支部長
大黒 雅隆	仙台市建設局百年の杜推進部 部長
棚野 良明	(公財) 都市緑化機構 専務理事



④出展作品一覧および審査結果

●庭園の部 金賞

賞名	作品タイトル	出展者名
国土交通大臣賞	「居 杜 (いと)」	(株) 竜門園 *1
宮城県知事賞	降り蹲踞と竹円窓	(株) さつき造園
仙台市長賞	風にいだかれ、音を味わう庭～ Feel wind & sound ～	(有) 繁樹園 *1
(公財) 都市緑化機構会長賞	「環～めぐる～」	(一社) 日本造園組合連合会 青年部
(一社) 日本造園建設業協会会長賞	つむぐ ～古より未来へ～	(一社) 宮城県造園建設業協会 青年部
(一社) 日本造園組合連合会理事長賞	あおばの小路	御堂平造園 *1
(一社) ランドスケープコンサルタンツ協会会長賞	NEXT 社のサードプレイスオフィス	(株) 伊貝緑化

●庭園の部 銀賞

作品タイトル	出展者名
「共創」 ～NbS みちのくトレイルからのメッセージ～	むつみ造園土木(株) 仙台支店
「秘めたる鼓動」	(株) NIWAYA
庭って素晴らしいカワムラガーデン	Natures rock カワムラガーデン *3
身近な風景	夕雅庭 *3
～宮城産にこだわり～	古積造園土木(株)
自然の息遣いを感じる 「森のワーケーションテーブル」	住友林業(株) 住宅事業本部 仙台支店 住友林業緑化(株)
オトノナルホウへ - 調べ -	(一社) 宮城県造園建設業協会 県南支部 巨理分会
伊達の伝統	仙台庭師会
空と大地がくれたもの	(株) 泉緑化
「青山緑水」 'seizanryokusui'	(有) 五葉園 *1
庭の再生と創造	(有) 阿部造園 *1
仙台的奥座敷	(有) 鉤取造園 *1

●庭園の部 銅賞

作品タイトル	出展者名
閑上ビーチ ～閑上沿岸部の復興ガーデンスタイル～	(一社) 宮城県造園建設業協会 名取分会
緑水回帰	(一社) 岩手県造園組合
未来への盃	(一社) 宮城県造園建設業協会 栗原分会
Moegi-iro 「萌木色」	(株) せきぐち緑化
杜の都のハッピーガーデン	(株) ザ・利光組 *3
自然の恵み	NATURAL CRAFT *3
Café-iguné	泉作庭・庭彩・庭師東野 *3
「SENDAI origin」	東洋緑化(株)
Coloured Stems	(株) グリーンバンク (+スワローテイルガーデン)
軽妙酒脱	(株) 庭屋えみし
剪定のピフォーアフター ～美しい庭木を維持する庭師の剪定力～	(一社) 宮城県造園建設業協会 県南支部 仙南分会
天空の IYASHI ～屋上緑化の可能性	(株) 西和造園・FLORIST GRASSROCK
Mystic Meta Balcony	LOVEIUM
和む庭	(有) 桜下造園 *1

作品タイトル	出展者名
カクレ処生活の庭	(有) 大久保庭園 *1
突 卯 紫 明 - きぼう しめい	(一社) 日本造園建設業協会 山形県支部 *2
～松竹梅の三拍子～	(一社) 日本造園建設業協会 宮城県支部 *2
ゆるやかに 登り行く	(一社) 福島県造園建設業協会 (一社) 日本造園建設業協会 福島県支部 *2 (一社) 日本造園組合連合会 福島県支部
童夢へ響け匠の音霊	(一社) 日本造園建設業協会 東北総支部 全国1級造園施工管理技士の会
蓬菜(ほうらい)	(一社) 宮城県造園建設業協会 仙台支部 若林分会
足湯 "I see you" あなたが見えています	(有) 菊地造園

作品タイトル	出展者名
休憩小屋～アナベルの余韻と、春花の彩を愉しむ～	(株) 牧山 *1
雪国の庭園	(一社) 青森県造園建設業協会 (一社) 日本造園組合連合会 青森県支部 *2 (一社) 日本造園建設業協会 青森県支部
SCGs (Sソロ Cキャンプ Gガーデン Sスタイル)	(一社) 秋田県造園協会 (一社) 日本造園建設業協会 秋田県支部 *2 (一社) 日本造園組合連合会 秋田県支部
銀河鉄道に乗って	(一社) 日本造園建設業協会 岩手県支部 *2
～つなぐ～	(一社) 日本造園建設業協会 宮城県支部 × MIYAGI LG 委員会
チルガーデン～CHILL GARDEN～	(株) 芝玄
古き良き日本庭園	(株) 岩沼造園土木
おかげ～恩恵・影響～	(株) グリーンテック松ノ木
青葉雨ふる庭	(一社) 宮城県造園建設業協会 県南支部 岩沼分会

*1 杜の都づくり植木市協賛会会員

*2 一般社団法人日本造園建設業協会東北総支部所属支部

*3 一般社団法人日本庭園協会宮城県支部会員

⑤審査総評 (審査員長 東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科 教授 渡部 桂)

49の作品はどれも素晴らしく見ごたえがあり、非常にワクワクして楽しく見ることが出来る作品ばかりであった。今回の作品の中には、重厚な日本庭園からライトな作品まであり、空間を造り、使っていくランドスケープのもつ幅を改めて感じる事ができた。伝統的な技法に触れることによって、自分も手に入れたい、あるいは、造る側にまわりたいと触発されるような会場になっており、出展者の気合いが感じられたコンテストであった。

(2) ハンギングバスケット・コンテナガーデンコンテスト

①実施概要

出展されたハンギングバスケット49作品、コンテナガーデン46作品を対象に、5月17日(水)に審査を行った。造園や園芸関係の専門家および主催者からなる8人の審査員により、採点審査および協議審査を実施し、ハンギングバスケットの部では実行委員会表彰の金賞7作品、銀賞19作品、銅賞23作品、コンテナガーデンの部では実行委員会表彰の金賞7作品、銀賞18作品、銅賞21作品を決定するとともに、各部門の金賞作品の中から関連表彰7作品をそれぞれ決定した。

なお、実行委員会表彰受賞者には賞状*1を授与し、関連表彰受賞者には閉会式において賞状および副賞*2を授与した。

*1 賞状用紙に仙台七夕吹き流し再生紙「仙臺七夕折紙」を使用

*2 仙台筆筒をモチーフにデザインされた時計

②対象・表彰数

審査対象	実行委員会表彰	関連表彰
ハンギングバスケット 49作品	金賞7、銀賞19、銅賞23	7
コンテナガーデン 46作品	金賞7、銀賞18、銅賞21	7

③審査員

審査員(敬称略)	所属・役職(5月17日時点)
上田 奈美	(一社) 日本ハンギングバスケット協会 理事長
湯澤 将憲	国土交通省都市局公園緑地・景観課 緑地環境室長
相澤 和浩	宮城県農政部園芸推進課 課長
間室 伸子	(一社) 日本ハンギングバスケット協会 副理事長
川村 圭一	仙台中央卸売市場花卉卸協同組合 理事長
花淵 祐介	宮城県花卉商業協同組合 常務理事
大黒 雅隆	仙台市建設局百年の杜推進部 部長 (代理: 仙台市建設局百年の杜推進部百年の杜推進課 課長 熊谷 純)
山口 亜希子	(公財) 都市緑化機構 上席総括研究員

④出展作品一覧および審査結果

●ハンギングバスケットの部 金賞

賞名	NO.	作品タイトル	出展者名(敬称略)
国土交通大臣賞	13	カズミアン 花翠庵	堀田 佐智子
宮城県知事賞	45	ロマン漂う、いにしへの街仙台	八木原 良江
仙台市長賞	6	花車(街から街へ)	矢嶋 広美
(公財) 都市緑化機構会長賞	2	木漏れ日 きらり	菅原 範子
(一社) 日本ハンギングバスケット協会理事長賞	30	薫風に微笑んで	横山 勢津子
仙台中央卸売市場花卉卸協同組合理事長賞	23	糸	大野 里美
宮城県花卉商業協同組合理事長賞	17	遅かなる青葉城	福田 真利子

●ハンギングバスケットの部 銀賞

NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル
9	爽風	26	Crescent Moon	40	共に生きる
14	初夏の装い	27	風に光る	42	remember
15	花のフルーツ	28	concerto(協奏曲)	46	笑顔になーれ
16	杜にそよぐ風と共に	32	夏めくギフト	47	季節はめぐり `花のRondo。
19	新緑の花飾り	33	古城の月	49	みどりの杜の春
21	優しい気持ちで	34	環		
25	SEASON IN THE SUN ~杜の都の誘い~	39	初夏のお花のおもてなし		



第11章 協働推進(市民協働プログラム)

1 基本的な考え方

●開催に向けた機運醸成

仙台フェアの準備段階から会場づくりなどを市民協働で取り組むことにより、開幕に向けた機運醸成を図る。

●新たなみどりの担い手育成

子どもたちをはじめとした多くの市民に、花壇づくりなどを通じて花やみどりに触れる場を提供することで、自然の大切さや緑化活動の楽しさに気づく契機を創出するとともに、新たなみどりの担い手育成につなげる。

●フェアレガシーの形成

フェアへの積極的な参加や協働の取り組みをきっかけに始まる緑化活動・コミュニティ形成などを促進し、フェアレガシーにつなげる。

2 メイン会場

(1) みんなでつくる大花壇(秋植え、春植え)

青葉山公園追廻地区のシンボルとなる大花壇「はなばた飾り」の一部において、市民参加による花植えを秋と春の2回実施した。大花壇をデザインした株式会社 Q-GARDEN の小島理恵氏が、植付け方の指導に加え、花壇デザインのコンセプトや見どころの説明を行った。

秋植えは、開幕150日前イベントとして2日間行った。1日目には未就学児でも作業可能なチューリップの球根投入を実施し、2日目には、前日に球根投入を行った場所にパンジーやアリッサム等の花苗を植付けた。

春植えは開幕直前イベントとして実施し、ランタナやヒューケラ等の花苗植付けを行った。

秋植え・春植えの実施にあたり、募集により集まったサポートスタッフが、小島氏が講師を務める事前講習会に参加のうえ植付け方や作業内容などを習得し、当日は円滑な運営となるようサポート役として参加した。

また、イベントの企画段階において、全国都市緑化仙台フェア植物調達協議会とともに、参加者の年齢や作業による充実感を考慮して、作業面積や植付ける株数など規模や内容の検討を重ねた結果、幅広い年齢層の方が会場づくりへの参加を実感できる内容となった。

区分	実施日	対象	参加人数	サポートスタッフ参加人数
秋植え事前講習会	令和4年11月14日(月)	サポートスタッフ	—	27名
秋植え(球根投入)	令和4年11月19日(土)	市民(小学生以下の子ども) (保護者)	子ども63名 保護者65名	15名
秋植え(花苗植付け)	令和4年11月20日(日)	市民	124名	17名
春植え事前講習会	令和5年3月27日(月)	サポートスタッフ	—	28名
春植え	令和5年4月1日(土) ※午前・午後の2回実施	市民	232名	55名

(2) たねダンゴ花壇づくり

令和4年10月18日(火)～21日(金)にかけて、市内の幼稚園・保育所・認定こども園9施設の園児など380名が、青葉山公園追廻地区でたねダンゴ*づくりと植付けを行い、約2,200個分、約150㎡のたねダンゴ花壇が完成した。サポートスタッフ49名は、園児たちへの指導のほか、たねダンゴの素となる大量の土をこねる作業などイベントの事前準備にも参加した。

サポートスタッフや参加施設の引率者に対しては、事前に研修を実施し、たねダンゴのつくり方やイベント当日の流れ等を説明し、園児たちが安全に参加できるよう万全の準備を整えた。

たねダンゴは、身近な場所でも植物の生長過程を楽しんでもらえるように一部は「おみやげ」として園児たちが持ち帰り、各家庭や園庭等での植付けに活用された。

※「たねダンゴ」は(公社)日本家庭園芸普及協会の登録商標

【参加施設】泉の杜幼稚園、コスモス錦保育所、さねや・ちるどれんず・ふぁあむ、しげる保育園、しげる幼稚園、長町自由の星保育園、ファンニーハート保育園、マザーズ・サンピア保育園、やまとまちあから保育園

(五十音順)



サポートスタッフによる事前準備

●ハンギングバスケットの部 銅賞

NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル
1	Il Sogno	12	和の風	36	杜を歩きながら
3	涼風	18	思い出の杜の都	37	ありがとう
5	杜と風	20	風KAORU散歩道	38	夏を告げるククルスの杜にて
7	Smile Smile Smile	22	初夏の香り	41	風をさそって
8	古に想いを馳せる～永遠の杜～	24	くつろぎの時間を共に	43	From Morioka(Iwate)
10	Sustainable Art -未来を描く我が子とともに-	29	Passion	44	潤い、輝く
11	水、森、大地～地球の贈り物～	31	うきうき♪シンフォニー	48	木洩れ陽
		35	さあ、行こう!	50	まる♡い

※NO.4は欠番

●コンテナガーデンの部 金賞

賞名	NO.	作品タイトル	出展者名(敬称略)
国土交通大臣賞	126	初夏の青葉山	大場 富美子
宮城県知事賞	109	若葉色の季節	山谷 春香、山谷 仁香
仙台市長賞	115	杜を抜けて	堀田 佐智子
(公財)都市緑化機構会長賞	142	日々、笑顔に	橋浦 佳織
(一社)日本ハンギングバスケット協会理事長賞	136	葉もれ日	姉帯 つつみ
仙台中央卸売市場花卉仲卸協同組合理事長賞	110	30th Anniversary～草花と歩んできた日々～	花工房はゆな花壇 及川 正代
宮城県花卉商業協同組合理事長賞	135	DERIGHT	田中 しんご

●コンテナガーデンの部 銀賞

NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル
102	Welcome to my garden	124	From Morioka(Iwate)	137	COLORS
103	The middle	127	青葉のころに	138	Keep Shining
105	花盛	128	うららか	139	風香る
118	平穏な日々	130	弾む夏	140	hinata
120	青葉香る	133	Miniature garden	144	初夏の野原プリコラージュ
121	杜の切り株	134	Summer breeze	146	杜の都・らんまん

●コンテナガーデンの部 銅賞

NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル	NO.	作品タイトル
101	杜の華	112	仲良く	125	伊達の華
104	well-BEEing ～みづばちの住みやすい環境は人にも優しい	113	和の風	129	冒険
106	君がいて幸せ	114	mellow meadow	131	Blue gravity
107	色どりと彩り	117	萌える杜	132	香りのハーブガーデン
108	ようこそ!杜の都に Welcome to SENDAI【涼やかなエントランス】	119	ふわふわふわわり	141	追憶
111	Enjoy life を楽しみましょう!	122	ジヨパンニとカムパネルラ ～銀河鉄道の夜より～	143	ひとやすみ -A Little Rest-
		123	和みの時間	145	オーストラリアの庭
				147	花の棲み家

※NO.116は欠番

⑤審査総評(審査員長 一般社団法人日本ハンギングバスケット協会 理事長 上田 奈美)

●ハンギングバスケットの部

ハンギングバスケットの部では、清々しい色の組み合わせが多く、「杜の都・仙台」の空の色とみどりから来るカラーコーディネートを感じることができた。また、日本の園芸の技術力の高さから来る多種多様な品種を使いながら、仲間内でも切磋琢磨して、競い合っ、賞を目指す思いが一つひとつの作品から感じられた。これまであまり使われてこなかったアジサイによる新しい表現や、隣り合う植物がフォローしあうデザインなど、甲乙つけがたい技術の高さを強く感じたコンテストであった。

●コンテナガーデンの部

コンテナガーデンの部では、造園と園芸の両方の要素を兼ね備えたデザイン性の高さと、植物を効果的に使っている作品が特徴的であり、審査員の評価も高かった。また、作ってすぐに持ち込まれた作品だけでなく、養生をして時間をかけて植物を大きく育てた作品や、いまの時期の仙台の大きな寒暖の差がある中でも、コンテストに照準をあわせて、うまく花を咲かせてきた作品など、どれも力作ぞろいで、出展者の苦労が見えるような素晴らしい作品が揃ったコンテストであった。

(3) おもてなしアートプランター

西公園南側地区では、仙台市立小学校 16 校の児童が手掛けたおもてなしアートプランター 100 基が並び、来場者を出迎えた。令和 4 年 11 月末頃から各校にてパンジーの苗とチューリップの球根の植付けを行い、開幕までの期間栽培した。また、プランターカバーは、農林中央金庫と宮城県森林組合連合会の協賛による県産木材を使用。児童たちの色豊かなのびのびとしたデザインが、会場を華やかに彩った。

児童たちが植付けた花はフェア期間中に見頃を終えたため、5 月 27 日（土）に植替えイベントを実施。アートプランターを手掛けた児童をはじめ 48 名の市民が参加し、マーガレットやキンギョソウ等に植替えた。

アートプランターは引き続き各校での花の栽培に活用してもらえるよう、閉幕後に各校へ返却した。

【参加校】 旭丘小学校、荒井小学校、岩切小学校、生出小学校、片平丁小学校、蒲町小学校、上杉山通小学校、七郷小学校、将監小学校、鶴谷東小学校、通町小学校、長町南小学校、虹の丘小学校、八幡小学校、東二番丁小学校、柳生小学校（五十音順）



小学生による制作

(4) 市民花壇「もりと風のガーデン」

市内におけるコミュニティガーデンづくりの推進を目的に、仙台市では令和 2 年度より「花と緑のアドバイザー養成講座」を開催し、地域の花壇づくりのリーダーを育成している。これまで講座を受講した 34 名が実践講座として仙台フェアの開幕に向け青葉山公園追廻地区で花壇づくりを行った。株式会社泉緑化の松本明美氏、鈴木悠一氏ら講師の指導のもと、花壇デザインや土づくり、花選び、植付けを行い、フェア期間中も受講生たちが花壇のメンテナンスを担当した。

青葉山のもりと広瀬川からの風を感じられる場所にあることから「もりと風のガーデン」と名付けられたこの花壇は、フェア期間中に球根や宿根草などの植物による花色が次々と変化し、来場者を楽しませた。受講生たちは花壇づくり団体「杜の花パレット」を結成し、今後もフェアレガシーとして花壇づくりを続けていく。



受講生による花植え

(5) 未来の杜花壇づくり

「未来の杜花壇づくり」は、仙台フェア来場者が花壇や庭園を見るだけでなく、実際に花に触れて、花植えの楽しさを知り、花壇づくりへのきっかけとなるよう青葉山公園追廻地区で実施した。

「出展花壇・庭園エリア」に設けた約 20㎡の区画に、参加者が好きな花苗を選び、スタッフのサポートのもと花壇づくりを行った。実施にあたっては、事前の受付は行わず、当日会場での参加呼び込みを行ったが、日頃から花やみどりに触れている熟練者から花植えが初めての子どもまで幅広い世代が参加し、花の名前や植え方などの知識とともに花壇づくりの楽しみを知る機会となった。完成した花壇は、ラベンダーをベースにコリウス、オステオスペルマムなどの花がバランスよく散りばめられ、フェア期間の後半に彩りを加えた。

実施日	場所	参加人数
5月28日(日)	「出展花壇・庭園エリア」柴田町花壇隣	164名

(6) GREEN WEEK

4 月 29 日（祝）～5 月 7 日（日）までを、みどりに関する市民活動を重点的に紹介する期間として「GREEN WEEK」と銘打ち、仙台市が認定した緑の活動団体などによる取組みの紹介や作品展示、ワークショップを青葉山公園追廻地区で実施した。GREEN WEEK の初日には、「緑を愛する心を育み、緑豊かなまちづくりを進める」ことを目的に毎年開かれる「新緑祭」を開催し、緑化功労者の表彰やステージイベント、花苗や園芸用品の販売などを行った。

期間を通じて、杜の都に根づいた市民によるみどりの活動について紹介することで、緑化意識の醸成を図ることができた。加えて、団体同士の交流も盛んに行われ、今後の活動の活性化にも寄与した。

(7) はなばた飾りをまちへ！（花苗譲渡会）

54 日間にわたって仙台フェア来場者の目を楽しませた花々が、フェア閉幕後も市民により生まれ、「杜の都・仙台」のまちを彩り続けることができるよう、市民、花緑にちなんだ活動団体、学校、市民利用施設等を対象に、メイン会場で使用した花苗の譲渡会を開催した。市民向け譲渡に関しては、6 月 7 日（水）から青葉山公園追廻地区の案内所にて参加受付を開始したところ、4 日間で定員に達し募集を締め切った。

譲渡会は令和 5 年 6 月 24 日（土）～7 月 2 日（日）の 9 日間実施。市民 343 名に加え、花壇づくり団体等 912 名（団体数 299）が参加し、大花壇「はなばた飾り」や周辺の花壇の中から、それぞれ希望する花苗を自ら掘り取り持ち帰った。

また、6 月 24 日（土）と 25 日（日）の 2 日間は、公益財団法人仙台市公園緑地協会の協力を得て、みどりに関する相談を受け付けた。



参加受付

3 まちなかエリア会場・その他

(1) 仙台駅西口ペDESTリアンデッキ ウェルカムガーデン

まちなかエリア会場の仙台駅ペDESTリアンデッキにおいては、令和 3 年 11 月に市民参加による花壇づくりを行った。この花壇づくりには、コミュニティガーデンづくりを学ぶ「花と緑のアドバイザー養成講座」受講生が参加し、株式会社泉緑化の鎌田秀夫氏、松本明美氏らの指導のもと花植えを行い、令和 4 年 4 月と 5 月には花壇のメンテナンスを実施した。市民のアイデアが大いに発揮された花壇は、仙台フェア開幕に向けた機運醸成の取組みの一つとして、杜の都の玄関口である仙台駅に彩りを添えた。



参加者への植付け方法の説明

ペDESTリアンデッキの花壇づくりは令和 4 年 10 月と令和 5 年 4 月にも行われ、近隣の仙台市立小・中学校 4 校の児童・生徒や、花と緑のアドバイザー養成講座受講生などあわせて 94 名の市民が参加した。実施にあたっては、これまでペDESTリアンデッキで花壇を整備してきた緑の活動団体である、一般社団法人「花降る街、仙台」の協力のもと、花壇デザインをはじめ、イベント当日の植付け指導、フェア期間中の花壇のメンテナンスなどを実施した。

区分	実施日	参加人数
ウェルカムガーデンづくり（秋）	令和 4 年 10 月 30 日（日）	59 名
ウェルカムガーデンづくり（春）	令和 5 年 4 月 16 日（日）	35 名

【参加団体】 荒町小学校、片平丁小学校、東二番丁小学校、五橋中学校
花と緑のアドバイザー養成講座受講生、仙台まちづくり若者ラボ参加者

整備されたウェルカムガーデンは、ナチュラルスティックをコンセプトに、宿根草などの植物を用いた四季の移ろいを感じることができる花壇となっており、フェア期間中多くの人々の目を楽しませただけでなく、閉幕後もレガシーとして市民による花壇づくりを続けていくこととしている。

また、ウェルカムガーデンづくりに先じて、花壇づくりを通じたまちづくりや市民協働について学ぶ機会を設け、ナチュラルスティックガーデンの生みの親であるピート・アウドルフ氏のドキュメンタリー映画「FIVE SEASONS」の上映会を令和 4 年 10 月に行い、11 名が参加した。



(2) 宮城野通 ウェルカムストリート

まちなかエリア会場の宮城野通においては、仙台フェア開幕前の令和4年12月と令和5年4月、フェア期間中の6月の計3回、市民参加によるプランターや仮設花壇への花植えを行った。花植えには、近隣の榴岡小学校の児童などあわせて74名の市民が参加した。実施にあたっては、宮城野通でまちづくり活動を行う仙台駅東まちづくり協議会の協力のもと、仮設花壇のデザインをはじめ、イベント当日の植付け指導、フェア期間中の花壇のメンテナンスなどを行った。また、東北福祉大学、仙台ECO動物海洋専門学校からも協力を得た。

令和4年12月は宮城野通沿いの榴岡公園でプランター60基にチューリップやパンジーの植付けを行った。プランターは令和5年3月中頃まで公園内を彩った後、一般社団法人宮城県造園建設業協会仙台支部宮城野分会の協力により宮城野通に移設された。

令和5年4月は仮設花壇8基にランチュラスやヒューケラなどの植付けを、6月はプランター・仮設花壇にニチニチソウやアングロニアなどの植替えを行い、幼児や小学生などが手掛けた花壇はまちに賑わいを添えた。フェア閉幕に伴い仮設花壇は撤去したが、プランターについてはレガシーとして市民による花植えを続けていくこととしている。



参加者による花植え

(3) おもてなしフラワーリング

花壇づくりを行なっている地域団体や企業等に対し、花苗やフェアのロゴマークを記したプレート、フラワーラベルを提供することにより、仙台フェアの全市民的な盛り上げを図り、フェア開催の機運醸成につなげた。

地域団体に対しては、普段より花壇づくりの助成を受けている団体に勧奨を行い、参加団体におもてなし花苗セット（サルビア・ネモローサ・カラドンナ、ネモフィラ各10株）とおもてなしプレート（農林中央金庫、宮城県森林組合連合会協賛の県産木材使用）を提供した。企業等に対しては、公式ホームページや仙台商工会議所などを通じて勧奨を行い、参加企業におもてなしフラワーラベルを提供した。このほか、仙台市内の郵便局にもおもてなしフラワーラベルを提供し、各局での緑化の推進やフェアPRへの協力を得た。

また、参加団体・企業等の花壇と花壇づくりの様子を写真パネルにして、フェア期間中に仙臺緑彩館で展示を行い、来場者に取組みを紹介した。



参加企業の花壇



地域団体による花植え

地域団体	51団体
企業	15社 18カ所
郵便局	市内125局および日本郵便(株)東北支社

(4) 仙台市老人福祉施設協議会との連携

仙台フェアの機運を高めるため、仙台市老人福祉施設協議会に協力を依頼し、市内各所にある協議会会員施設である特別養護老人ホーム45施設に対し、令和4年12月にプランター・培養土・パンジーとビオラの花苗・チューリップの球根を3セットずつ配布した。各施設において施設利用者と職員が植付け・栽培を行い、栽培状況やフェア情報について、各施設のSNS等で発信された。

(5) 百杜クラブ研修会

仙台フェア開催に向けての機運醸成と次世代の担い手育成を目的に、研修会を開催した。花壇づくりについての基礎研修や経験者向けのステップアップ研修などを実施したほか、花やみどりの活動の経験がない方も含めた多くの市民が気軽に参加しやすいよう、実践研修をイベント形式（「たねダンゴ花壇づくり」、「みんなで作る大花壇」、「宮城野通ウェルカムストリートづくり」）で開催した。

研修名	実施日	内容	参加人数
たねダンゴ花壇づくり事前研修	令和4年9月5日(月)	たねダンゴ花壇づくりに向け、(公財)仙台市公園緑地協会職員を講師に迎え、事前にたねダンゴのつくり方を学んだ。	サポートスタッフ・参加施設の職員 16名
たねダンゴ花壇づくりボランティア実践研修	令和4年10月17日(月)～10月21日(金)	花壇づくりサポートの実践研修として、たねダンゴ花壇づくりに参加する園児たちにたねダンゴのつくり方の指導等を行った。	サポートスタッフ 49名
花壇づくり研修	令和4年11月3日(祝)	鉢物生産者である佐藤敏充氏を講師に迎え、花苗の植付け方等花壇づくりの基礎知識を学び、寄植え体験を行った。	49名
みんなで作る大花壇	令和4年11月19日(土)・11月20日(日)	大花壇「はなばた飾り」に花苗の植付け等を行った。	252名
	令和5年4月1日(土)		232名
宮城野通ウェルカムストリートづくり	令和4年12月10日(土)	宮城野通に設置した仮設花壇やプランターに、花苗の植付けや植替えを行った。	24名
	令和5年4月15日(土)		19名
	令和5年6月3日(土)		31名
花壇づくりステップアップ研修	令和5年3月12日(日)	鉢物生産者である佐藤敏充氏を講師に迎え、花の配置や組み合わせ方等花壇づくりのポイントを学び、寄植え体験を行った。	57名

(6) その他の市民協働活動

連携会場をはじめ各地で実施された市民協働による花とみどりの取組みを通じて、市内が鮮やかに彩られるとともに、市民の緑化意識の醸成や、次世代のみどりの担い手育成等が図られた。東日本大震災で被災した海岸公園においても、市民が植えた苗木の手入れや新たな植栽などが子どもたちの参加のもと行われた。

イベント名等	実施日	場所	内容	参加人数
泉中央おもてなしガーデニングプロジェクト	令和5年3月25日(土)	泉区役所	区のテーマカラーの青と黄色の花を地元の子どもたちと植え、泉中央エリアを彩り、訪れる人をおもてなしした。	95名
	令和5年6月24日(土)			23名
アイスガーデンプロジェクト	令和4年10月6日(日) 見頃：令和5年4月中旬～5月下旬	七北田公園	七北田小学校6年生が緑の活動団体「仙台花と緑の会」指導のもと、ネモフィラの種をまき、期間中、スケートリンクを模した青色の花壇が会場を彩った。	100名
社のウォールガーデンプロジェクト	令和5年4月27日(土)～6月18日(日)	七北田公園	市名坂小学校6年生が壁面緑化花壇などに花苗を植え、1989年のせんだいフェア会場のレガシーを紡ぎ、今回のフェアを盛り上げた。	85名
片平さんかく公園花壇づくり	令和5年4月24日(月)	片平さんかく公園	これまで花壇がなかった公園において、フェアを契機として市民参加で花壇をつくり、緑化意識の醸成を図った。	8名
宮城県仙台三枝高等学校探究学習発表会	令和5年5月22日(月)	仙臺緑彩館	仙台市野草園で探究学習を行った高校生が成果発表を行った。あわせて緑の活動団体(一社)「花降る街、仙台」代表の山田剛氏による講演を行った。	30名
まちなかエリアフラワーフォトスポットづくり	令和5年6月1日(土)～6月4日(日)	サンモール一番町商店街	(一社)「花降る街、仙台」のフローリストが、仙台総合ビジネス公務員専門学校フラワー科の学生とともにフラワーフォトスポットをつくり、まちなかエリアを盛り上げた。	41名
	令和5年4月29日(祝)	海岸公園荒浜地区	海岸公園センターハウス隣接の圃場で、海岸林の植樹に用いる苗木づくりとして、どんぐりの播種を行った。	24名
仙台ふるさとの杜再生プロジェクト育樹会	令和5年6月10日(土)	海岸防災林岡田砂原地区	震災復興の一環で海岸防災林に市民が植えた苗木の手入れを行った。	57名
	令和5年6月22日(土)	海岸公園荒浜地区	津波被害を受けた海岸公園荒浜地区に七郷幼稚園の園児とパタフライガーデンをつくり、蝶などの生き物の暮らしを学ぶ環境学習を行った。	52名





第12章 会場運営

1 基本的な考え方・方針

- メイン会場のバックヤードには実行委員会事務局の現地事務所として「運営本部」を設け、仙台フェアの運営や危機管理体制を統括管理した。
フェア期間中は定例の運営本部会議を毎週開催し各種業務間の連絡調整を行うとともに、新たに生じた問題・課題等に対しては速やかに対処方法の検討・意思決定を行った。
- 安全・安心な会場運営に向け、事件・事故、不正・不法行為などを未然に防止するための自主警備体制を構築し、通門管理や会場巡回（昼間・夜間）、多客時の雑踏対応に必要な警備員を配置した。
また、自然災害や火災、事故等の発生に備え、仙台市危機管理局や仙台市消防局、宮城県警察等との連携のもと、情報連絡体制の強化を図った。
- 河川区域内の会場となる広瀬川地区については、水難事故を防止するため、気象状況や河川の観測水位に応じた会場の閉鎖判断基準を定めるとともに安全監視スタッフを常駐配置した。
- 青葉山公園追廻地区のエントランスに建つ仙臺緑彩館を「総合案内所」に位置づけ、フェアのイベント案内や周遊促進を図る観光情報発信の拠点とした。また、総合案内所の機能を補完する二つの「案内所」を設置し、来場者の様々な問合せや要望にきめ細かにサポートできる体制を構築した。そのほか、運営本部には全てのフェア情報を一元管理する「未来の杜せんだい情報センター」を開設し、電話による問合せに対して、迅速かつ正確な情報を提供する体制を構築した。

会場運営施設	主なサービス機能	備考
青葉山公園追廻地区 ・総合案内所 ・もりの案内所 西公園南側地区 ・西公園案内所	・会場案内、フェア情報等提供 ・観光情報発信 ・迷子・迷い人、拾得物・遺失物対応 ・手話通訳・外国語通訳 ・貸出サービス（車いす・ベビーカー・コインロッカー） ・ベビールームサービス ・傷病者対応*	※救護所をもりの案内所に設置
未来の杜せんだい 情報センター	・場内放送（催事案内、注意喚起、緊急呼び出し等） ・コールセンター	運営本部内に設置

- 仙台市役所内から総勢 144 名の職員の応援協力を得て、54 日間にわたる会場運営業務の体制強化を図った。応援職員は、広瀬川地区や西公園南側地区の安全管理、エコステーションの運営（リサイクルの啓発、ごみの分別処理）に従事した。
- メイン会場のエリア特性等を踏まえ、会場運営に従事する事務局職員の基本配置人員を以下のとおり計画し、委託事業者やボランティア、仙台市応援職員を統括した。

会場運営担当業務	配置人員 (名/日)	備考
運営本部総括	1	事務局課長
会場運営総括	1	事務局係長
未来の杜せんだい情報センター担当	1	
会場管理・サービス担当 兼 応援職員管理	2	青葉山公園追廻地区・広瀬川地区：1名 西公園南側地区・広瀬川地区：1名
ボランティア担当	2	サービスボランティア担当：1名 植物管理ボランティア担当：1名
交通輸送本部担当	1	
設備・備品調達管理担当	1	

2 会場管理

(1) 来場者ゲート管理

来場者ゲートを青葉山公園追廻地区 2 カ所、西公園南側地区 2 カ所に設置。関係者ゲートと棲み分けを図り、入退場時の安全・安心な導線を確保した。
また、各来場者ゲートに人流計測用 AI カメラを設置し、来場者数をカウントした。



人流計測用 AI カメラ

(2) 通門管理

青葉山公園追廻地区 3 カ所、西公園南側地区 2 カ所に関係者ゲートを設置。ゲートの通行許可についてはあらかじめ配付した許可証を各ゲートの警備員が確認することにより行った。また、関係車両の入退場時間を開場前の 7 時 30 分～9 時、閉場後の 17 時 30 分～18 時 30 分とすることにより、一般来場者との事故やトラブルを防止した。
なお、一部の事業者や出店者による時間外の入場希望や許可証の不携帯などがあったが、都度、関係者であることを確認のうえ、車両移動の際にはスタッフが誘導するなど、柔軟な対応を実施した。

(3) 会場警備

会場内外の警備を一元管理する「警備本部」を設け、組織的な実施体制のもと、警備範囲の明確化を図った。
会場内の巡回警備については、30 分程度で全てのエリアを巡回できる人員体制を基本に、平日・休日の混雑状況に応じた警備員を配置し、会場の安全を確保した。

(4) 危機管理

フェア期間中に想定される重大な災害、事件、事故などの危機事象に加え、Jアラート発令時や不審物発見時などの対応について、仙台市危機管理局と調整のもとマニュアルを策定した。
広瀬川地区では、大雨の影響による河川水位の上昇が懸念されたことから、会場近傍の水位観測所データをもとに分析・モニタリングを実施。水位や注意報・警報発令に応じた広瀬川地区の閉鎖判断基準をあらかじめ定めるなど安全対策を構築した。
また、仙台市消防局による消防特別警戒に基づいたメイン会場内巡回や、宮城県警察の協力によるメイン会場周辺の巡視強化など、来場者の安全確保に万全を期した。

(5) エコステーション

仙台市環境局の協力のもと、資源リサイクルの普及・促進のため、青葉山公園追廻地区・西公園南側地区それぞれにエコステーションを設置し、会場内で発生したごみを分別処理した。分別内容は、燃えるごみ、プラスチック、瓶・缶、ペットボトルの 4 種類とし、来場者が自ら分別することにより資源循環に対する意識の醸成を図った。
また、回収したペットボトルは、再びペットボトルとする水平リサイクルを行い、プラスチックについても固形燃料を作る原料とするなど、ごみの減量リサイクルに取り組んだ。



エコステーション

(6) 医療・救護

傷病者への応急手当を行うため、もりの案内所に看護師 1 名が常駐する救護所を設置。また非常時の心肺蘇生とあわせた心拍回復を目的に、AED をメイン会場内 5 カ所に配備するなど緊急時に備え態勢を整えた。



傷病者が発生した際、迅速な救急搬送を行うため、実行委員会事務局職員やスタッフ、関係者との情報共有を実施。必要に応じて緊急車両を会場内に進入させるための誘導と導線確保を行うなど、傷病者の容態に応じた適切な対応を実施した。(救護件数:52件、うち救急車手配5件、搬送4件)



会場内に誘導された救急車

(7) 指定管理者との連携

指定管理者が管理する仙臺緑彩館はフェア期間中、メイン会場総合案内所としての機能を担うほか、館内では様々な催しを行うことから、開幕に向けた準備調整を綿密に実施。非常時に備えた防災訓練・救命講習の共同実施や仙臺緑彩館内での車いすやベビーカー貸し出し、展示物の設置やイベントの実施などについて連携・調整した。



救命講習(奥は指定管理者)

(8) 保険

仙台フェア全体を通じた円滑な運営を図るため、来場者や各種イベント参加者、ボランティアなどの関係者が、偶然の事故などにより受けた損害の補償ならびにメイン会場の設営物を原因とする事故などにより受けた損害の補償について、以下の保険により対応することとした。

保険名	保険内容(対象)	補償内容
①施設管理業務賠償責任保険	イベント施設や事業に起因する第三者(来場者等)の身体・財産の損害に対する賠償 ※会場の施設・設備の欠陥や業務管理運営ミスに起因するもの	対人 対物
②レジャーサービス施設保険(傷害見舞金)	メイン会場の入場者に対する傷害見舞金 ※イベント主催者に起因するものでなくても適用可能	死亡見舞金 入院見舞金 通院日額
③ボランティア保険	ボランティア活動中に被った外来の事故によるケガに対する補償 ※社会福祉協議会の「ボランティア保険」に加入 ※天災プランで加入し地震・噴火・津波によるケガも補償	死亡保険金 入院日額 通院日額 賠償責任補償
④行催事参加者保険	行催事参加者や関係者のうち、労災保険対象外者のケガに対する補償 ※市民参加者、ワークショップ・体験イベント関係者などが対象	死亡保険金 入院日額 通院日額

3 会場サービス

(1) 未来の杜せんだい情報センター

各種媒体による仙台フェアの広報展開等とあわせ、令和5年4月21日(金)より電話対応窓口となる情報センターを開設。情報センターでは毎日、イベントの開催予定や開花状況等を集約した情報共有シートを作成し、スタッフやボランティアと共有。来場者へのきめ細かなサービス提供や円滑な運営を実施した。閉幕後のフォローや遺失物等問合せに対応するため、設置期間は令和5年6月20日(火)までの計61日間とした。

また場内放送について、定時の案内や緊急的な対応(迷子関係・熱中症に関する注意喚起等)を情報センター内に設置した放送設備より随時実施した。

問合せ総数: 2,120件

- 件数上位 ①交通・アクセス: 363件 ②メイン会場概要: 355件 ③催事: 333件
- ④バリアフリー等: 255件 ⑤団体問合せ(旅行業者等): 207件



未来の杜せんだい情報センター内

(2) 来場者案内所

来場者からの問合せ対応や各種サービスの提供を行った。総合案内所では、観光情報発信のため宮城県内市町村を中心とする観光パンフレットを配架した。また、スーツケースを持参された来場者でも安心して利用できるリターン式コインロッカーを設置した。



総合案内所



もりの案内所



西公園案内所

(3) 障害者等対応

障害者や高齢者のほか移動に配慮が必要な方を対象に、物品協賛いただいた車いす40台を配置。多くの来場者が利用した。(車いす貸出件数: 529件)

(4) 迷子・迷い人対応

会場内で迷子が発生した際に安全に保護し保護者に引渡すため、総合案内所に迷子センターを設置。迷子発生時には、全スタッフへ情報を共有し、連携・対応を行った。(迷子保護: 4件、捜索: 1件、県警引継ぎ: 0件)



迷子対応

(5) 外国人対応

外国語での対応が必要な方について、英語版の会場案内マップを配布したほか、通訳可能なスタッフやボランティアが直接対応。そのほか、多くの来場者が集まる仙臺緑彩館や芝生のイベント広場を中心にフリーWi-Fiを整備した。

(6) 拾得物・遺失物対策

総合案内所に設置した落とし物センターにて会場内の拾得物情報を一括管理。情報センターと共有することにより円滑な問合せ対応を行った。(拾得物: 685件、遺失届: 51件、返還: 11件)

(7) ベビーカーサービス

総合案内所である仙臺緑彩館ならびに西公園南側地区の休憩テント内に授乳室を設置し、多くの来場者が利用した。また、子どもの年齢に応じたサイズの異なるベビーカー2種類合計30台を配置。子ども連れの来場者が気軽にメイン会場を楽しめるよう配慮した。(ベビーカー貸出件数: 201件)

(8) ペット対応

来場者がペットと共に会場を楽しめるよう青葉山公園追廻地区の花壇や芝生以外を進入可能とし、エリアごとにペット進入の可否を示したサインを設置。また、写真撮影スポットや休憩スポットにはリードをつなぐためのドッグアンカーを設置した。



進入禁止サイン



ドッグアンカー

第13章 交通輸送

1 基本的な考え方・方針

- 仙台フェアの全会場において、公共交通機関での来場を交通輸送の基本とした。またメイン会場では、仙台市地下鉄東西線沿線に位置している利便性を最大限活かすため、地下鉄東西線での来場促進を図るとともに、周辺的生活環境への配慮のため、一般駐車場は設けないこととした。
- 特に、主要駅である JR 仙台駅から地下鉄東西線への誘導、最寄り駅への確実な案内、最寄り駅からメイン会場までのスムーズな徒歩導線確保を重視するとともに、自家用車での来場を可能な限り抑制し、メイン会場周辺の確実な渋滞防止対策を講じることを主な方針とした。
- これらのスタッフ・警備員に加え、各種駐車場や車両入口、タクシー乗降場などに必要な人員配置として、平日、休日、ゴールデンウィークの3体制で計画した。また、メイン会場内に交通輸送本部および警備本部を設置し、スタッフや警備員への指示の統括および状況に応じた柔軟な運用変更を行うことで、円滑な運営に努めた。

2 メイン会場アクセス

(1) 仙台市地下鉄東西線

メイン会場来場者の多くが利用すると見込まれたため、仙台市交通局との協議により、フェア期間中の土日祝日に地下鉄東西線の増便が実施された。また、JR 仙台駅構内ではスタッフ配置と床貼り案内サイン、仙台駅ペDESTリアンデッキや地下鉄仙台駅では東西線へ向かうルートに多数の案内サインを掲出するなど、スムーズな誘導となるよう努めた。



(2) 障害者等駐車場

障害者、要介護者、妊産婦、車いす使用の方など、移動に配慮が必要な方を利用対象として運用した。フェア期間の途中では、障害の有無によらず杖の使用や車いす貸し出し希望の方なども対象にするなど、利用条件の緩和を行った。

(3) 団体バス

多くの団体バス受入れに備えるため、メイン会場内に整備したバス駐車場に加え、会場外の近隣に待機場を設けて回送方式でもできる運用とした。団体バスでの来場は原則事前申込み制として、令和5年2月28日(火)より公式ホームページで予約受付を開始した。なお、当日の空き状況に応じて無予約バスの受入れも行った。

(4) 自転車・バイク

メイン会場内に各駐輪場を整備した。自転車での来場者は入口まで誘導した後、会場内の駐輪場までは安全のため押し歩きを案内した。また、仙台コミュニティサイクル「DATE BIKE(ダテバイク)」の仮設ポートを設置した。

(5) 無料連絡タクシー・一般タクシー

来場者の移動における利便性向上のため、メイン会場間の移動と最寄り駅の国際センター駅までを無料で結ぶ連絡タクシー(乗客最大9人)2台を運行した。運行日は来場者の多い土日祝日とし、乗車人数の合計は延べ3,720人であった。

また、会場内にタクシー乗降場および待機場を整備し、来場者を案内するとともに、乗降場以外の会場周辺での乗降防止に努めた。



(9) 会場巡回

会場内をスタッフが巡回し、来場者に対してきめ細かなサービス(シャッターサービス、来場者からの問合せ、障害者対応、案内誘導等)の提供や会場内の情報収集(迷子、拾得物・遺失物、傷病者、会場内美化)を実施。熱中症の恐れがある場合にはスタッフによる声かけや、情報センターと連携した注意アナウンスを行うなど臨機対応を行った。また、催事等による混雑の発生時には、会場警備と連携し来場者の安全な誘導等を実施した。

4 ボランティア

(1) 概要

市民をはじめ、多くの方が主役として仙台フェアに参加できるよう会場ボランティアを募集した。

会場内に設置したボランティアセンターにスタッフを配置し、参加者の意欲的な活動や参加者同士の交流をサポートする体制を整えた。また、熱中症対策として物品協賛いただいたウォーターサーバーを設置したほか、気温が高いと予想される日は活動開始前にスポーツドリンクやお茶、塩分タブレットを配布するなど十分な対策を講じた。

フェア最終日に実施した来場者のお見送りでは、65名のボランティアが参加した。

ボランティア活動の内容および実際の参加人数は以下のとおり。(自己都合による不参加等を除いた実数)

活動内容・時間	参加人数(名)	
	人数	延べ人数
A. ボランティアセンター運営補助(9:30~16:00) ・ボランティアの当日受付 ・活動記録の撮影・作成等 ・他活動のフォロー	30	90
B. 会場サービス(10:00~16:00) ・来場者のお出迎え、会場案内 ・案内所、貸出所、エコステーション運営のサポート ・巡回写真撮影サービス	233	828
C. 植物管理(10:00~14:00) ・会場内植物の維持管理(花から摘み、除草等) ※雨天時はテント内で活動	243	711
合計	506	1,629



ボランティアセンター



活動前の朝礼

(2) 募集経過

募集は令和4年10月17日(月)~令和5年2月28日(火)までの135日間実施した。

幅広い世代から申込を募るため、募集チラシは仙台市役所本庁舎、各区役所、各地区市民センターのほか、仙台市市民活動サポートセンターや社会福祉法人仙台市社会福祉協議会(仙台市ボランティアセンター)の協力を得るなどにより各所に配架し、県内公立・私立高等学校や高等専門学校、県内外大学に送付した。そのほか、仙台市政だより(令和4年10月号)、地元紙夕刊(令和4年11月7日(月))等に募集案内を掲載した。申込は郵送・ファックスのほか、公式ホームページからの電子申請でも受け付けた。その結果、募集人数450名に対し531名の申込があり、ボランティア経験の有無に関わらず植物が好きな方や学生など、幅広い世代からの応募があった。

(3) ボランティア説明会・現地見学会

各活動の内容確認やおもてなし力向上のため、フェア開幕1カ月前にボランティア説明会を実施した。

また、現地を実際に確認し、自身の活動を具体的にイメージできるように、フェア開幕2週間前に現地見学会を実施した。

ボランティア説明会	3/22(水)、3/26(日)、3/29(水) (午前・午後各1回、3/29(水)は午前のみ)	計5回	計456名参加
現地見学会	4/14(金)、4/15(土) (いずれも午前・午後各1回)	計4回	計346名参加

第14章 観客誘致

1 基本的な考え方

- 目標来場者数 100 万人の達成に向けて、誘客ターゲット (P86 参照) を明確に設定した上で効率的な方策を展開する。
- 次世代を担う児童生徒の来場促進を図るため、旅行会社や小中学校などの関係機関との連携により取組みを進める。
- 仙台フェアの開催を地域活性化および交流人口拡大につなげるため、来場者の周遊促進を図るとともに、周辺自治体への送客にも資する方策を実施する。

2 具体的な取組み

(1) 首都圏・隣県発の旅行商品造成・販売

メイン会場である青葉山公園追廻地区への訪問を行程に組み込んだ旅行商品を、旅行会社への業務委託により造成・販売した。

出発地	行程	催行回数	延べ参加者数	販売開始時期	取扱旅行会社名
東京・大宮	【1日目】塩竈、松島、作並(泊) 【2日目】青葉山公園、仙台うみの杜水族館	11回	394名	令和5年1月	クラブツーリズム(株)
盛岡・花巻・北上・水沢・一関	泉ポタニカルガーデン、仙台ロイヤルパークホテル、青葉山公園(日帰り)	4回	133名	令和5年3月	(株)みちのりトラベル東北
山形	青葉山公園、松島(日帰り)	4回	103名	令和5年2月	山交観光(株)
福島・二本松・本宮・郡山・須賀川・白河・いわき・鹿島・相馬	青葉山公園、松島、富谷市(日帰り)	7回	181名	令和5年2月	福島交通観光(株)
新白河・郡山・福島	松島、青葉山公園(日帰り)	2回	68名	令和5年3月	(株)阪急交通社

(2) Web の活用による広域プロモーションの実施

① 「せんだい旅日和」における仙台フェア特集ページの制作

仙台市への旅行に関心がある市外在住者に対して、会場の見どころや主なイベントなど、仙台フェア関連情報を発信することを目的として、公益財団法人仙台観光国際協会が管理・運営する仙台観光情報サイト「せんだい旅日和」内にフェア特集ページを設置した(公開期間: 令和5年3月17日(金)～6月18日(日))。

② Web 広告の配信

市外からの観光客の来場促進を主な目的として、誘客ターゲットの属性ごとに効率的なアプローチが可能な Web 広告の活用によるプロモーションを展開した。

(ア) ディスプレイ広告

媒体名	広告配信期間	インプレッション数	クリック数	配信条件等
Google ディスプレイネットワーク	3/24(金)～6/18(日)	3,707,785	27,409	【配信対象】 直近3週間以内に旅行情報サイト「4travel」の宮城県関連ページを閲覧した以下の都県の居住者 居住地: 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県 【誘導先のWebサイト】 「せんだい旅日和」内仙台フェア特集ページ
Yahoo! ディスプレイアドネットワーク	5/2(火)～6/17(土)	29,817,381	97,129	【配信対象】 以下の県の居住者 居住地: 宮城県・山形県・福島県 【誘導先のWebサイト】 公式ホームページ

※当初、ディスプレイ広告は「Google ディスプレイネットワーク」のみ出稿する予定だったが、宮城県内居住者の集客強化のため、5月2日(火)から「Yahoo! ディスプレイアドネットワーク」への出稿を開始した
※「Yahoo! ディスプレイアドネットワーク」の配信開始時における配信対象は宮城県内居住者のみだったが、隣県からの誘客促進のため、5月22日(月)より山形県と福島県を配信地域に追加した

(イ) 純広告

若年層(特に女性)からの支持が厚いとされる旅行情報サイト「RETRIP」内の宮城県関連記事の掲載ページにバナー広告を出稿し、「せんだい旅日和」内仙台フェア特集ページへの誘導策を展開した。

広告配信期間	インプレッション数	クリック数
3/24(金)～6/18(日)	620,004	1,687

(6) 仙台城跡シャトルバス

仙台市観光課との連携事業により、メイン会場と仙台城本丸跡を結ぶシャトルバスが、ゴールデンウィーク期間の4月29日(祝)～5月7日(日)の毎日と、5月13日(土)～6月18日(日)の土日に運行された。乗車人数の合計は延べ36,960人であった。

(7) 徒歩

最寄り駅からメイン会場までの徒歩導線は、誘導スタッフや案内サインにより、スムーズにアクセスできるよう積極的に案内した。また、中心市街地(青葉通など)からメイン会場までのルートにも案内サインを多数設置し、徒歩での来場を促した。

3 交通対策

(1) 交通規制

メイン会場周辺の渋滞抑制ならびに関係者車両の円滑な運用、来場者の安全確保を図るため、青葉山公園追廻地区へ向かう道路について、宮城県警察との協議により交通規制が実施された。

また、通行止め道路の先にあるテニスコートでは、例年同時期に数多くのソフトテニス大会が行われていたが、大会主催者との調整により、仙台フェア期間中はすべて別地区で開催していただくこととなった。



(2) 渋滞対策

フェア期間前から仙台市内中心部に看板や横断幕などの交通サインを設置し、メイン会場に一般駐車場がないことを周知したほか、国道沿いに設置されている道路情報表示装置を活用した混雑回避案内を行った。

フェア期間中は、周辺で交通量の多い交差点をスタッフが巡回するほか、隣接する仙台国際センターや周辺施設の催事情報を把握し、交通量が増加した際はプラカードなどで迂回や直進誘導を行い、混雑緩和に努めた。また、最寄り駅近くにあるせんだい青葉山交流広場(駐車場)への右折進入車線を封鎖し、右折入庫待ち車両の混雑抑止を図った。

(3) 来場者の安全な誘導

メイン会場に直結する横断歩道では、警備員による安全な横断誘導を行った。また、横断歩道以外での乱横断防止のため、歩道上にフェンスを設置するとともに、スタッフ・警備員の呼びかけにより、来場者の安全確保に努めた。

4 来場者に向けた広報

(1) 公式ホームページ・SNS

公式ホームページでは、メイン会場までのアクセス情報を充実させたほか、仙台市地下鉄東西線や最寄り駅へのわかりやすい案内とするため、Web マップを作成し公開した。SNS では、交通規制内容の固定表示や、地下鉄東西線の利用促進案内など、適時かつリアルタイムに必要な情報を発信した。

(2) 広報ツールの活用

ガイドブックや会場案内マップなどのほか、テレビ・ラジオ・新聞広告によるアクセス情報の発信を行った。また、宮城県内外の駅・施設など広域に掲出したポスターや仙台市政だより、仙台市長定例記者会見などにて、公共交通機関の利用促進を呼びかけた。

(3) 学校等と連携した来場促進

① 校外学習の誘致活動

実施時期	内容
令和4年	6月 仙台市内中学校を対象とした仙台フェア開催案内資料の配布 (みやぎ教育旅行等コーディネート支援センターのご協力による)
	8月 宮城県小学校長会理事会におけるプレゼンテーションの実施
	11月 仙台市私立幼稚園連合会を対象とした仙台フェア開催案内資料の配布
令和5年	12月 仙台市小学校長会におけるプレゼンテーションの実施 ・宮城県内公立小学校(仙台市除く)を対象とした仙台フェア開催案内資料の配布
	2月 仙台市立学校合同校長会におけるプレゼンテーションの実施
	3月 仙台市私立幼稚園 PTA 会報 3月号」における仙台フェア開催案内記事の掲載 ・「仙台市立幼稚園通信 vol.118」における仙台フェア開催案内記事の掲載
4月 仙台市立学校合同校長会におけるプレゼンテーションの実施	

② 宮城県外の学校が実施する教育旅行の誘致活動

旅行会社が有する学校とのつながりを活用しながら、仙台フェアへ来場するバスに対して、1台あたり3万円を補助するインセンティブ(1校当たり最大5台まで)を設定した上で、県外学校の教育旅行誘致を実施した。

● 実行委員会の誘致活動によりメイン会場に来場した県外の学校

学校名	来場日	来場バス台数
福島市立信陵中学校	4/26(休)	5
二本松市立東和中学校	4/27(休)	1
郡山市立郡山第三中学校	5/11(休)	5
郡山市立郡山第四中学校	5/11(休)	3
郡山市立郡山第七中学校	5/12(金)	7
須賀川市立第二中学校	5/19(金)	6

(4) フェア来場者の周遊促進

① 東部エリア周遊ツアー「仙台市東部エリアの復興と賑わいに触れる旅」の造成・販売

- フェア来場者の市内周遊促進と、東部エリアへの交通アクセスの補完を目的として、東部エリア会場の各施設や市沿岸部の観光施設等を周遊する半日程度のバスツアー「仙台市東部エリアの復興と賑わいに触れる旅」を旅行会社への業務委託により造成・販売した。
- 「学ぶ!」「感じる!」「味わう!」のテーマのもと三つのコースを設定し、令和5年3月29日(水)より販売を開始した。

コース名	行程	催行回数	延べ参加者数
震災を学び植樹を体験できる旅	仙台駅=震災遺構仙台市立荒浜小学校=海岸公園センターハウス=JRフルーツパーク仙台あらはま=高砂中央公園=仙台駅=青葉山公園	4回	18名
関上港の賑わいと花みどりの華やきを感じる旅	仙台駅=ゆりあげ港朝市=海岸公園(馬術場・冒険広場)=せんだい農業園芸センター みどりの杜=仙台駅=青葉山公園	4回	47名
彩り豊かなアクアイグニスお食事とカーネーション摘み取り体験	仙台駅=菅井園芸=震災遺構仙台市立荒浜小学校=アクアイグニス仙台=仙台駅=青葉山公園	4回	37名



② 「未来の杜せんだい 2023 デジタルスタンプラリー」の開催

- 仙台フェアの各会場間における来場者の回遊を促進するとともに、フェアの開催を地域活性化および仙台・東北の交流人口拡大へとつなげることを目的として、「未来の杜せんだい 2023 デジタルスタンプラリー」を開催した。
- フェアの全会場をはじめ、市内外の観光施設等40カ所をスタンプスポットとして設定し、獲得したスタンプ数に応じて賞品の抽選に応募できる企画とした。
- スタンプラリーのシステムとしては、利便性等に配慮して、アプリをダウンロードすることなくスマートフォンのブラウザから参加できる「プラチナラリー」を採用し、1,187名の参加者を集めた。

● スタンプスポット

青葉山公園追廻地区 (メイン会場)	西公園南側地区 (メイン会場)	仙台駅西口ペDESTリアンデッキ (まちなかエリア会場)	定禅寺通 (まちなかエリア会場)	青葉通 (まちなかエリア会場)
宮城野通 (まちなかエリア会場)	せんだい農業園芸センター みどりの杜 (東部エリア会場)	せんだい3.11メモリアル交流館・荒井駅 (東部エリア会場)	震災遺構仙台市立荒浜小学校 (東部エリア会場)	海岸公園(冒険広場・馬術場) (東部エリア会場)
高砂中央公園 (東部エリア会場)	東北大学 学術資源研究公開センター 植物園 (連携会場)	七北田公園 (連携会場)	仙台市野草園 (連携会場)	八木山動物公園フジサキの杜 (連携会場)
仙台市中心部商店街	アクアイグニス仙台 (市内商業施設)	JRフルーツパーク仙台あらはま (市内観光施設)	榴岡公園 (市内みどり関連施設)	太白山自然観察の森 (市内みどり関連施設)
秋保大滝植物園 (市内みどり関連施設)	青葉の森緑地 (市内みどり関連施設)	水の森公園キャンプ場 (市内みどり関連施設)	仙台北緑・青葉城資料展示館 (市内観光施設)	瑞鳳殿 (市内観光施設)
大崎八幡宮 (市内観光施設)	秋保・里センター (市内観光施設)	秋保ヴィレッジ (市内観光施設)	湯のまち作並観光交流館ラサント (市内観光施設)	気仙沼「海の市」 (県内観光施設)
かわまちてらす 関上 (県内観光施設)	国営みちのく杜の湖畔公園 (県内みどり関連施設)	やくらいガーデン (県内観光施設)	南三陸観光インフォメーション (県内観光施設)	松島観光協会V案内所 (県内観光施設)
石巻南浜津波復興祈念公園 (県内復興関連施設)	いわて・盛岡広域観光センター (県外観光施設)	平泉観光案内所 (県外観光施設)	山形駅観光案内所 (県外観光施設)	福島市観光案内所 (県外観光施設)

● 賞品

賞品名	内容	応募条件	応募数	当選者数
コンプリート賞	旅行券5万円	スタンプスポット全40カ所クリアで応募可能	52	3名
A賞	旅行券2万円	スタンプスポット全40カ所の中から20スタンプ獲得で応募可能	248	20名
B賞	仙台の名産品5,000円相当	・未来の杜せんだい2023会場スタンプスポット全15カ所の中から10スタンプ獲得で応募可能 ・スタンプスポット全40カ所の中から15スタンプ獲得で応募可能	578	30名
C賞	マスコットキャラクター「フォレッピー」グッズ	未来の杜せんだい2023会場スタンプスポット全15カ所の中から5スタンプ獲得で応募可能	449	70名

(5) 市内連携による観客誘致

① 「東北の観光案内所のネットワーク化事業」との連携によるプロモーション

仙台市東北連携推進室が所管する「東北の観光案内所のネットワーク化事業」の協力により、事業に参画する東北地方34都市42カ所の観光案内所に対して、各所に設置されているデジタルサイネージにおいて仙台フェアのCMを放映するよう依頼した。

また、フェア期間中、仙臺緑彩館内にて当該事業の参加自治体の観光パンフレット等を配架した。

② インバウンド向けプロモーション

仙台市誘客戦略推進課が所管するインバウンド向けWebサイト「Discover SENDAI」および外国人観光客向けFacebookページにフェアの開催情報を掲載した。

また、同課が参加した旅行関連イベント(タイ「仙台・東北観光セミナー(令和4年10月26日(水))」、台湾「大台南国際旅行博(令和4年11月18日(金)~21日(月))」等)において、フェアのチラシを配布した。

③ 福岡・大阪でのチラシ配布

仙台市観光課が実施した仙台観光物産展(福岡市(令和4年10月28日(金)~30日(日))ららぽーと福岡、大阪市(令和5年3月14日(火)~16日(木))ディーズスクエア)において、フェアのチラシを配布した。

④ 「緑化フェア周遊バス」の販売

フェアの各会場をお得にまわることができる期間限定の一日乗車券「緑化フェア周遊バス」を仙台市交通局が販売した。

また、仙台市地下鉄荒井駅とせんだい農業園芸センター みどりの杜、震災遺構仙台市立荒浜小学校を結ぶ仙台市営バスの路線がフェアの開催にあわせて増便された。

【緑化フェア周遊バスの概要】
・対象路線：仙台市地下鉄全線、仙台市営バス 荒井駅~農業園芸センター前~震災遺構仙台市立荒浜小学校前
・販売価格：平日券(大人)1,000円、土・日・休日券(大人)800円
大人1名につき小児(小学生以下)5名まで無料

⑤ 「仙台 MaaS」におけるデジタルマップの実装

仙台市プロジェクト推進課との連携のもと、目的地までのルート検索やチケット購入までスマートフォンで完結できる「仙台 MaaS」に、フェア会場や市中心部の駐車場等を掲載したデジタルマップを実装した。

第15章 広報宣伝

1 基本的な考え方

仙台フェア開幕前から開幕までのフェーズごとに、呼びかけるターゲット層や取り組み内容を定め、効果的な媒体を活用した広報を展開することとし、機運醸成や来場促進に取り組んだ。

フェーズ	主な取り組み
認知度拡大期（～令和4年9月）	公式ホームページ、SNS、ポスター等を中心とした仙台フェア開催の情報発信
期待感醸成期（令和4年10月～）	大規模イベント等でのPRキャンペーン実施
来場促進期（令和5年2月～）	交通広告やテレビCM等を活用した集中的な広報展開
フェア開催期（令和5年4月～）	各会場の様子等の情報発信

2 具体的な取り組み

(1) 紙面における広報

①ポスター・チラシ

- 第1弾ポスター・チラシはロゴマークをコンセプトとしたデザインを基調とし、裏面にはメイン会場のパース図と各エリアのコンセプトを掲載した。
- 第2弾チラシでは各会場の見どころとあわせて、マスコットキャラクターフォレップを紹介した。
- 第2弾ポスターでは、マスコットキャラクターフォレップを前面に打ち出し、メイン会場の風景を模した背景にキャッチコピー「行こうよ！花と社のフェアへ！」を加えてイベントの内容を想起させるデザインとした。また、第3弾チラシは、第2弾ポスターのデザインをベースに、裏面には各会場の詳細なイベント情報を掲載した。

制作物	内容	主な配布・設置先
ポスター	[第1弾]3,000部(B2サイズ) 令和4年2月下旬～ [第2弾]1,280部(B1サイズ) 令和5年3月下旬～ 3,000部(B2サイズ) 令和5年3月下旬～	仙台市所管施設、市内小中学校、観光案内所、道の駅(東北圏内の一部)、造園・緑化団体等
チラシ	[第1弾]50,000部(A4サイズ) 令和4年2月下旬～ [第2弾]56,000部(A4サイズ) 令和4年10月上旬～ [第3弾]400,000部(A4サイズ) 令和5年3月下旬～	

②仙台市政だより

- 令和4年9月から複数回にわたりフェアの特集記事等を掲載した。
- 9～12月号は各会場の概要や市民とともに実施した会場づくりの様子などを中心に紹介した。
- 令和5年4月号では実施するイベントを中心に紹介し、基礎ターゲットだけではなくファミリー層や若年層といった戦略ターゲットの来場促進につながる内容とした。

発行時期・ページ数	内容	主な配布・設置先
令和4年9月号	特集記事「第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023の準備を進めています」(2ページ)	仙台市所管施設、市内各世帯
令和4年10～12月号	連載記事「仙台はじまりの地 青葉山エリアの未来の地図」(各1ページ)	
令和5年4月号	特集記事「いよいよ開幕！第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023」(巻頭カラー2ページ)	
令和5年6月号	表紙写真(メイン会場 大花壇「はなばた飾り」)	

③ガイドブック・会場案内マップ

- ガイドブックには各エリアの見どころや詳細な情報を掲載。制作にあたっては、入稿時期を開幕直前まで遅らせ、可能な限り完成した会場の写真や詳細なイベント情報を掲載し、臨場感を持たせる工夫をした。
- 会場案内マップは、片面をメイン会場の案内図に特化し、もう片面を交通アクセス入りのまち歩きマップ風に仕上げることで、各会場間の回遊促進を図った。

制作物	内容	主な配布・設置先
ガイドブック	300,000部(A4 16ページ)	各会場、仙台市所管施設、市内小中学校、観光案内所、協賛企業、各自治体(県内市町村、先後催フェア開催自治体)、市内宿泊施設等
会場案内マップ	[日本語版]500,000部(A3両面6つ折) [英語版]15,000部(同上)	

④新聞広告・フリーペーパー

- 特に基礎ターゲットの来場促進を図るため、仙台フェア開催直前から、メイン会場の写真を多く用いた広告を地元新聞紙やフリーペーパーに出稿した。
- 河北ウイークリーせんだい4月27日号ではゴールデンウィーク中の来場意欲の向上のため表紙を含め3ページの特集記事を掲載した。また、5月11日号ではフェア期間後半の来場者呼び込みに向けて紙面全8ページを独占し、期間後半にかけて実施するイベントや花の植替えについて掲載した。
- 隣県からの来場を促進するため、岩手県、山形県、福島県のフリーペーパーへ広告掲載を行った。

制作物	内容
新聞広告	河北新報朝刊全五段広告：4/15、4/25、5/26、6/14
フリーペーパー等	[県内] ・河北ウイークリーせんだい：4/27(表紙および特集記事2ページ、広告1ページ)、5/11(全8ページ)、6/8(広告1ページ) ・リビング仙台：4/28 [隣県] ・いわにちリビングun：4/21 ・やまがたコミュニティ新聞：4/28 ・リビング福島・郡山：5/1

(2) 公式ホームページ・SNSにおける広報

令和4年3月18日(金)に公式ホームページおよびSNS公式アカウント(Twitter(現「X」)、Instagram、Facebook)を同時に開設。ホームページ上では、会場案内やイベント、開花情報のほか「よくある質問」ページを設け、交通アクセスや会場内サービスなど、来場者が知りたい情報を得ることができるよう工夫した。

イベントのページでは、各イベントの詳細ページおよびスケジュールを掲載し、実施するイベントが一覧でわかるようにした。また、「みんなでつくるフェア」ページを設け、これまでに実施した市民参加の会場づくりなど、仙台フェアならではの取り組みについても発信した。

SNSでは会場の花々やイベント情報のほか、当日の会場の様子など即時性を活かした投稿を行い、特に戦略ターゲットへの訴求を意識してフェアの盛り上がりや伝わるよう取り組んだ。

●公式ホームページのページビュー数等および各SNSのフォロワー数等(6月18日(日)時点)

区分	内容
公式ホームページ	ページビュー数 約223万回、セッション数 約70万回、ユーザー数 約43万人
SNS	[Twitter] フォロワー 1,506人、投稿数 322回 [Instagram] フォロワー 2,512人、投稿数 189回 [Facebook] フォロワー 379人、投稿数 185回



公式ホームページ「よくある質問」ページ



公式ホームページ イベントスケジュール

(3) ノベルティ等の活用

仙台フェア PR のためノベルティ等を制作し、花壇づくりや植樹のイベント等において配布した。

区分	内容	主な配布先
缶バッジ	[ロゴマーク]2,000 個 [フォレッピー(2種)]各 1,000 個	実行委員会委員・ボランティアスタッフ 花植イベント等参加者(子ども)等
シール(フォレッピー)	3,000 部(A6・10カット)	各種イベント参加者(子ども)
メモ帳(フォレッピー)	2,000 冊	開会式参加者・アンケート回答者・各種イベント 参加者・ボランティアスタッフ等
クリアファイル(フォレッピー)	[ダブルポケット]2,000 枚	
ボールペン(ロゴマーク)	[フリクションボールペン]2,000 本	閉会式参加者・ボランティアスタッフ等
トートバッグ(ロゴマーク)	1,000 個	
紙袋(フォレッピー)	2,000 枚	公式行事等参加者(資料配布)
花の種	[矢車草]10,000 袋 [ひまわり]3,000 袋	各種イベント参加者等
のぼり	110 枚	各会場(メイン会場除く)
法被	10 着	

(4) テレビ・ラジオ

テレビCMは第3弾チラシのデザインと連動し、フォレッピーが登場するアニメーションとした。当初、宮城県内のみで放映していたが、フェア期間後半は隣県からのさらなる来場促進のため、山形県においても放映を行った。さらに、見逃し無料配信動画サービス「TVer」においても岩手・宮城・山形・福島県内の利用者を対象に放映を実施した。

また、県内のテレビ・ラジオ局によるニュース番組や情報番組におけるパブリシティにより会場の賑わいを広く発信した。

区分	内容
CM	テレビ(宮城県内): 4/10～5/10、5/25～6/15 498本 テレビ(山形県内): 6/6～6/17 155本 仙台CATV: 4/10～6/18 900本 TVer(岩手・宮城・山形・福島県内): 4/10～5/10 267,859本 ラジオ(東北放送、エフエム仙台): 64本 ※BGMは4/10からの放映分は秩父英里氏作曲の「Kaeru2022」、5/25以降の放映分は公式テーマ曲「feel the green」を使用
地元メディアによるパブリシティ	東北放送「笑福!パンサー尾形のみやぎ新春・初売スペシャル!」:1/1 東日本放送「突撃!ナマイキTV」:4/26、5/8、5/31 東日本放送「チャージ!」:5/26 ミヤギテレビ「OH!パンドス」:4/26、5/1、6/8 東北放送「ひるまでウォッチン」:5/9 仙台放送「Live News イット!」:4/24 仙台放送「MiMiよりマーケット」:5/2 NHK仙台放送局「定禅寺しゃべり亭」:5/27 ミヤギテレビ「発見!宮城のスマイルさん」:5/28 岩手めんこいテレビ「8っぴーインフォ」:6/5 山形放送「あつがるタイム」:6/10 山形テレビ「ちゃおちゃおパラダイス」:6/10 テレビユー山形「お得情報ぴびたいむ」:6/15 仙台CATV「みんなのテレビ」:3/1～3/31 仙台CATV「『未来の杜せんたい2023-第40回全国都市緑化仙台フェア』」:5/15～6/17 仙台CATV「特別番組 生放送!未来の杜せんたい2023『第40回全国都市緑化仙台フェア』」:6/17 J:COM「LIVEニュース」:4/29 エフエム仙台4番組:4/26、5/12、5/26、6/8、6/9、6/16 TBCラジオ3番組:4/29、5/12、5/23、6/5、6/7

(5) 交通広告・屋外広告物

- ・主に仙台市民に対し、フェア開催を発信するため、仙台市地下鉄駅構内や車両におけるポスター掲出、車体ラッピング、まちなかエリア会場における街灯フラッグ設置等、日常的にフェアの情報が目に留まるような広報を行った。
- ・仙台市への来訪者向けに仙台国際空港におけるデジタルサイネージでの広報、JR仙台駅構内における階段アーチの設置等を実施した。
- ・観客誘致に向けた県外への広報としては、関西地方における空港でのデジタルサイネージ、高速バス、高速道路サービスエリアおよびパーキングエリアでの広報を展開し、フェアの認知度向上に努めた。
- ・屋外広告の一環として設置したデザインマンホールは、ロゴマークやフォレッピーなどを使用したデザインを実行委員会事務局職員らが制作。8カ所それぞれ異なるデザインとし、うち青葉山公園追廻地区内の2カ所については、フェア閉幕後も継続して設置している。

区分	内容
交通広告	[ポスター] 仙台市地下鉄各駅構内: 2/8～6/13 仙台市地下鉄南北線車両: 2/8～6/16 仙台市地下鉄東西線車両: 4/1～6/16 JR東日本管轄各駅: 4/1～5/31 宮城交通・ミヤコーバス車内: 2/19～6/18 宮交高速バスターミナル: R4.10月下旬～6/18 [デジタルサイネージ] 仙台市地下鉄東西線: 4/1～6/18 仙台市地下鉄仙台駅コンコースビジョン: 5/1～5/28 山形交通高速バス: 3/1～5/31 [バスシートポケット] 福島交通高速バス・JRバス東北(仙台・盛岡間): 4/3～5/31 [JR仙台駅構内広告] 駅構内階段アーチ: 4/15～5/14 Date Vision オプションパネル: 4/1～5/31 デジタルサイネージ: 3/20～5/31 [車両ラッピング等] 仙台市地下鉄東西線車体ラッピング(2編成): 2/3～6/16 仙台市地下鉄南北線車両ステッカー(3編成): 2/7～6/14 仙台市バス戸袋ステッカー(20台): 4/1～5/31 仙台市地下鉄南北線・東西線ホームドアステッカー(仙台駅): 4/5～6/18
空港広告	神戸空港デジタルサイネージ・TVモニター: 3/10～6/10 大阪国際空港電照コルトン・B1ポスター: 3/19～6/18 仙台国際空港デジタルサイネージ: 4/16～6/18
高速道路SA/PA広告	ポスター・チラシ・テーブルステッカー・壁面花壇によるPR: 4/24～6/18(壁面花壇のみ4/21～)
屋外広告物	仙台市役所本庁舎吊看板: R4.12/12～6/18 街灯フラッグ 仙台駅前ガス灯・宮城野通: 3/1～5/14、5/22～6/18 青葉通: 3/6～6/18 定禅寺通: 3/14～6/18 横断幕(JR仙台駅ペDESTリアンデッキ): R4.12/20～6/18 電力ビル壁面広告: 3/1～6/18 仙台市内各所デジタルサイネージ(仙台駅前・青葉通等): 4/1～6/18 デザインマンホール(市内8カ所): 3/30～

(6) 郵便局における広報

- ・日本郵便株式会社と仙台市により締結されている包括連携協定の一環で、同社より仙台フェアの広報についても協力を得た。
- ・フェア開催を記念し、仙台の花やみどりの名所をメインとしたオリジナルフレーム切手*（1シート63円切手×10枚、1,220円）を制作。
販売開始日の令和5年4月13日（木）には同社常務執行役員 東北支社長 小野木 喜恵子氏から郡和子仙台市長へ切手の贈呈式が行われた。



オリジナル フレーム切手贈呈式



オリジナル フレーム切手のデザイン

連携先	内容
仙台市内郵便局連携	オリジナル フレーム切手販売（市内各郵便局：4/13～、フェアメイン会場：4/26～5/7） ポスター掲出（市内各郵便局、日本郵便㈱ 東北支社）：R4.7～6/18 ポストステッカー掲出（市内22カ所）：開幕直前～6/18 プリンター設置によるおもてなしフラワーリングの協力（市内各郵便局、日本郵便㈱ 東北支社）：4月上旬～6/18
仙台中部郵便局長会	メイン会場における来場者誘導（6/18 仙台すずめ踊り総流し）

*「フレーム切手」は日本郵便株式会社の登録商標

3 カウントダウンボードお披露目・PR キャンペーン

(1) カウントダウンボードお披露目

仙台フェア開催に向けた機運醸成のためのカウントダウンボードを制作し、フェア開催1年前の令和4年4月26日（火）にJR 仙台駅東西自由通路「杜の陽だまりガレリア」にてお披露目のイベントを行った。

当日は、フェアPRのため奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊による花のプレゼントも行われた。イベント後、カウントダウンボードはJR 仙台駅西口ペDESTリアンデッキの花壇に設置された。

(2) PR キャンペーン

フェア開催を広く周知するため、市内外のイベント等に参加し、PRを実施。令和4年11月以降は、フォレップによるPRを開始。認知度向上のため、裏面にフェアの日程が記されたフォレップの名刺を配布した。

実施日	イベント名	場所
令和4年4月24日(日)	令和4年度新緑祭	勾当台公園市民広場
令和4年10月16日(日)	バス・ちか祭り	仙台市交通局荒井車両基地
令和4年10月24日(月)	都市緑化キャンペーン2022	日比谷公園（東京都千代田区）
令和4年10月29日(土)	第3回しばたオータムガーデンフェスタ	船岡城址公園（柴田町）
令和4年11月3日(金)	第15回秋の八木山フェスタ	八木山動物公園フジサキの社
	第34回青葉区民まつり	勾当台公園市民広場
令和4年11月5日(土)	第20回仙台ゴスペル・フェスティバル	元鍛冶丁公園
令和4年11月12日(土)	令和4年度せんたい収穫まつり	せんたい農業園芸センター みどりの社
令和4年11月13日(日)	第12回仙台リレーマラソン	弘進ゴム アスリートパーク仙台
令和4年11月27日(日)	植物感謝祭	仙台市野草園
令和4年12月17日(土)	仙台89ERS イエロープロジェクト	JR長町駅東口
令和5年1月8日(日)	令和5年 仙台市はたちの集い	カメイアリーナ仙台
令和5年1月27日(金)	仙台・未来創造フォーラム	KITTE（東京都千代田区）
令和5年3月4日(土)	仙台防災未来フォーラム2023	仙台国際センター展示棟
令和5年3月18日(土)	第13回ふるさとの杜再生プロジェクト植樹会	高砂中央公園
令和5年3月25日(土)	泉中央おもてなしガーデンプロジェクト	泉区役所
	ベガルタ仙台公式戦	ユアテックスタジアム仙台
令和5年4月19日(水)	みんなであちをきれいにしようキャンペーン	勾当台公園市民広場
令和5年4月21日(金)～23日(日)	花と緑のココロ博2023	夢メッセみやぎ

資料編



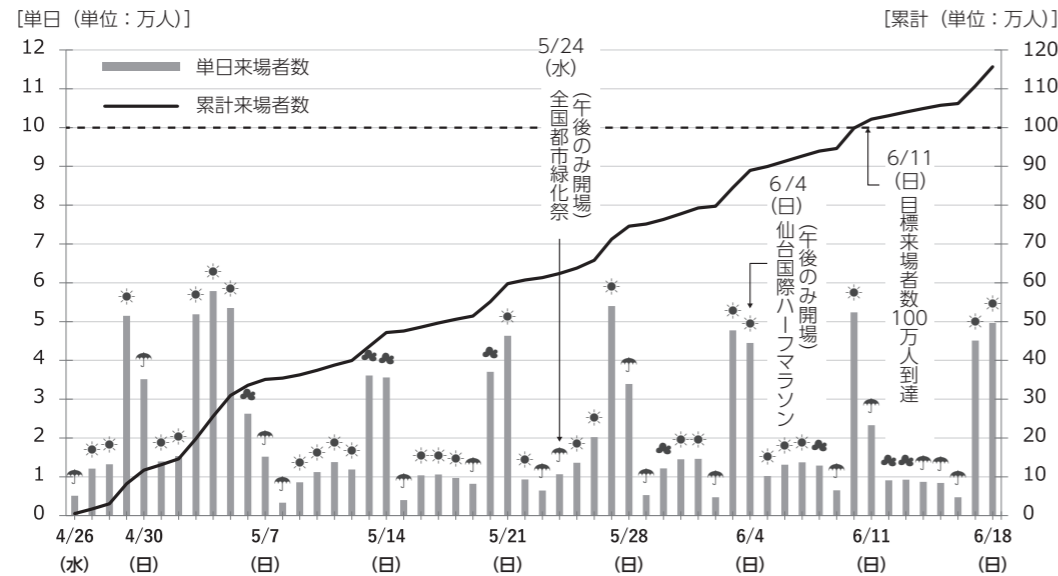
第1章 来場者数

4月26日(水)～6月18日(日)までの54日間の来場者数は 1,156,645 人であった。

●会場別の人数内訳と調査手法

会場	人数	調査手法
メイン会場	610,399 人	人流計測用 AI カメラを用いた計測
まちなかエリア会場	288,179 人	開催期間中に実施した交通量調査結果をもとに推計
東部エリア会場	258,067 人	施設管理者等の報告による
合計	1,156,645 人	

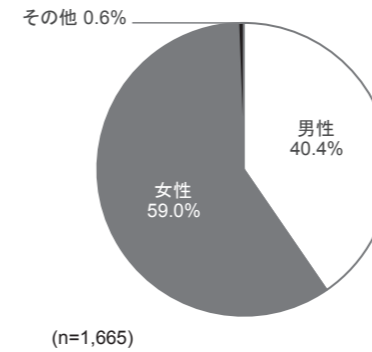
(参考) 来場者数の推移



2 アンケート調査結果

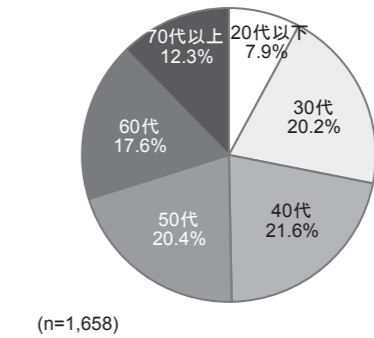
(1) 性別

女性の割合が高かったが、男性も4割を超えており、性別問わず多くの来場があった。



(2) 年代

30～60代のそれぞれの比率が2割前後と均衡しており、幅広い世代からの来場があったことが伺える。



(3) 年代 (会場別)

ほかの会場に比べ、「西公園南側地区」では30代、40代の比率がやや高く、「東部エリア会場」は30代の比率が37.9%と突出して高い。いずれもアスレチックや子ども向けのワークショップなど、家族で自然を楽しむことができるコンテンツを幅広く展開しており、子ども連れファミリー層が多く来場したことによると考えられる。

会場	n	年代					
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
メイン会場 (1,286)	8.3%	10.7%	21.6%	24.1%	20.3%	15.0%	
うち、青葉山公園追廻地区 (1,239)	8.3%	9.9%	20.9%	24.7%	20.8%	15.4%	
うち、西公園南側地区 (682)	8.7%	13.1%	24.7%	22.6%	18.1%	12.8%	
まちなかエリア会場 (618)	5.7%	9.6%	22.7%	26.1%	21.5%	14.4%	
東部エリア会場 (592)	6.3%	37.9%	21.3%	13.5%	12.1%	8.9%	

第2章 来場者アンケート

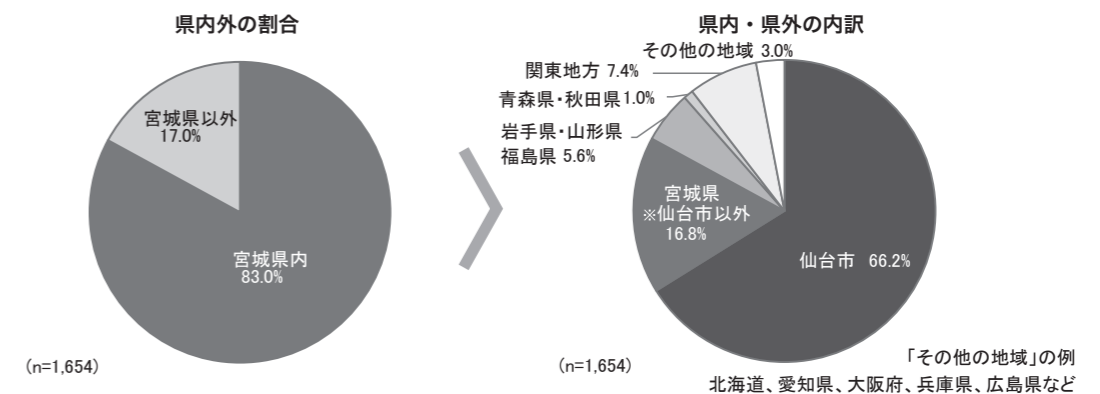
1 アンケート実施概要

メイン会場および東部エリア会場での対面の聞き取り調査に加え、スマートフォンユーザーを対象としたWeb調査を実施した。

実施方法	回答者数	実施場所	実施期間
聞き取り調査	834 人	メイン会場	5/3(祝)～6/4(日) 調査日数：16日(平日4日、休日12日)
		東部エリア会場	4/29(祝)～6/11(日) 調査日数：16日(平日1日、休日15日)
Web調査	831 人	Web公開	6/15(休)～6/25(日) 調査日数：11日
合計	1,665 人		

(4) 居住地

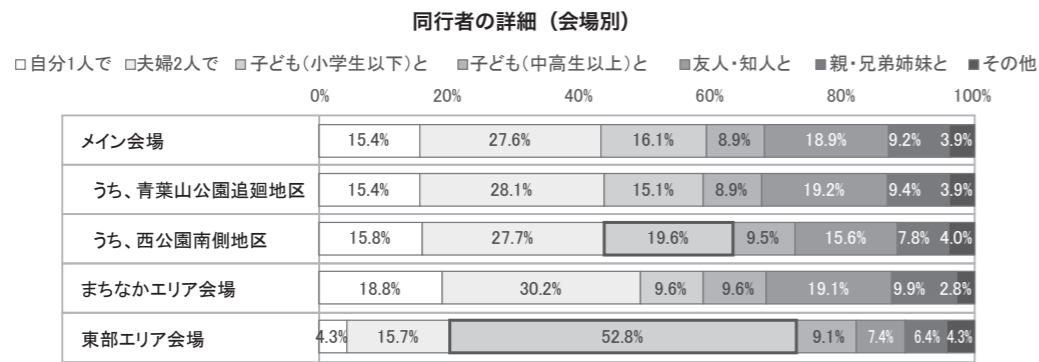
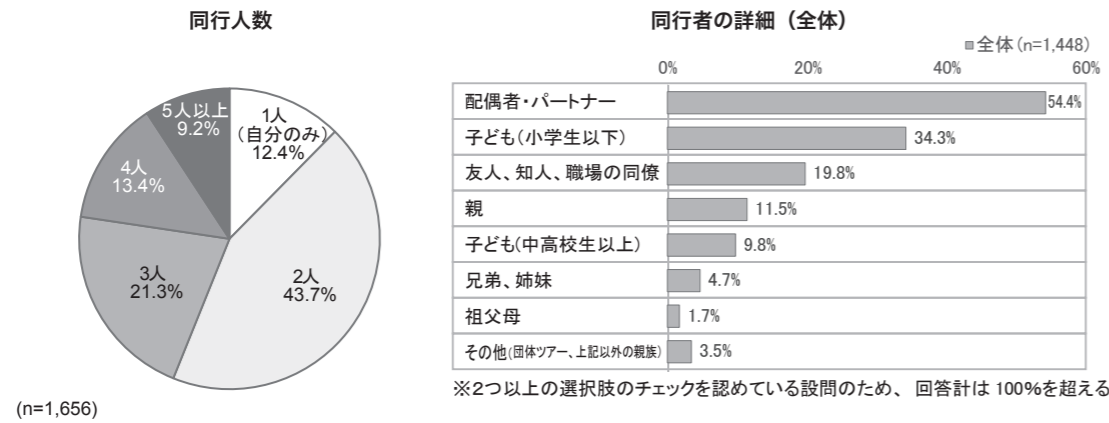
宮城県外からの来場は、17.0%となっており、関東地方7.4%、隣県(岩手県・山形県・福島県)5.6%が多くなっている。また、県内のうち仙台市以外からも16.8%の来場があった。市外からの来場者を一定程度獲得できた理由として、テレビCMや地元広報紙などのマスメディアの活用や交通事業者(JR・バス)と連携した交通広告により市外からの通勤・通学者や買い物客への訴求効果が現れているためと考えられる。





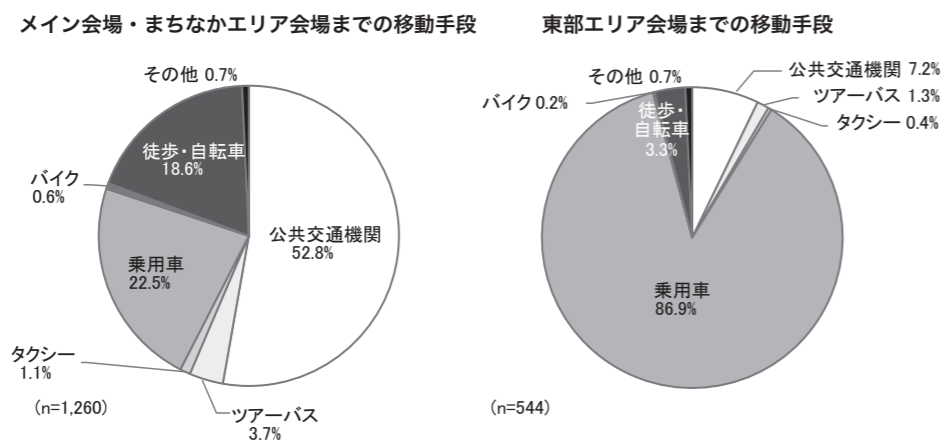
(5) 同行人数・同行者

同行人数は2人以上が9割近くを占めている。同行者は、「配偶者・パートナー」「子ども(小学生以下)」が多く、夫婦や子ども連れファミリー層の来場が多い。特に家族で自然を楽しめるコンテンツを幅広く展開した西公園南側地区と東部エリア会場では、「子ども(小学生以下)」の比率がそれぞれ19.6%、52.8%と高く、戦略ターゲットへの効果的なアプローチができたものと考えられる。



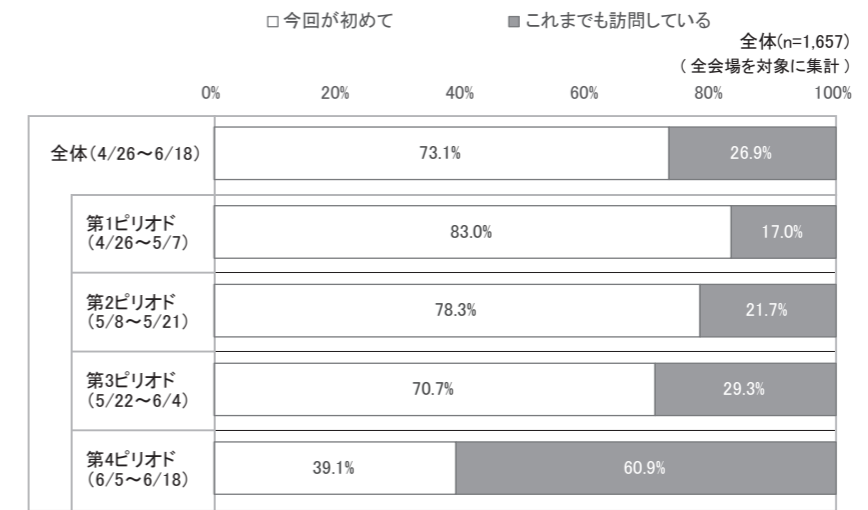
(6) 会場までの移動手段

メイン会場・まちなかエリア会場までの移動手段は、「公共交通機関」の割合が最も高く、公共交通機関の利用を呼びかけた成果が現れている。一方、東部エリア会場までの移動手段は、「乗用車」が突出して高い。その理由として、東部エリアの各会場には駐車場が整備されており、日常的に乗用車で移動が定着していることが背景にあると考えられる。



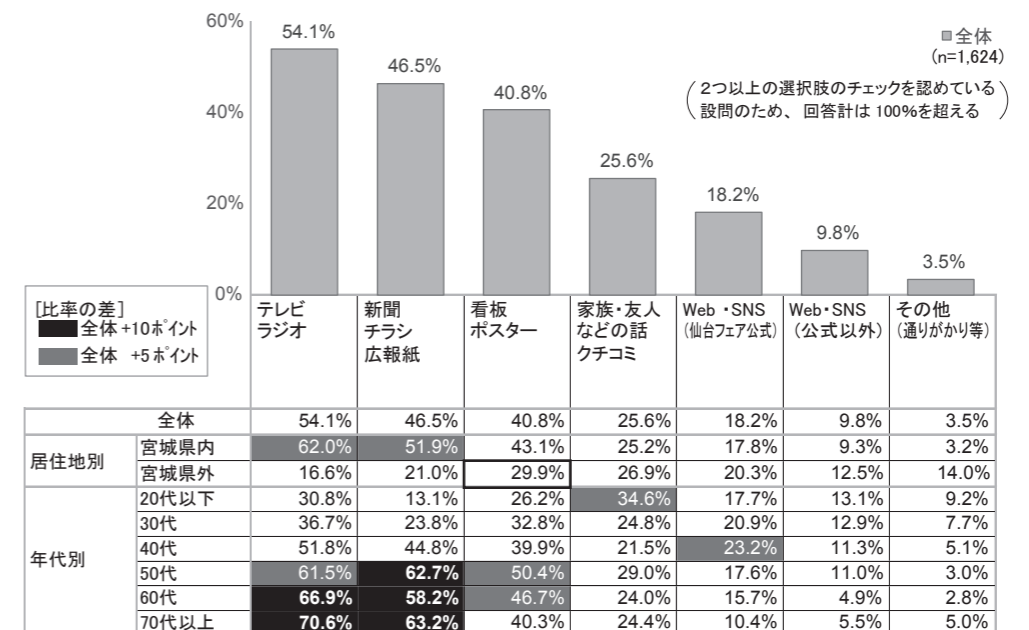
(7) リピート来場

仙台フェアの日程別にリピート来場を比較すると、第1ピリオドから第3ピリオドまではリピーター率が徐々に増加しており、第4ピリオドでは60.9%と突出した増加がみられた。大花壇「はなばた祭り」の花の植替えや、西公園南側地区のナイトパークなど、特に期間後半のフェアの見どころについて、期間を通じて周知できたことが、リピーター率の増加につながったものと考えられる。



(8) 仙台フェアの認知経路

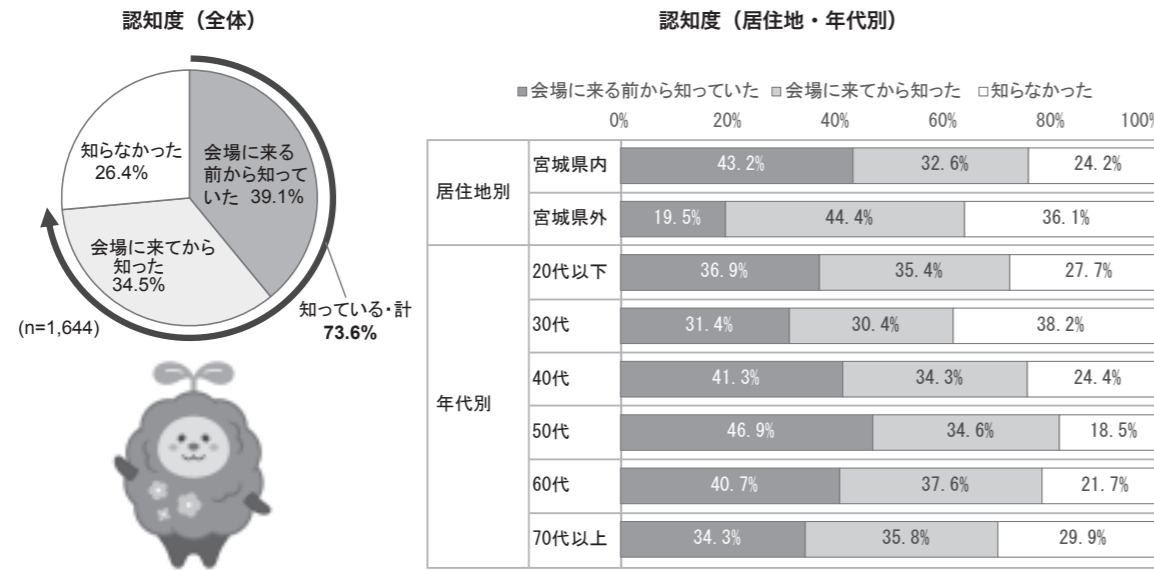
宮城県内および50代以上では、「テレビ・ラジオ」「新聞・チラシ・広報紙」などのメディア広告等を通じて仙台フェアの認知に至った層が多い。一方で20代以下では、「家族・友人などの話・クチコミ」が最も大きい割合となった。また県外来場者については、「看板・ポスター」の割合が29.9%と相対的に高く、JR東日本管内の駅およびNEXCO東日本管理のサービスエリア等にポスターを掲出するなど、県外向けのプロモーションの効果が現れていると考えられる。





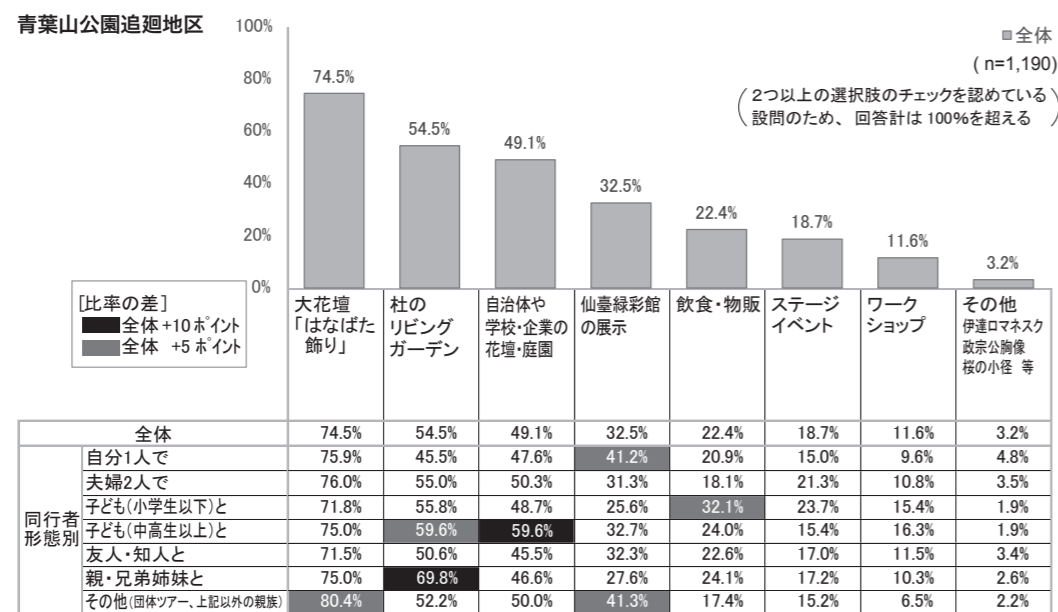
(9) マスコットキャラクター フォレッピーの認知度

フォレッピーを「知っている」割合は73.6%で、うち「会場に来る前から知っていた」が39.1%であり、「会場に来てから知った」の34.5%を4.6ポイント上回った。仙台フェア開催前のPRキャンペーンや広報媒体へのフォレッピーの活用が、広報プロモーションの手法として効果的であったと考えられる。



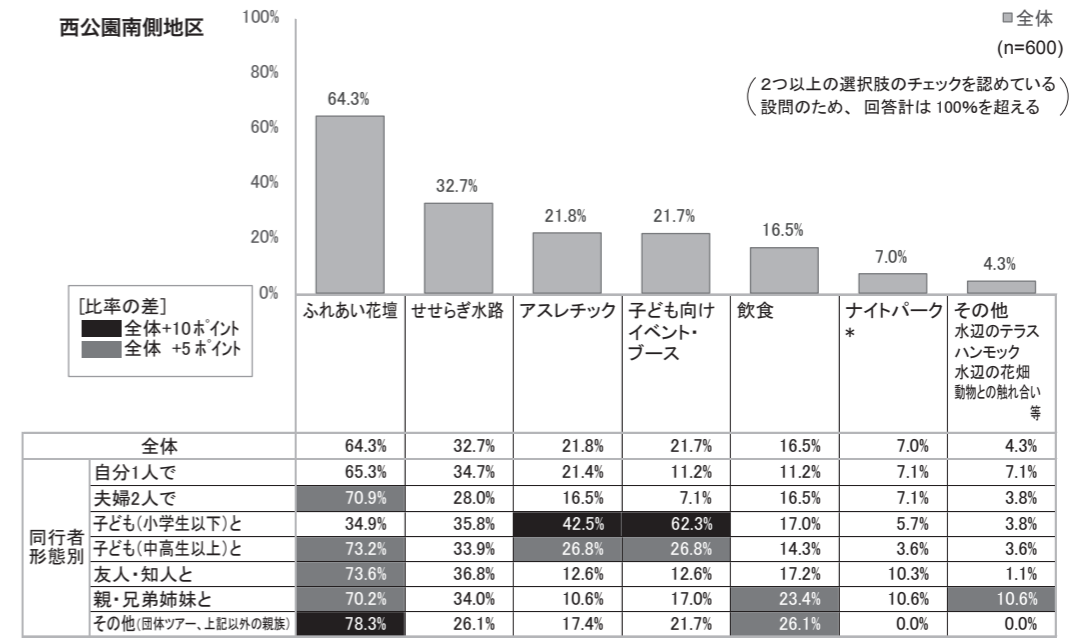
(10) メイン会場 (青葉山公園追廻地区) のコンテンツ評価

仙台フェアの見どころとして整備した大花壇「はなばた飾り」やテーマ庭園「杜のリビングガーデン」に人気が集まった。一方で「仙臺緑彩館の展示」(花やみどりにちなんだ市民活動団体による作品等)には1人で来場した層から支持が集まった。また「飲食・物販」は、子ども(小学生以下)と来場した層からの支持が高く、飲食店舗の多彩なメニューや仙台フェア公式グッズ販売等が、子ども連れファミリー層から人気を集めた要因と考えられる。



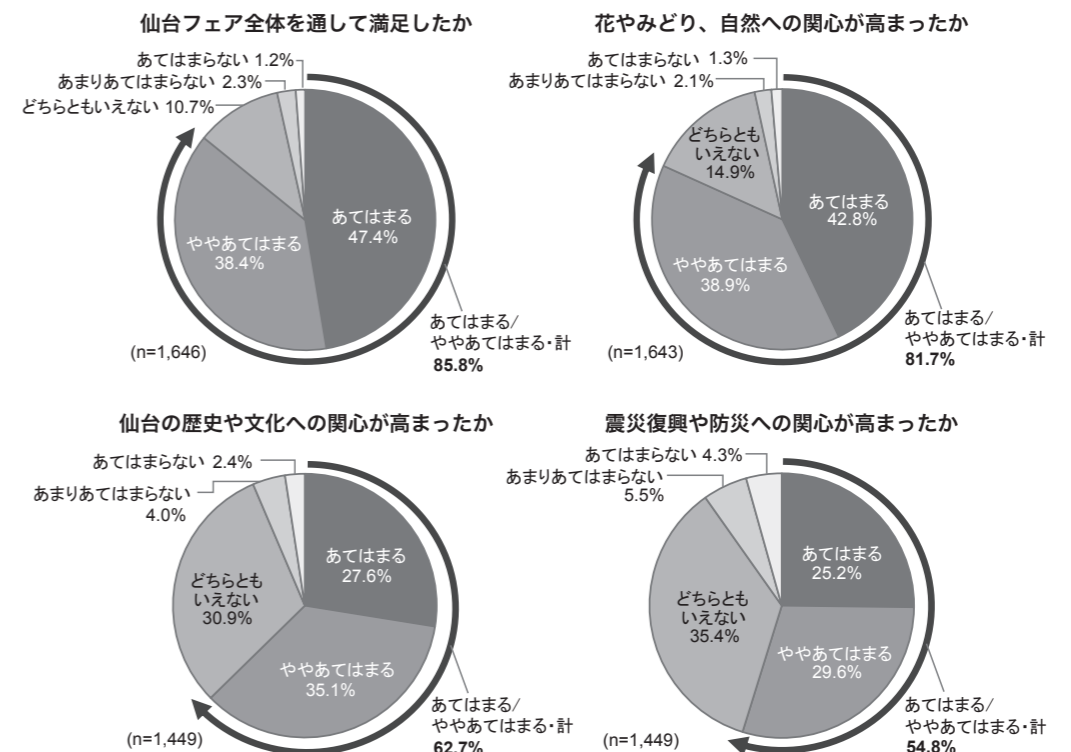
(11) メイン会場 (西公園南側地区・広瀬川地区) のコンテンツ評価

西公園南側地区・広瀬川地区では、「ふれあい花壇」の人气が最も高く、続いて親水エリアの「せせらぎ水路」の人气が高かった。同行者の形態別に満足したコンテンツをみると、「子ども向けイベント・ブース」と「アスレチック」が全体と比較して子ども(小学生以下)と来場した層から高い支持を得ており、戦略ターゲットである子ども連れファミリー層から人気を集めたことがわかる。



(12) 仙台フェアの総合評価

回答者のほとんどが仙台フェアに対し満足し、都市緑化意識の高揚につながる結果となった。





第4章 実行委員会

1 実行委員会名簿（令和5年4月26日時点）

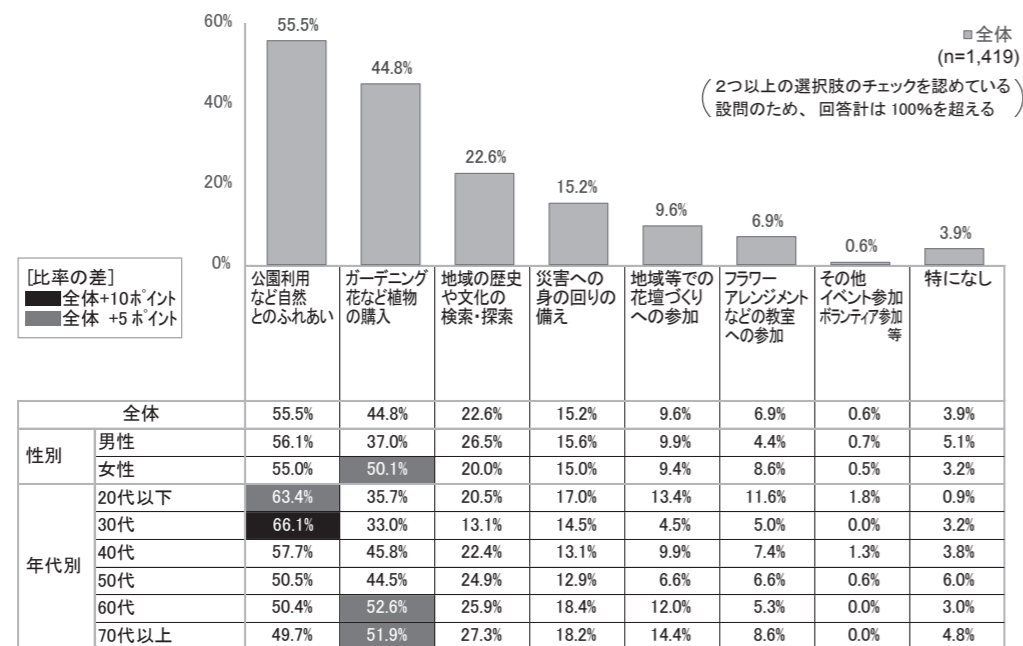
役職	所属団体・職名（順不同）	氏名（敬称略）
名誉顧問	国土交通大臣	齊藤 鉄夫
顧問	国土交通省都市局長	天河 宏文
	国土交通省東北地方整備局長	山本 巧
	国土交通省東北運輸局長	田中 由紀
	復興庁宮城復興局長	中島 洋
	国立大学法人東北大学総長	大野 英男
	宮城県知事	村井 嘉浩
	宮城県議会議長	菊地 恵一
	仙台市議会議長	赤間 次彦
	一般社団法人東北経済連合会会長	増子 次郎
	仙台商工会議所会頭	藤崎 三郎助
	一般社団法人仙台経済同友会代表幹事	小林 英文
	一般社団法人東北観光推進機構会長	松木 茂
	株式会社河北新報社代表取締役社長	一力 雅彦
	全国都市緑化仙台フェア基本構想懇談会座長・基本計画検討会座長	涌井 史郎
	宮城県警察本部長	原 幸太郎
	公益財団法人都市緑化機構会長	矢野 龍

役職	所属団体・職名（順不同）	氏名（敬称略）
会長	仙台市長	郡 和子
副会長	仙台市副市長	藤本 章
	仙台市副市長	高橋 新悦
監事	公益財団法人都市緑化機構理事長	横張 真
	仙台市会計管理者	村上 薫
	公益財団法人都市緑化機構事務局長	辻 淳一

役職	所属団体・職名（順不同）	氏名（敬称略）	
委員	経済・観光	仙台商工会議所専務理事	今野 薫
		公益社団法人仙台青年会議所理事長	福重 祐作
		みやぎ仙台商工会会長	庄司 俊充
		公益財団法人仙台観光国際協会理事長	石川 浩史
		一般社団法人日本旅行業協会東北支部支部長	中村 浩彰
	運輸	東日本旅客鉄道株式会社執行役員東北本部長	三林 宏幸
		仙台国際空港株式会社代表取締役	鳥羽 明門
		公益社団法人宮城県バス協会会長	青沼 正喜
		一般社団法人宮城県タクシー協会会長	高澤 雅哉
		仙台市交通局交通事業管理者	吉野 博明
	造園・緑化	一般社団法人宮城県造園建設業協会会長	大場 勝雄
		一般社団法人日本造園建設業協会宮城県支部支部長	古積 昇
		一般社団法人日本造園組合連合会理事長	内海 一富
		一般財団法人日本造園修景協会宮城県支部支部長	佐々木 亮
		宮城県造園芸協同組合理事長	石出 慎一郎
		公益財団法人仙台市公園緑地協会理事長	千葉 幸喜
一般社団法人日本公園施設業協会東北支部支部長		林 伸一	
審議会等	一般社団法人日本植木協会宮城支部宮城支部長	田中 秀穂	
	一般社団法人仙台建設業協会会長	深松 努	
	社の都の環境をつくる審議会会長	中静 透	
花き・園芸	仙台市広瀬川清流保全審議会会長	山田 一裕	
	広瀬川創生プラン策定推進協議会会長	小祝 慶紀	
	宮城県園芸協会会長理事	都築 祐一	
	仙台中央卸売市場花卉仲卸協同組合理事長	高橋 勝巳	
	宮城県花卉商業協同組合理事長	新堀 順一	
	一般社団法人日本ハンギングバスケット協会宮城支部支部長	菅原 範子	
仙台農業協同組合代表理事組合長	藤澤 和明		
	全国都市緑化仙台フェア植物調達協議会会長	石出 慎一郎	

(13) 仙台フェア来場をきっかけに始めたいこと

来場者の性別で比較すると、「ガーデニング・花など植物の購入」、「フラワーアレンジメントなどの教室への参加」は女性の割合が男性より高い。年代別の比較では、30代以下は「公園利用など自然とのふれあい」の割合が相対的に高く、60代以上は「ガーデニング・花など植物の購入」の割合が相対的に高い結果となった。また、「特になし」の回答率が低いことから、仙台フェアの理念やテーマに沿った意識変容が期待できる。



第3章 経済波及効果

1 調査概要

仙台フェア開催による宮城県内への経済波及効果については、仙台フェアを開催し運営するために実行委員会が支出した県内での事業支出額と、来場者へのアンケート調査結果により算出した県内での消費額の合計を需要増加額とし、これに基づき宮城県産業連関表により推計を行った。

2 推計結果

実行委員会が支出した工事費や委託料等の県内での事業支出額は約15億円であった。また来場者が県内に滞在することにより発生する宿泊費や飲食費等の消費額は約99億円であった。県内での事業支出額と消費額をあわせた需要増加額は約114億円となった。

この需要増加額をもとに、平成27年（2015年）宮城県産業連関表を用いて推計した結果、直接効果は約83億円、間接効果は約42億円となり、これらを合計した県内への経済波及効果は約125億円となった。

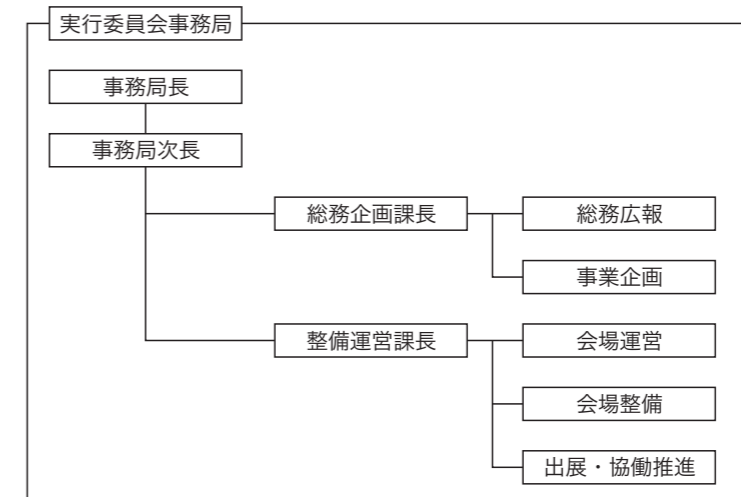
(単位：億円)

区分	経済波及効果
直接効果	83.3
間接効果	41.9
うち、一次波及効果	27.3
うち、二次波及効果	14.6
合計	125.2



役職	所属団体・職名(順不同)	氏名(敬称略)	
委員	緑化活動団体	仙台緑のボランティア団体連絡会会長	佐藤 修
		仙台市公園愛護協会連合会会長	渡邊 勝雄
		花と緑の力で3.11プロジェクトみやぎ委員会委員長	鎌田 秀夫
		仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議会長	佐藤 修
	市民・教育	仙台市連合町内会会長	島田 福男
		仙台市小学校長会会長	鎌田 康彦
		仙台市中学校長会会長	本木 一昭
		仙台市私立幼稚園連合会会長	菊池 正隆
		仙台市私立保育園・保育所・認定こども園協議会会長	千葉 亨
		仙台市立高等学校長会会長	岩井 誠
		宮城県高等学校長協会会長	高橋 賢
		宮城県私立中学高等学校連合会会長	松良 千廣
		学都仙台コンソーシアム会長	大野 勲
		公益財団法人仙台市民文化事業団理事長	立野 昭宏
		一般財団法人3.11伝承ロード推進機構代表理事	今村 文彦
行政等	林野庁東北森林管理局仙台森林管理署署長	竹中 篤史	
	宮城県土木部長	千葉 衛	
	宮城県農政部長	橋本 和博	
	宮城県水産林政部長	吉田 信幸	
	宮城県警察本部警備部長	佐藤 孝一	
	宮城県警察本部交通部長	阿部 徹	
	宮城県仙台中央警察署長	鈴木 孝彦	
	公益財団法人都市緑化機構専務理事	柳野 良明	
	会場運営	仙台水族館開発株式会社代表取締役社長	伊吹 立
		せんだい農業園芸センター みどりの社所長	坂本 邦雄
		日比谷アメニス・日比谷花壇共同事業体代表法人株式会社日比谷アメニス代表取締役	伊藤 幸男
仙台ターミナルビル株式会社代表取締役社長		松崎 哲士郎	
まちづくり団体	国立大学法人東北大学学術資源研究公開センター植物園園長	牧 雅之	
	仙台市中心部商店街活性化協議会会長	山崎 浩之	
	定禅寺通街づくり協議会会長	佐藤 晶洋	
	青葉通まちづくり協議会会長	藤崎 三郎助	
参与	肴町公園周辺エリアまちづくり協議会理事長	氏家 正裕	
	仙台駅東まちづくり協議会理事長	松坂 卓夫	
	仙台市議会都市整備建設委員会委員長	ひぐち のりこ	
	株式会社河北新報社専務取締役	練生川 雅志	
	株式会社朝日新聞社仙台総局総局長	岡本 峰子	
	株式会社毎日新聞社仙台支局支局長	佐藤 丈一	
	株式会社読売新聞東京本社東北総局総局長	池辺 英俊	
	株式会社産業経済新聞社仙台支局長	菊池 昭光	
	株式会社時事通信社仙台支社長	佐藤 亮	
	一般社団法人共同通信社仙台支社長	山田 昌邦	
	日本放送協会仙台拠点放送局局長	辻村 和人	
	東北放送株式会社代表取締役社長	一力 敦彦	
	株式会社仙台放送代表取締役社長	稲木 甲二	
	株式会社宮城テレビ放送代表取締役社長	玉井 忠幸	
	株式会社東日本放送代表取締役社長	藤ノ木 正哉	
株式会社エフエム仙台代表取締役社長	小田桐 和久		

2 実行委員会事務局の組織体制



3 実行委員会事務局名簿

事務局長	佐々木 亮 岡本 一郎 (~令和4年3月31日)	会場運営担当 会場運営係長	坂本 光人
事務局次長	中村 喜陽	事務局職員	阿部 紀仁
総務企画課長	千代谷 馨一	//	藤崎 雅史
整備運営課長	千葉 勝義	//	吾妻 光
		//	林 侑太郎
総務広報担当 総務広報係長	佐藤 由香	会場整備担当 事務局主幹(兼会場整備係長)	渡部 昭彦
事務局職員	赤井澤 勝彦	事務局職員	佐々木 史也
//	伊藤 茉菜	//	佐藤 慎士
//	小林 智子	//	佐藤 彩華
//	阿部 耕周		
//	櫻井 慎也	出展・協働推進担当 事務局主幹(兼出展・協働推進係長)	結城 彰彦
//	茂木 由美子	事務局職員	北村 裕子
//	高橋 航哉	//	清原 恵人
//	佐藤 恵里	//	鈴木 直人
事業企画担当 事業企画係長	中村 哲		
事務局職員	植木 舞		
//	山田 圭介		
//	森 恵吾		
//	佐々木 誉		
//	早坂 優希		





第5章 実行委員会会則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称する。

(目的)

第2条 実行委員会は、令和5年に仙台市において、第40回全国都市緑化仙台フェア(以下「フェア」という。)を開催し、都市緑化に関する意識の高揚、知識の普及等を図ることにより、都市緑化を推進し、もって緑豊かな潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するために、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) フェアの企画、準備、開催及び運営に関する事業
- (2) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第2章 組織等

(組織)

第4条 実行委員会は、会長、副会長、監事及び委員をもって構成する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- (1) 経済・観光団体、造園・緑化団体、花き・園芸団体等の団体の代表者又は役職者
- (2) 関係行政機関の代表者又は役職者
- (3) その他関係機関、団体の代表者又は役職者及びフェア開催に係るのある者

3 前項各号に掲げる者のうち、機関及び団体の代表者又は役職者についての委員の委嘱は、その職をもってなされたものとする。

4 委員がその属する機関及び団体の役職を離れたときには、その後任者が委員を務めるものとする。

(役員)

第5条 実行委員会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3名
- (3) 監事 2名

2 会長は、仙台市長をもって充てる。

3 副会長は、仙台市副市長及び公益財団法人都市緑化機構理事長をもって充てる。

4 監事は、仙台市会計管理者及び公益財団法人都市緑化機構事務局長をもって充てる。

(役員及び委員の職務)

第6条 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名した副会長がその職務を代行する。

3 監事は、実行委員会の会計を監査する。

4 委員は、この会則に従い議事の審議を行う。

(名誉顧問及び顧問)

第7条 実行委員会に名誉顧問及び顧問(以下「顧問等」という。)を置くことができる。

- 2 顧問等は、会長が委嘱する。
- 3 前項の委嘱は、その職をもってなされたものとする。
- 4 顧問等は、実行委員会の運営に関する重要な事項について、意見を述べることができる。

(参与)

第8条 実行委員会に参与を置くことができる。

- 2 参与は、会長が委嘱する。
- 3 前項の委嘱は、その職をもってなされたものとする。
- 4 参与は、会長が必要と認める事項について相談に応じる。

(アドバイザー)

第9条 第3条に規定する事業の充実を図るとともに、フェアの実施にあたって、専門的な観点から助言を得るため、実行委員会にアドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、会長が委嘱する。

(任期)

第10条 役員、委員、顧問等、参与及びアドバイザーの任期は、実行委員会の解散の日までとする。ただし、特別な理由があるときは、この限りではない。

(報酬)

第11条 役員、委員、顧問等及び参与の報酬は、無報酬とする。

(会議)

第12条 実行委員会の会議は、総会とする。

第3章 総会

(構成)

第13条 総会は、役員及び委員をもって構成する。

(議決事項)

第14条 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。

- (1) 事業計画並びに予算及び決算に関する事項
- (2) 会則の改廃に関する事項
- (3) その他、実行委員会の運営に関する重要な事項

(招集及び開催)

第15条 総会は、会長が招集し、開催する。

(議長)

第16条 総会の議長は、会長又は会長が指名した者が務める。

(運営及び議決)

第17条 総会は、会長、副会長及び委員(以下「委員等」という。)の過半数の出席をもって成立とする。ただし、欠席する委員等からあらかじめ会長あて、その権限を議長に委任する旨の届出があったときは、当該欠席委員等の数を出席委員等の数に加えることができる。

2 委員等が出席できないときは、その団体に所属するものを代理として総会に出席させることができる。この場合は、当該代理人には、当該委員等と同一の権限を付与するものとする。

3 総会の議事は、出席委員等の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長が必要と認める場合は、事前に送付した議案に対し、出席委員等の過半数の同意を示す書面又は電磁的記録による表決によって、総会の議決を行うことができる。

5 会長が必要と認める場合は、総会に委員等以外の関係者の出席をもとめ、意見又は説明を聴くことができる。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第18条 会長は、緊急を要し総会を招集するいとまがない場合は、総会の議決事項については、これを専決処分することができる。

2 前項の規定により専決処分したときは、会長は、これを次の総会において報告しなければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第19条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務会計

(経費)

第20条 実行委員会の運営及び事業実施に要する経費は、主催者負担金、協賛金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第21条 実行委員会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年3月31日をもって終わる。ただし、実行委員会の設立年度の会計年度は、実行委員会設立の日から始まり、当該会計年度の末日をもって終わる。

2 解散の日の属する会計年度は、解散の日をもって終わる。

(予算)

第22条 会長は、毎会計年度、事業計画及び収支予算書を作成し、総会に提出し、承認を得なければならない。

(決算)

第23条 会長は、毎会計年度、事業報告及び収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会に報告しなければならない。

(資産の管理)

第24条 実行委員会の資産の管理は、会長が行う。

第7章 解散

(解散)

第25条 実行委員会は、第2条の目的を達成したときは、総会の議決を経て解散する。

2 前項の規定にかかわらず、実行委員会は、清算の目的の範囲内において、その清算の終了に至るまではなお存続するものとみなす。

(残余の財産)

第26条 実行委員会が解散するときに存する残余財産は、総会の議決を経て処理する。

第8章 補則

(補則)

第27条 この会則に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附則

この会則は、令和3年9月2日から施行する。

附則

この会則は、令和4年4月1日から施行する。

協賛企業・団体一覧

ダイヤモンドスポンサー



プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー



シルバースポンサー

株式会社安藤・間 泉ピークベース 株式会社エイアンドエフ 株式会社NTTドコモ 東北支社 株式会社大林組 鹿島建設株式会社
株式会社葉匠三全 関西エアポート株式会社 弘進ゴム株式会社 株式会社七十七銀行 清水建設株式会社
全国農業協同組合連合会 宮城県本部 一般社団法人 仙台建設業協会 仙台国際空港株式会社 仙台トヨベツ株式会社
大成建設株式会社 株式会社高工 日本航空株式会社 日本生命保険相互会社 農林中央金庫 株式会社早坂サイクル商会
三井不動産株式会社 宮城県森林組合連合会 一般社団法人 宮城県造園建設業協会

ブロンズスポンサー

関西エアポート神戸株式会社 株式会社清月記 協業組合 仙台清掃公社 株式会社仙台銘板 株式会社竹中工務店
学校法人 角川学園 株式会社深松組 三菱地所株式会社 社の都信用金庫 株式会社竹中土木

パートナー

株式会社一条工務店宮城 ウォータースタンド株式会社 オムロン ヘルスケア株式会社 株式会社片平新日本技研
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 後藤工業株式会社 西武造園株式会社 株式会社西和造園 株式会社TTK
株式会社日専連ライフサービス 株式会社バイタルネット 表示灯株式会社 広瀬川をゆっくり歩く会 三井物産株式会社
宮城野さんぼみち 株式会社ワールドアイシティ

サポーター

赤坂建設株式会社 熱海建設株式会社 株式会社熱海工務店 アリオ仙台泉 株式会社石勝エクステリア 奥田建設株式会社
栗村建設興業株式会社 仙台国際ホテル株式会社 鷹鷲建設株式会社 株式会社タゼン ツネマツガス株式会社 日本通運株式会社
長谷川建設株式会社 廣川株式会社 一般社団法人 宮城県自動車整備振興会 森トラスト株式会社

特別協力

仙台市内郵便局 東北電力株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 株式会社楽天野球団

「未来の杜せんだい2023開催のレガシー・シンボルとしてフォレツビ像を残したい!」プロジェクト
2万円・3万円コース支援者の皆様

むらぐちしょうたろう K・D 齊藤 友記 鈴木 里於夕 老田 健太 ころも 佐久間 隆・由美子 佐藤 小百合 阿部 眞二
菊田芳見黒豆柴ジーマ アツシ&ヒトミ&サチ 千葉 志保 まるたまJr. 澤田 大介 あきば みさと 山元 天斗
山田 結月・涼太 森 ちょこ Foreppi 大熊 諒也、汰知 わかやま ももか 高橋 成寿・道子・涼 大崎 永和 Isao-A
稲垣 憲明 若生 有加 橋浦 健 K.O. YR 佐々木 亮 まろう てんちゃん しおっぴ TSL かよ 中川 徳則



第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023 ～ Feel green! ～

公式記録

発行日: 令和5年11月

編集・発行: 第40回全国都市緑化仙台フェア実行委員会

※本書の無断転載・複製・転売を禁じます。



第40回全国都市緑化仙台フェア

未来の杜せんだい2023

～ Feel green! ～